

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7644467号
(P7644467)

(45)発行日 令和7年3月12日(2025.3.12)

(24)登録日 令和7年3月4日(2025.3.4)

(51)国際特許分類

F I

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 6 1

A 6 3 F 5/04 6 3 1

請求項の数 1 (全97頁)

(21)出願番号	特願2020-150897(P2020-150897)	(73)特許権者	390031772
(22)出願日	令和2年9月8日(2020.9.8)		株式会社オリンピア
(65)公開番号	特開2022-45286(P2022-45286A)		東京都台東区東上野一丁目1 6 番 1 号
(43)公開日	令和4年3月18日(2022.3.18)	(74)代理人	110003133
審査請求日	令和5年8月29日(2023.8.29)		弁理士法人近島国際特許事務所
前置審査		(72)発明者	雪江 武史
			東京都台東区東上野一丁目1 6 番 1 号
			株式会社オリンピア内
		審査官	佐藤 洋允

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 遊技機

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態移行制御手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助
遊技制御手段と、を備え、
前記複数のリールは、特定リールを含み、
前記複数のストップボタンは、前記特定リールに対応する特定ストップボタンを含み、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、特定当選態様が含まれ、
前記特定当選態様には、第 1 小役と、第 2 小役と、の重複当選が対応付けられ、
前記第 1 小役の配当は、前記第 2 小役の配当よりも高く、
複数種類の前記特定当選態様のいづれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが複数
種類の前記特定当選態様のそれぞれに設定されている所定の操作態様で操作された場合に
、前記第 1 小役が入賞可能であり、
前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記所定の操作態様とは
異なる操作態様で操作された場合に、前記第 1 小役が入賞せず、
前記特定ストップボタンが最初に操作される操作態様は、いづれの前記特定当選態様に

10

20

おいても前記所定の操作態様に設定されておらず、

いずれの前記特定当選態様に当選した場合においても、前記特定ストップボタンが最初に操作された場合には、前記第 2 小役が入賞し、

前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合に前記第 1 小役の入賞を補助する前記補助遊技を実行可能な状態として、第 1 状態と、第 2 状態と、を制御し、

前記第 1 状態は、前記第 2 状態である場合よりも、前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合に前記第 1 小役の入賞を補助する前記補助遊技が実行される確率が高く、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間である場合において、前記補助遊技に係る状態を移行させる所定の制御を実行可能であり、

前記第 1 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 1 確率であり、

前記第 2 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 2 確率であり、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも低い確率であり、

前記複数の遊技状態は、特定遊技状態を含み、

前記特定遊技状態での前記内部抽選において、小役を含む当選態様には、ボーナスと小役とが重複当選する当選態様と、ボーナスを含まない当選態様と、が抽選の対象に設定され、

いずれの前記特定当選態様も、前記ボーナスを含まない当選態様に含まれ、

複数種類の前記特定当選態様のいずれかに当選する確率は、前記ボーナスを含む当選態様の当選確率よりも高い、

ことを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、遊技機に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、外周面に図柄が配列された複数のリールを備えた遊技機（回胴式遊技機、スロットマシン）が知られている。この種の遊技機は、メダルやパチンコ玉などの遊技媒体に対して一定の遊技価値を付与し、このような遊技媒体を獲得するための遊技を行うものである。また、この種の遊技機は、遊技者の回転開始操作を契機として、内部抽選を行うとともに複数のリールの回転を開始させ、遊技者の停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で複数のリールを停止させる制御を行っている。そして、遊技の結果は、複数のリールが停止した状態における入賞判定ライン上に表示された図柄組合せによって判定され、遊技の結果に応じてメダル等の払い出しなどが行われる。

【0003】

上述した遊技機においては、遊技状態ごとに異なる規定投入数を設定することで、ボーナスや小役の当選確率を変動させ、遊技価値を獲得しやすくすることができる構成が知られている（例えば、特許文献 1）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【文献】特開 2012 - 183133 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献 1 に記載の遊技機においては、ボーナスが終了した後の遊技状態において、予め設定された図柄組合せが有効ライン上に停止表示された場合に、他の遊技状態とは異なる規定投入数に設定されたリプレイタイム状態を開始するとともに、該リプレイタイム状態においてはボーナスや小役の当選確率が他のボーナス非当選中における遊技状態とは異

10

20

30

40

50

なるように設定されており、遊技者の関心を惹きつけることができるように構成されている。しかしながら、特許文献 1 に記載の遊技機においては、遊技価値の獲得しやすさを変更するために、規則上制限が厳しいリプレイの当選態様の変動や、規定投入数の変更といった構成を用いており、設計上の制約が多く遊技機の設計自由度を維持しつつ遊技者の関心を惹きつけることが難しかった。

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明は、遊技機の設計自由度を維持しつつ遊技者の関心を惹きつけることができる遊技機を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 7 】

本発明は、複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う遊技状態移行制御手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記複数のリールは、特定リールを含み、
前記複数のストップボタンは、前記特定リールに対応する特定ストップボタンを含み、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、特定当選態様（例えば、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）が含まれ、

前記特定当選態様には、第 1 小役（例えば、ベル A ～ベル D）と、第 2 小役（例えば、1 枚役 A ～ 1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 小役の配当は、前記第 2 小役の配当よりも高く、
複数種類の前記特定当選態様のいずれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが複数種類の前記特定当選態様のそれぞれに設定されている所定の操作態様（例えば、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」のそれぞれに設定された正解打順）で操作された場合に、前記第 1 小役が入賞可能であり、

前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記所定の操作態様とは異なる操作態様で操作された場合に、前記第 1 小役が入賞せず、

前記特定ストップボタンが最初に操作される操作態様は、いずれの前記特定当選態様においても前記所定の操作態様に設定されておらず、

いずれの前記特定当選態様に当選した場合においても、前記特定ストップボタンが最初に操作された場合には、前記第 2 小役が入賞し、

前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合に前記第 1 小役の入賞を補助する前記補助遊技を実行可能な状態として、第 1 状態（例えば、第 4 A T モード）と、第 2 状態（例えば、第 1 A T モード）と、を制御し、

前記第 1 状態は、前記第 2 状態である場合よりも、前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合に前記第 1 小役の入賞を補助する前記補助遊技が実行される確率が高く、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間である場合において、前記補助遊技に係る状態を移行させる所定の制御（例えば、A T モードの終了に係る制御）を実行可能であり、

前記第 1 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 1 確率（例えば、3 0 %）であり、

前記第 2 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 2 確率（例えば、9 0 %）であり、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも低い確率であり、

前記複数の遊技状態は、特定遊技状態を含み、

前記特定遊技状態での前記内部抽選において、小役を含む当選態様には、ボーナスと小役とが重複当選する当選態様と、ボーナスを含まない当選態様と、が抽選の対象に設定され、

10

20

30

40

50

いずれの前記特定当選態様も、前記ボーナスを含まない当選態様に含まれ、複数種類の前記特定当選態様のいずれかに当選する確率（例えば、約 $1/2.2$ ）は、前記ボーナスを含む当選態様の当選確率（例えば、約 $1/8.3$ ）よりも高い、ことを特徴とする。

【発明の効果】

【0008】

本発明によれば、遊技機的设计自由度を維持しつつ遊技者の関心を惹きつけることができる遊技機を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の実施形態の遊技機の外観構成を示す斜視図である。

【図2】本発明の実施形態の遊技機の機能ブロックを説明する図である。

【図3】本発明の実施形態の遊技機の内部抽選テーブルA～内部抽選テーブルCを示す図である。

【図4】本発明の実施形態の遊技機における打順小役当選時に重複当選する小役を示す図である。

【図5】本発明の実施形態の遊技機におけるリールの図柄配列を説明する図である。

【図6】(A)は、本発明の実施形態の遊技機における遊技状態の状態遷移図、(B)は、AT制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【図7】本発明の実施形態の遊技機において非RT状態における打順小役当選時に各打順で入賞可能となる役を示す図である。

【図8】本発明の実施形態の遊技機においてボーナス成立状態における打順小役当選時に各打順で入賞可能となる役を示す図である。

【図9】本発明の実施形態の遊技機におけるチャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役Jの入賞図柄組合せと配当とを示す図である。

【図10】(A)は、本発明の実施形態の遊技機において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス6」に当選し、ストップボタンB2が第1停止操作されるタイミングに応じて入賞する役について示す図、(B)は、当選エリア「打順チャンス7」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、ストップボタンB3が第1停止操作されるタイミングに応じて入賞する役について示す図である。

【図11】(A)は、本発明の実施形態の遊技機において当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に重複当選する小役の入賞図柄組合せと配当とを示す図、(B)は、当選エリア「打順チャンス12」に当選し、ストップボタンB1が第1停止操作された場合に有効ラインL1上に表示可能となる図柄組合せの数を説明する図、(C)は、当選エリア「打順チャンス12」に当選し、ストップボタンB2が第1停止操作された場合に有効ラインL1上に表示可能となる図柄組合せの数を説明する図、(D)は、当選エリア「打順チャンス12」に当選し、ストップボタンB3が第1停止操作された場合に有効ラインL1上に表示可能となる図柄組合せの数を説明する図である。

【図12】本発明の実施形態の遊技機において、非AT状態でかつ当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス6」に当選した場合に実行される入賞補助演出を示す図である。

【図13】本発明の実施形態の遊技機における1枚役K、レア役、リプレイAの入賞図柄組合せと配当とを示す図である。

【図14】本発明の実施形態の遊技機においてボーナス成立状態における内部抽選で抽選の対象に設定されている各当選エリアに対応付けられた抽選値数と当選確率とを示す図である。

【図15】本発明の変形例の遊技機におけるリールの図柄配列を説明する図である。

【図16】本発明の変形例の遊技機においてボーナス成立状態における当選エリア「打順チャンスA」～当選エリア「打順チャンスC」の当選時に各打順で入賞可能となる役を示

10

20

30

40

50

す図である。

【図 1 7】本発明の変形例の遊技機におけるチャンス役、特殊小役 A、特殊小役 B、1 枚役 E、1 枚役 F の入賞図柄組合せと配当とを示す図である。

【図 1 8】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【図 1 9】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【図 2 0】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【図 2 1】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

10

【図 2 2】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【図 2 3】本発明の変形例の遊技機における A T 制御手段が制御する通常区間及び有利区間と、有利区間中における演出状態と、に係る遷移図である。

【発明を実施するための形態】

【0 0 1 0】

以下、本実施形態について説明する。なお、以下に説明する本実施形態は、特許請求の範囲に記載された本発明の内容を不当に限定するものではない。また、本実施形態で説明される構成のすべてが、本発明の必須構成要件であるとは限らない。

20

【0 0 1 1】

1. 遊技機の構成の概要

図 1 は、本発明の実施形態に係るスロットマシン 1 の外観構成を示す斜視図である。本実施形態のスロットマシン 1 は、いわゆる回胴式遊技機と呼ばれるもので、メダルを遊技媒体として用いた遊技を行う種類の遊技機である。

【0 0 1 2】

本実施形態のスロットマシン 1 は、筐体 B X、前面上扉 U D 及び前面下扉 D D からなる箱形の筐体内に複数のリールとしての第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 からなるリールユニット 3 1 0 (図 2 参照) が収められている。また、筐体内のリールユニット 3 1 0 の下部には、メダルの払出装置としてのホッパーユニット 3 2 0 (図 2 参照) が収められている。また、本実施形態のスロットマシン 1 の筐体内には、C P U、R O M (情報記憶媒体の一例)、R A M 等を搭載し、スロットマシン 1 の動作を制御する制御基板も収められている。

30

【0 0 1 3】

図 1 に示す第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 は、それぞれ外周面が一定の間隔で 2 0 の領域 (以下、各領域を「コマ」と記載する) に区画されており、各コマに複数種類の図柄のいずれかが配列されている。

【0 0 1 4】

前面上扉 U D と前面下扉 D D とは、個別に開閉可能に設けられている。前面上扉 U D には、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転状態及び停止状態を観察可能にする表示窓 D W が設けられている。第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の停止状態では、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 それぞれの外周面に一定間隔で配列された複数種類の図柄のうち、外周面上に連続して配列されている 3 つの図柄 (上段図柄、中段図柄、下段図柄) をスロットマシン 1 の正面から表示窓 D W を通じて観察できるようになっている。

40

【0 0 1 5】

また、本実施形態のスロットマシン 1 では、表示窓 D W を通じて図柄を観察するための表示位置として、各リールについて上段、中段、下段が設けられており、各リールの表示位置の組合せによる有効ラインについて、有効ライン L 1 が設定されている。本実施形態のスロットマシン 1 では、1 回の遊技に関して必要となるメダルの数、いわゆる規定投入数がいずれの遊技状態においても 3 枚に設定されており、規定投入数に相当するメダルが

50

投入されると第１リールＲ１～第３リールＲ３の中段によって構成される有効ラインＬ１が有効化される。

【００１６】

そして、遊技結果は、表示窓ＤＷ内の有効ラインＬ１上に停止表示された図柄組合せによって判定され、有効ラインＬ１上の図柄組合せが予め定められた役に対応した図柄組合せである場合に、その役が入賞したものとしてホッパーユニット３２０からメダルの払い出し等が行われる。

【００１７】

前面上扉ＵＤには、遊技情報表示部ＤＳが設けられている。遊技情報表示部ＤＳは、ＬＥＤ、ランプ、７セグメント表示器等からなり、メダルのクレジット数、１回の遊技におけるメダルの払出数あるいは獲得数、ボーナス状態でのメダルの払出数の合計あるいは獲得数の合計、今回の遊技で当選した役の情報、メダルの払い出しに関するストップボタンＢ１、ストップボタンＢ２、ストップボタンＢ３の押し方を示唆する情報の表示等の各種遊技情報が表示される。

【００１８】

遊技情報表示部ＤＳには、７セグメント表示器から構成される主制御表示装置５００が含まれており、規定投入数のメダルが投入されスタートレバーＳＬが操作された際に、今回の遊技で当選した役の情報である当選情報に基づき作成される制御信号である当選役コマンドに対応する表示である報知表示が表示され、報知表示の表示後第１リールＲ１～第３リールＲ３が停止した際に、報知表示が終了するとともにメダルの払出数あるいは獲得数が表示される。本実施形態のスロットマシン１では、当選役コマンドに応じた表示態様で主制御表示装置５００の各セグメントが点灯及び消灯する報知表示が実行される。

【００１９】

また、主制御表示装置５００には、７セグメント表示器のドットであり、後述するＡＴ制御手段２００（図２参照）によって有利区間が開始され、小役の入賞が補助されることでメダルの獲得期待値が１以上となっている場合に点灯する区間報知部５００Ａが設けられている。また、本実施形態のスロットマシン１では、音を用いた演出を行うための音響装置３４０が前面上扉ＵＤと前面下扉ＤＤとに複数設けられている。音響装置３４０からは、遊技を補助したり、遊技を盛り上げたりするための各種の音声出力される。

【００２０】

前面下扉ＤＤには、各種の操作手段が設けられている。操作手段としては、クレジット（貯留）されたメダルを投入する操作を行うための投入操作手段として、１枚のメダルを投入するシングルベットボタンＢＴ及び規定投入数のメダルを投入するマックスベットボタンＭＢ、第１リールＲ１～第３リールＲ３を回転させて遊技を開始する契機となる開始操作を遊技者に実行させるための遊技開始操作手段としてのスタートレバーＳＬ、ステップモータにより回転駆動されている第１リールＲ１～第３リールＲ３のそれぞれを停止させる契機となる停止操作を遊技者に実行させるための停止操作手段としてのストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３及びクレジットされたメダルを精算するための精算ボタンＢＳも設けられている。

【００２１】

また、前面下扉ＤＤの下部には、メダル払出口ＭＯとメダル受け皿ＭＰとが設けられており、遊技の結果に応じた枚数のメダルがメダル払出口ＭＯからメダル受け皿ＭＰへ払い出されるようになっている。また、遊技機内にクレジットされたメダルが記憶されている状態で、精算ボタンＢＳが押下された場合、精算ボタンＢＳの押下に伴ってホッパーユニット３２０からクレジット数（クレジットされたメダルの枚数）に相当する枚数のメダルを払い出す精算処理を実行し、メダル払出口ＭＯからメダル受け皿ＭＰへメダルを払い出す。

【００２２】

図２は、本実施形態のスロットマシン１の機能ブロック図である。本実施形態のスロットマシン１は、制御基板としての遊技制御手段１０によって制御される。遊技制御手段１

10

20

30

40

50

0 は、複数の操作検出手段としてのメダル投入スイッチ 210、ベットスイッチ 220、スタートスイッチ 230、ストップスイッチ 240、設定変更許可スイッチ 250 及び設定変更スイッチ 260 の入力手段からの入力信号を受けて、遊技を実行するための各種の演算を行い、演算結果に基づいて演出装置 300、リールユニット 310、ホッパーユニット 320 及び主制御表示装置 500 等の出力手段の動作を制御する。

【0023】

また、遊技制御手段 10 は、設定変更手段 100、投入受付手段 105、乱数生成手段 110、内部抽選手段 120、リール制御手段 130、入賞判定手段 140、払出制御手段 150、リプレイ処理手段 160、遊技状態移行制御手段 170、演出制御手段 180、記憶手段 190 及びアシストタイム制御手段（AT 制御手段）200 を含む。遊技制御手段 10 を構成する各手段は、各制御処理の実行時に、記憶手段 190 に予め記憶されている各制御プログラムを読み出して実行する。

10

【0024】

設定変更手段 100 は、記憶手段 190 の設定値記憶手段 191 に記憶されている設定値を変更する制御（設定変更制御）を行う。設定変更手段 100 は、前面上扉 UD が開放された状態で設定変更許可スイッチ 250 が ON 状態となり設定変更を許可する状態である設定変更許可状態において、設定変更手段 100 は、電源装置に設けられている設定変更スイッチ 260 から出力される入力信号を受け付けるごとに、設定値記憶手段 191 に記憶されている設定値を設定 1 → 設定 2 ・ ・ ・ 設定 6 → 設定 1 → ・ ・ ・ の順序で循環的に変動させる。また、スロットマシン 1 では、設定変更許可状態におけるスタートレバー SL の操作により作動するスタートスイッチ 230 からのスタート信号に基づいて設定値記憶手段 191 に記憶されている設定値を確定させて設定変更許可状態を終了する。本実施形態のスロットマシン 1 では、設定値記憶手段 191 において確定された設定値に応じて、内部抽選手段 120 による内部抽選で当選可能な当選エリアのうち一部の当選エリアの当選確率を変更される。つまり、設定変更手段 100 は、内部抽選手段 120 による内部抽選における役の当選確率を変更可能な値である設定値を変更可能に構成されている。

20

【0025】

なお、本実施形態のスロットマシン 1 においては、設定変更手段 100 による設定変更制御が実行された場合に、遊技状態移行制御手段 170 が実行する遊技状態に係る制御及び AT 制御手段 200 が実行する有利区間に係る制御が初期化されるように構成されており、遊技状態が後述する非リプレイタイム（以下、リプレイタイムを「RT」とも記載）状態に設定され、通常区間が設定されるように構成されている。このため、スロットマシン 1 では、設定変更前において AT 制御手段 200 が実行していた補助遊技に関する制御についても、初期化されるように構成されている。一方、スロットマシン 1 においては、遊技制御手段 10 への電力の供給が遮断（電断）され、その後再度電力の供給が再開された場合、遊技状態移行制御手段 170 が実行する遊技状態に係る制御及び AT 制御手段 200 が実行する有利区間に係る制御について、電断前の状態から再開されるように構成されている。このため、スロットマシン 1 では、電断が発生しその後電力の供給が再開された場合、電断前に AT 制御手段 200 が実行していた補助遊技に関する制御についても、電断前の状態が維持されるように構成されている。

30

40

【0026】

投入受付手段 105 は、メダルの投入を受け付ける投入受付期間内において、規定投入数（3 枚）に相当するメダルが投入されたことに基づいて、スタートレバー SL に対する遊技開始操作を有効化する処理を行う。具体的には、メダル投入口 MI（図 1 参照）にメダルが投入されると、メダル投入スイッチ 210 が作動することに伴って、投入受付手段 105 が、規定投入数を限度として、投入されたメダルを投入状態に設定する。また、投入受付手段 105 は、メダルがクレジットされた状態でシングルベットボタン BT 又はマックスベットボタン MB が押下されるベット操作が実行されると、ベットスイッチ 220 が作動することに伴って、規定投入数を限度として、クレジットされたメダルを投入状態に設定する。

50

【 0 0 2 7 】

なお、本実施形態のスロットマシン 1 では、規定投入数に相当するメダルの投入に基づいて有効化されたスタートレバー S L の最初の押下操作が、遊技者による遊技の開始操作として受け付けられ、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転を開始させる契機となっているとともに、後述する内部抽選手段 1 2 0 が内部抽選を実行する契機となっている。

【 0 0 2 8 】

乱数生成手段 1 1 0 は、抽選用の乱数を発生させる手段である。なお、本実施形態において、「乱数」には、数学的な意味でランダムに発生する値のみならず、発生自体は規則的であっても、取得タイミング等が不規則であるために実質的に乱数として機能し得る値も含まれる。

10

【 0 0 2 9 】

内部抽選手段 1 2 0 は、遊技者がスタートレバー S L に対して開始操作を実行し、スタートスイッチ 2 3 0 が開始操作を検出することで出力されるスタート信号に基づいて、役の当否を決定する内部抽選を行う手段であって、抽選テーブル選択処理、乱数判定処理、抽選フラグ設定処理等を行う。

【 0 0 3 0 】

抽選テーブル選択処理では、記憶手段 1 9 0 の内部抽選テーブル記憶手段 1 9 2 に格納されている複数の内部抽選テーブルのうち、いずれの内部抽選テーブルを用いて内部抽選を行うかを現在の遊技状態に基づき選択する。各内部抽選テーブルでは、複数の乱数（例えば、0 ~ 6 5 5 3 5 の 6 5 5 3 6 個の乱数）のそれぞれに対して、リプレイ、小役及びボーナスなどの各種の役や不当選（ハズレ）が対応付けられている。

20

【 0 0 3 1 】

なお、以下の記載において、ボーナスとは、入賞することで役物又は役物連続作動装置を作動させる役を意味し、ボーナスが作動とは、ボーナスが入賞し役物又は役物連続作動装置を作動することを意味し、ボーナス状態とは、役物又は役物連続作動装置が作動した状態を意味する。

【 0 0 3 2 】

乱数判定処理では、スタートスイッチ 2 3 0 から出力されるスタート信号に基づいて、遊技ごとに乱数生成手段 1 1 0 が生成する乱数（抽選用乱数）を取得し、取得した乱数を抽選テーブル選択処理で選択した内部抽選テーブルと比較して、比較結果に基づき役に当選したか否かを判定する。

30

【 0 0 3 3 】

抽選フラグ設定処理では、乱数判定処理の結果に基づいて、当選したと判定された役に対応する抽選フラグを非成立状態（第 1 のフラグ状態、OFF 状態）から成立状態（第 2 のフラグ状態、ON 状態）に設定する。本実施形態のスロットマシン 1 では、2 種類以上の役が重複して当選した場合には、重複して当選した 2 種類以上の役のそれぞれに対応する抽選フラグが成立状態に設定される。なお、本実施形態のスロットマシン 1 では、入賞するまで次回以降の遊技に成立状態を持ち越し可能な抽選フラグ（持越可能フラグ）と、入賞の如何に関わらず次回以降の遊技に成立状態を持ち越さずに非成立状態にリセットされる抽選フラグ（持越不可フラグ）が用意されている。また、抽選フラグの設定情報は、記憶手段 1 9 0 の抽選フラグ記憶手段 1 9 3 に格納される。

40

【 0 0 3 4 】

リール制御手段 1 3 0 は、遊技者がスタートレバー S L へ開始操作を実行することにより作動するスタートスイッチ 2 3 0 からスタート信号が出力されたことに基づいて、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転駆動を開始し第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転状態様を制御するリール回転制御を実行する。また、リール制御手段 1 3 0 は、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転状態が、所定速度（例えば、約 8 0 r p m）で定常回転する回転状態となった場合に、各リールに対応するストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 が押下操作されることでストップスイッチ 2 4 0 によって検出される停止操作を有効化する制御を実行する。そして、リール制御手段 1 3 0 は、停止操作を検出したストップスイ

50

ッチ 2 4 0 からリール停止信号が出力された場合に、停止操作を検出したストップスイッチ 2 4 0 に対応する第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の各リールを停止させる制御（リール停止制御）を行う。

【 0 0 3 5 】

なお、以下の記載において、リール制御手段 1 3 0 によって第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転が開始され、遊技者が有効なストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 をそれぞれ押下操作することについて、最初の押下操作を第 1 停止操作、2 番目の押下操作を第 2 停止操作、3 番目の押下操作を第 3 停止操作とも記載する。

【 0 0 3 6 】

本実施形態のスロットマシン 1 では、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 について、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 が押下された時点（ストップスイッチ 2 4 0 が停止操作を検出した時点）から所定の期間としての 1 9 0 m s が経過するまでに、押下されたストップボタンに対応する回転中のリールを停止するようになっている。ここで、ストップボタンの押下時点から 1 9 0 m s 以内に回転中のリールを停止させる場合、回転している各リールの停止位置は、各リールの直径及び回転速度より、ストップボタンの押下時点からリールが停止するまでに最大で 4 コマ分回転可能に構成されている。

10

【 0 0 3 7 】

このため、本実施形態のスロットマシン 1 では、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 について、ストップボタンの押下時点で有効ライン L 1 上に表示されているコマから 4 コマ回転するまでの計 5 コマが、有効ライン L 1 上に図柄を引き込み可能な範囲（引き込み範囲）となっている。

20

【 0 0 3 8 】

リール制御手段 1 3 0 は、リール停止制御の実行時において、抽選フラグが成立状態に設定された役を可能な限り入賞させることができるように回転中のリールを停止させる引き込み処理と、抽選フラグが非成立状態に設定された役を入賞させることができないように回転中のリールを停止させる蹴飛ばし処理と、を含むロジック演算により予め設定された優先順位に基づき回転中のリールの停止位置を求めるロジック演算処理と、記憶手段 1 9 0 の停止制御テーブル記憶手段 1 9 4 に記憶されている停止制御テーブルを参照して回転中のリールの停止位置を決定するテーブル参照処理と、を行い、回転中のリールを停止させ有効ライン L 1 上に図柄を表示（以下、リール停止制御によって回転中のリールを停止させて有効ライン L 1 上に図柄を表示することを「停止表示」とも記載）している。

30

【 0 0 3 9 】

なお、本実施形態のスロットマシン 1 において、内部抽選で複数種類の小役が当選した場合における停止位置の候補の優先度の求め方は、有効ライン L 1 上に表示可能な図柄組合せの数に応じて優先度を求める方法（個数優先制御）と、小役に予め定められている配当に基づくメダルの払出数に応じて優先度を求める方法（枚数優先制御）とが存在する。ただし、枚数優先制御を実行する場合に、配当が同一の小役が重複して当選した場合には、それぞれの小役を入賞させることができる停止位置の候補の優先度がそれぞれ同一のものとして扱われる。

【 0 0 4 0 】

40

入賞判定手段 1 4 0 は、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の停止態様に基づいて、役が入賞したか否かを判定する入賞判定処理を行う。具体的には、記憶手段 1 9 0 の入賞判定テーブル記憶手段 1 9 5 に記憶されている入賞判定テーブルを参照しながら、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 のすべてが停止した時点で有効ライン L 1 上に表示されている図柄組合せが、それぞれ予め定められた役の入賞の形態であるか否かを判定する。そして、各リールが停止した状態における有効ライン L 1 上に表示された図柄組合せによって、ボーナス、リプレイ、小役の入賞の有無を判定（以下、「入賞判定」と記載）できるように入賞判定テーブルが用意されている。なお、以下の記載において、役の入賞形態を示す図柄組合せを「入賞図柄組合せ」とも記載する。

【 0 0 4 1 】

50

本実施形態のスロットマシン 1 では、入賞判定処理における入賞判定手段 1 4 0 の判定結果に基づいて各処理が実行される。入賞役の判定結果に基づき実行される各処理としては、例えば、小役が入賞した場合には払出制御手段 1 5 0 にメダルを払い出させる枚数を決定する処理が行われ、リプレイが入賞した場合にはリプレイ処理手段 1 6 0 に次の遊技においてメダルを消費せずに実行させる処理を行わせ、ボーナス等の遊技状態を移行させる契機となる役が入賞した場合には遊技状態移行制御手段 1 7 0 に遊技状態を移行させる処理が行われる。

【 0 0 4 2 】

払出制御手段 1 5 0 は、遊技結果に応じたメダルの払い出しに関する払出処理を行う。具体的には、小役が入賞した場合に、役ごとに予め定められている配当に基づいて遊技におけるメダルの払出数を決定し、決定された払出数に相当するメダルを、払出装置としてのホッパーユニット 3 2 0 に払い出させる制御を行う。

10

【 0 0 4 3 】

ホッパーユニット 3 2 0 は、払出制御手段 1 5 0 によって指示された払出数のメダルを払い出す動作を行う。ホッパーユニット 3 2 0 には、メダルを 1 枚払い出すごとに作動する払出メダル検出スイッチ 3 2 5 が備えられている。払出制御手段 1 5 0 は、払出メダル検出スイッチ 3 2 5 からの入力信号に基づいて、ホッパーユニット 3 2 0 から実際に払い出されたメダルの数を管理することができるよう構成されている。なお、メダルのクレジットが許可されている場合には、ホッパーユニット 3 2 0 によって実際にメダルの払い出しを行う代わりに、記憶手段 1 9 0 のクレジット記憶領域（図示省略）に記憶されているクレジット数（クレジットされたメダルの数）に対して払出数を加算するクレジット加算処理を行って仮想的にメダルを払い出す処理を行う。

20

【 0 0 4 4 】

リプレイ処理手段 1 6 0 は、入賞判定手段 1 4 0 により有効ライン L 1 上に後述する複数種類のリプレイ役のうちいずれかのリプレイの入賞を示す図柄組合せが停止表示されたと判定され、リプレイが入賞した場合に、次の遊技に関してメダルの投入を要せずに遊技を実行可能にする準備状態に設定するリプレイ処理（再遊技処理）を行う。すなわち、本実施形態のスロットマシン 1 では、リプレイが入賞した場合、規定投入数分のメダルを遊技者の手持ちのメダル（クレジットメダルを含む）を使わずに自動的に投入する自動投入処理が行われ、前回の遊技と同じ有効ライン L 1 を設定した状態で、次のスタートレバー S L に対する開始操作を待機する。

30

【 0 0 4 5 】

遊技状態移行制御手段 1 7 0 は、複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる処理と、ボーナスの作動及び終了に係る処理と、を行う。ここで、各遊技状態の移行条件は、1 つの条件が定められていてもよいし、複数の条件が定められていてもよい。複数の条件が定められている場合には、複数の予め定められた条件のうちいずれか 1 つの条件が成立したこと、あるいは複数の予め定められた条件のすべてが成立したことに基づいて、遊技状態を別の遊技状態へ移行させることができる。

【 0 0 4 6 】

演出制御手段 1 8 0 は、演出制御データ記憶手段 1 9 6 に記憶されている演出データに基づいて、例えば、演出表示装置としての表示装置 3 3 0 を用いて行う画像、映像演出や、音響装置 3 4 0 を用いて行う音響演出等、遊技に関する演出に係る制御を行う。具体的には、メダルの投入、シングルベットボタン B T、マックスベットボタン M B、スタートレバー S L、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 に対する操作等への遊技者によるスロットマシン 1 の各構成の操作時や、遊技状態の変動等の遊技イベントの発生時に、ランプ及び L E D の点灯あるいは点滅、音響装置 3 4 0 からの音の出力、スタートスイッチ 2 3 0 からスタート信号が出力された状態で第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の回転開始を遅延させる第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 を用いた演出等を実行することにより、遊技を盛り上げる演出や、遊技を補助するための演出の実行制御を行う。

40

【 0 0 4 7 】

50

また、演出制御手段 180 は、各演出状態に基づく演出を演出装置 300 を構成する各構成に実行させる。なお、本実施形態において、演出制御手段 180 は、乱数を用いる抽選処理ごとに、乱数生成手段 110 の乱数格納領域から乱数を取得し、演出制御データ記憶手段 196 に記憶されている複数の演出抽選テーブルのうち、各抽選処理に必要な演出抽選テーブルを用いて各抽選処理を実行する。

【0048】

本実施形態において、演出制御手段 180 は、AT 制御手段 200 による入賞補助の実行時において、入賞補助で報知される内容（例えば、当選エリア「打順ベル 1」の当選時に正解打順の報知等）を演出装置 300 を用いた演出によって報知する入賞補助演出を実行する。

【0049】

AT 制御手段 200 は、特定役の入賞を補助する入賞補助を実行可能な補助遊技が実行される区間（期間）である有利区間（有利期間）と、内部抽選手段 120 による内部抽選の結果に基づく補助遊技に関する制御が実行されない遊技が実行される区間（期間）である通常区間（非有利期間、非有利区間）と、の間での移行に係る制御を、AT 制御データ記憶手段 197 に記憶されているデータを用いて実行する。AT 制御データ記憶手段 197 には、通常区間において有利区間を開始するか否かを決定する有利区間移行抽選で用いられる有利区間移行抽選テーブルや、有利区間内において実行される AT 状態及び非 AT 状態を含む複数種類の演出状態に関する各種制御において用いられるデータ（所定の制御処理で ON 状態又は OFF 状態にセットする各種フラグ、カウンタ等）が格納されている。

【0050】

AT 制御手段 200 は、有利区間において所定条件下で演出状態を AT 状態（アシスタタイム状態）に設定し、7 セグメント表示器からなる主制御表示装置 500 に当選している特定役を入賞可能にするストップボタン B1～ストップボタン B3 の操作順序（正解打順）に対応する情報（操作指示情報の一例）を表示することで、特定役の入賞を補助する入賞補助（正解打順報知）を行う。また、スロットマシン 1 では、AT 制御手段 200 による入賞補助が実行される場合に、演出制御手段 180 によって表示装置 330 に正解打順に対応する指標を表示する入賞補助演出を実行する。このように、スロットマシン 1 では、AT 状態において、入賞補助によってストップボタン B1～ストップボタン B3 の操作態様が報知されることで、遊技者にとって有利な補助遊技（AT 遊技、報知遊技）が実行される。

【0051】

AT 制御手段 200 は、より詳しくは後述する有利区間を終了する所定の終了条件が成立した際に、有利区間を終了し次ゲームから通常区間を開始するとともに、有利区間内において設定した各種フラグ、数値等、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理としての終了処理を実行する。また、AT 制御手段 200 は、有利区間を開始し、かつ入賞補助が実行されることで、メダルの獲得期待値が 1 以上となる場合に区間報知部 500A を点灯させる。このため、AT 制御手段 200 は、有利区間を開始している場合であっても、入賞補助が実行されない演出状態である場合には、区間報知部 500A を消灯可能に構成されている。

【0052】

AT 制御手段 200 は、有利区間を開始した遊技において、第 1 有利区間カウンタ 197a に初期値として値「1500」をセットし、1 回の遊技が実行されるごとに、1 ゲームに相当する値である値「1」を第 1 有利区間カウンタ 197a に記憶される値（記憶値）から減算し、第 1 有利区間カウンタ 197a の記憶値を累積的にデクリメント更新するゲーム数更新処理を実行する。また、AT 制御手段 200 は、有利区間を開始した遊技からメダルの払出数をメダルの投入数で減算した値（差枚数）を第 2 有利区間カウンタ 197b に累積的に記録する差枚数更新処理を実行する。

【0053】

本実施形態の AT 制御手段 200 は、有利区間に制御している場合、いずれの遊技状態

10

20

30

40

50

である場合にも、1回の遊技が実行されるごとに1ゲームに相当する値である値「1」ずつ第1有利区間カウンタ197aの記憶値に累積的に減算（更新）するゲーム数更新処理と、メダルの差枚数に相当する値を第2有利区間カウンタ197bの記憶値に累積的に更新する差枚数更新処理と、を実行する。

【0054】

ここで、AT制御手段200は、第2有利区間カウンタ197bの記憶値を更新する差枚数更新処理において、当該遊技におけるメダルの払出数が規定投入数未満であることで第2有利区間カウンタ197bの記憶値を減算した際に、第2有利区間カウンタ197bの記憶値が値「0」未満となる場合、第2有利区間カウンタ197bの記憶値を値「0」にセットする。これにより、AT制御手段200は、第2有利区間カウンタ197bの記憶値が最下点となる際の値について、値「0」に固定することができるため、第2有利区間カウンタ197bの記憶値を用いた制御処理において、最下点における具体的な数値に応じて判定の閾値となる値を変動させる必要がなくなり、第2有利区間カウンタ197bの記憶値を用いた制御処理の負荷を軽減させることができる。

10

【0055】

AT制御手段200は、1500ゲームの遊技が実行された場合、つまり第1有利区間カウンタ197aの記憶値が第1値としての値「0」になった場合又は有利区間において最もメダルを消費した時点から2400枚を超えるメダルを遊技者が獲得した場合、つまり第2有利区間カウンタ197bの記憶値が最も低い値（最下点）であった時点から値「2401」になった場合に、有利区間を終了させる所定の終了条件として特定終了条件が成立したと判定し、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理を実行する。

20

【0056】

AT制御手段200は、所定の終了処理において、有利区間においてON状態にセットした各フラグや有利区間において設定した値等の有利区間における各種制御処理で用いた情報をすべて初期化する。なお、AT制御手段200は、特定終了条件以外の予め設定されている所定の終了条件（通常終了条件）が成立した場合にも有利区間を終了可能であり、通常終了条件が成立した場合にも終了処理を実行する。本実施形態のAT制御手段200が設定する通常終了条件の詳細については、後述する。

【0057】

2. 本実施形態における遊技機が備える構成

次に、図3～図14を参照して、本実施形態におけるスロットマシン1が備える各構成の詳細について説明する。

30

【0058】

< 内部抽選手段 >

図3は、本実施形態のスロットマシン1における各遊技状態で選択される内部抽選テーブルである内部抽選テーブルA～内部抽選テーブルCを示す図である。内部抽選テーブルAは、遊技状態が非RT状態である場合に選択される。内部抽選テーブルAでは、小役に当選する当選エリアと、小役とボーナスとが重複して当選する当選エリアと、ボーナスに当選する当選エリアと、リプレイに当選する当選エリアと、に乱数が対応付けられており、小役、リプレイ又はボーナスのいずれかに当選するように構成されている。また、内部抽選テーブルAでは、リプレイの当選確率が、約1/7.3に設定されている。

40

【0059】

本実施形態のスロットマシン1では、ボーナスとして第1種特別役物に係る役物連続作動装置としてのレギュラービッグボーナス（以下、レギュラービッグボーナスを「RBB」とも記載）を備えており、当選エリア「RBB&1枚役」と、当選エリア「RBB」と、のいずれかに当選することでRBBが成立状態に設定される。

【0060】

内部抽選テーブルBは、非RT状態においてRBBに当選し、RBBが成立状態に設定されたことによって移行される遊技状態であるボーナス成立状態である場合に選択される

50

。内部抽選テーブルBは、内部抽選テーブルAにおいて小役に対応付けられていた乱数と、小役とボーナスとが重複して当選する当選エリアに対応付けられていた乱数と、が小役に対応付けられており、内部抽選テーブルAにおいてリプレイに対応付けられていた乱数と、ボーナスに対応付けられていた乱数と、がリプレイに対応付けられている。

【0061】

内部抽選テーブルCは、RBBが入賞し、RBBが作動した場合に移行される遊技状態であるボーナス状態において選択される。内部抽選テーブルCは、小役の当選確率について、内部抽選テーブルA、内部抽選テーブルBのいずれの内部抽選テーブルにおいて設定されている小役の当選確率よりも高くなるように設定されている。

【0062】

本実施形態のスロットマシン1では、内部抽選で当選した場合に入賞可能な小役（以下、「入賞役」と記載）として、ベルA～ベルD、1枚役A～1枚役K、特殊小役、チャンス役及びレア役が用意されており、複数種類の入賞役が重複して当選する小役の当選エリア（当選態様）として、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」と、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」と、当選エリア「1枚役」と、当選エリア「全小役」と、当選エリア「全1枚役」と、が設定されている。

【0063】

ここで、「打順」とは、ストップボタンB1～ストップボタンB3に対して押下操作を実行する順番（順序）を意味する。また、以下の記載において、ストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作されるタイミングを「押下タイミング」とも記載する。

【0064】

本実施形態のスロットマシン1において、ストップボタンB1～ストップボタンB3の3つのストップボタンを押下する順序である打順は、打順1～打順6の6種類の打順から構成されている。打順1は、ストップボタンB1→ストップボタンB2→ストップボタンB3の順に停止操作が実行される、いわゆる順押しと称される打順である。また、打順2は、ストップボタンB1→ストップボタンB3→ストップボタンB2の順に停止操作が実行される、いわゆるハサミ打ちと称される打順である。また、打順3は、ストップボタンB2→ストップボタンB1→ストップボタンB3の順に停止操作が実行される打順である。また、打順4は、ストップボタンB2→ストップボタンB3→ストップボタンB1の順に停止操作が実行される打順である。また、打順5は、ストップボタンB3→ストップボタンB1→ストップボタンB2の順に停止操作が実行される打順である。また、打順6は、ストップボタンB3→ストップボタンB2→ストップボタンB1の順に停止操作が実行される、いわゆる逆押しと称される打順である。

【0065】

図4は、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」、当選エリア「1枚役」の当選時に重複当選する小役を示す図である。図4に示すように、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」は、ベルA～ベルDのうちいずれか1つが互いに重複することなく当選し、かつ、他の小役として、1枚役A～1枚役Cが図4に示す組合せで当選する当選エリアとして構成されている。また、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」は、チャンス役と、特殊小役と、が重複当選し、かつ、他の小役として、1枚役D～1枚役Kが図4に示す組合せで当選する当選エリアとして構成されている。

【0066】

当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」には、遊技状態がボーナス成立状態である場合において、それぞれベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）が設定されている。当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」には、遊技状態がボーナス成立状態である場合において、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）がそれぞれ設定されている。当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に設定されている正解打順と、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に設定されている設定打順と、の詳細については、後述する。

10

20

30

40

50

【 0 0 6 7 】

当選エリア「R B B & 1 枚役」は、R B B、1 枚役 A ~ 1 枚役 K に重複して当選するエリアである。当選エリア「R B B & 1 枚役」の当選時において、スロットマシン 1 では、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の打順及び押下タイミングによらず 1 枚役 K のいずれかが入賞する。

【 0 0 6 8 】

当選エリア「1 枚役」は、当選エリア「R B B & 1 枚役」と同じ小役に重複して当選し、かつストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の打順及び押下タイミングによらず 1 枚役 K が入賞する当選エリアであり、R B B が抽選の対象に含まれているか否かの差を有している。

10

【 0 0 6 9 】

当選エリア「レア役」は、レア役に当選し、ストップボタン B 3 の押下タイミングが適切な場合にレア役を入賞可能に構成されており、ストップボタン B 3 の押下タイミングがレア役を入賞させることができないタイミングであった場合には、いずれの役も入賞しない取りこぼし（非入賞）となる。なお、本実施形態の内部抽選手段 1 2 0 は、小役を含む各当選態様の当選確率について、当選エリア「レア役」に当選する確率が、他の小役を含む各当選態様のいずれかに当選する確率よりも低い確率となる、いわゆるレア役として構成されている。

【 0 0 7 0 】

当選エリア「全小役」は、ベル A ~ ベル D、チャンス役、特殊小役、1 枚役 A ~ 1 枚役 K、レア役のすべての小役が重複当選する当選エリアであり、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の打順及び押下タイミングによらず最も配当が高いベル A ~ ベル D、チャンス役のいずれかが入賞する当選エリアである。当選エリア「全 1 枚役」は、1 枚役 A ~ 1 枚役 K、レア役の 1 枚の配当に設定された小役が重複当選する当選エリアであり、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の押下タイミングによらず 1 枚役 A ~ 1 枚役 K のいずれかが入賞する当選エリアである。

20

【 0 0 7 1 】

次に、リプレイを含む当選エリアについて説明する。本実施形態のスロットマシン 1 では、リプレイのみを含む当選エリアとして、当選エリア「通常リプレイ 1」と、当選エリア「通常リプレイ 2」と、当選エリア「レアリプレイ」と、が設定されている。

30

【 0 0 7 2 】

当選エリア「通常リプレイ 1」は、内部抽選テーブル A、内部抽選テーブル B のそれぞれにおいて設定されている当選エリアであり、リプレイ A に当選し、打順及び押下タイミングによらずリプレイ A を入賞可能に構成されている。

【 0 0 7 3 】

当選エリア「通常リプレイ 2」は、内部抽選テーブル A、内部抽選テーブル B のそれぞれにおいて設定されている当選エリアであり、リプレイ A と、リプレイ B と、に重複して当選し、打順及び押下タイミングによらずリプレイ A を入賞可能に構成されている。また、当選エリア「通常リプレイ 2」は、内部抽選テーブル A において当選エリア「通常リプレイ 2」に対応付けられていた乱数と、当選エリア「R B B」に対応付けられていた乱数と、が、内部抽選テーブル B において対応付けられており、遊技状態が非 R T 状態からボーナス成立状態に移行することで、当選確率が高くなる当選エリアとして構成されている。

40

【 0 0 7 4 】

当選エリア「レアリプレイ」は、レアリプレイに当選し、内部抽選テーブル A、内部抽選テーブル B のそれぞれにおいて設定されている当選エリアであり、打順及び押下タイミングによらずレアリプレイを入賞可能に構成されている。なお、本実施形態の内部抽選手段 1 2 0 は、リプレイを含む各当選態様の当選確率について、当選エリア「レアリプレイ」に当選する確率が、当選エリア「通常リプレイ 1」、当選エリア「通常リプレイ 2」に当選する確率よりも低い確率となる、いわゆるレアリプレイとして構成されている。

【 0 0 7 5 】

50

ここで、本実施形態のスロットマシン 1 では、持越可能フラグが対応付けられる役としては、R B B があり、小役及びリプレイは、持越不可フラグに対応付けられている。すなわち、抽選フラグ設定処理では、内部抽選で R B B を含む当選エリアに当選すると、当選した R B B の抽選フラグの成立状態を、R B B が入賞するまで持ち越す処理を行う。このとき、内部抽選手段 1 2 0 は、R B B の抽選フラグの成立状態が持ち越されている遊技でも、小役及びリプレイについての当否を決定する内部抽選を行っている。すなわち、抽選フラグ設定処理では、R B B の抽選フラグの成立状態が持ち越されている遊技において、小役やリプレイが当選した場合には、既に当選している R B B の抽選フラグと内部抽選で当選した小役やリプレイの抽選フラグとからなる 2 種類以上の役に対応する抽選フラグを成立状態に設定する。

10

【 0 0 7 6 】

< 図柄の配列 >

図 5 は、本実施形態のスロットマシン 1 における第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の周面に配列された各図柄を示す図である。本実施形態では、図 5 に示すように、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の外周面に、赤 7 図柄「赤 7」、青 7 図柄「青 7」、B A R 図柄「B A R」、リプレイ図柄「R P」、ベル図柄「B L」、チェリー図柄「C H」、ブランク A 図柄「B K A」、ブランク B 図柄「B K B」、ブランク C 図柄「B K C」及び星図柄「S T」が配列されている。また、第 1 リール R 1 ~ 第 3 リール R 3 の周面には、それぞれ 2 0 コマの図柄が配列されている。

20

【 0 0 7 7 】

< リール制御手段 >

本実施形態のスロットマシン 1 では、いずれの遊技状態である場合にも、リール停止制御において有効ライン L 1 上に停止させる役の優先順序が「リプレイ > 小役 > ボーナス」の順序で優先順位が定められている。つまり、リール制御手段 1 3 0 は、ボーナスと小役又はボーナスとリプレイが重複して当選している場合、ボーナスに優先して小役又はリプレイを入賞させる停止制御を実行する。

【 0 0 7 8 】

また、本実施形態のリール制御手段 1 3 0 は、遊技状態がボーナス成立状態である状態で当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、リール停止制御を実行する場合において、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の押下タイミングによって個数優先制御と枚数優先制御とのいずれの制御を実行するかを決定するように構成されている。遊技状態がボーナス成立状態である状態での当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時におけるリール停止制御の詳細については、後述する。

30

【 0 0 7 9 】

< 小役の配当 >

本実施形態において、ベル A ~ ベル D 及びチャンス役の配当は、規定投入数（3 枚）よりも多い枚数の払出数（1 5 枚）に設定されている。また、特殊小役の配当は、規定投入数（3 枚）よりも多く、かつチャンス役よりも少ない配当（1 4 枚）に設定されている。また、1 枚役 A ~ 1 枚役 K 及びレア役の配当は、規定投入数よりも少ない枚数の払出数（1 枚）に設定されている。

40

【 0 0 8 0 】

< 遊技状態移行制御手段 >

図 6（A）は、本実施形態の遊技状態移行制御手段 1 7 0 が実行する遊技状態の移行に係る制御において、各遊技状態から移行可能な遊技状態を示す状態遷移図である。

【 0 0 8 1 】

図 6（A）に示すように、非 R T 状態は、複数種類の遊技状態の中で初期状態に相当する遊技状態（初期遊技状態、通常遊技状態）であり、ボーナスが作動及び成立していない非ボーナス状態となっている。非 R T 状態において、遊技状態移行制御手段 1 7 0 は、内部抽選手段 1 2 0 にリプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定されている内部抽選テーブル

50

ル A を用いた内部抽選を実行させる。

【 0 0 8 2 】

ボーナス成立状態は、非 R T 状態における内部抽選で当選エリア「 R B B 」、当選エリア「 R B B & 1 枚役」のいずれかに当選し、 R B B が成立状態に設定された場合に移行する遊技状態である。ボーナス成立状態において、遊技状態移行制御手段 1 7 0 は、内部抽選手段 1 2 0 にリプレイの当選確率が約 1 / 7 . 3 に設定されている内部抽選テーブル B を用いた内部抽選を実行させる。

【 0 0 8 3 】

ボーナス状態は、 R B B が入賞し R B B が作動することで移行される遊技状態である。ボーナス状態において、遊技状態移行制御手段 1 7 0 は、払い出されたメダルの合計数によって作動している R B B の終了条件が成立したかを判定し、予め定められた所定の払出数（例えば、 1 0 0 枚）を超えるメダルが払い出された場合に、 R B B の作動を終了させることでボーナス状態を終了させて、遊技状態を非ボーナス状態である非 R T 状態へ移行させる。ボーナス状態において、遊技状態移行制御手段 1 7 0 は、内部抽選手段 1 2 0 に内部抽選テーブル C を用いた内部抽選を実行させる。

【 0 0 8 4 】

図 3 に示すように、内部抽選テーブル C では、ベル A ~ ベル D、チャンス役、特殊小役、 1 枚役 A ~ 1 枚役 K、レア役のすべての小役に当選する当選エリア「全小役」と、 1 枚役 A ~ 1 枚役 K、レア役のすべての 1 枚役に当選する当選エリア「全 1 枚役」と、に乱数が対応付けられている。

【 0 0 8 5 】

図 3 を用いてボーナス状態について詳細に説明する。本実施形態のスロットマシン 1 において、内部抽選テーブル C が選択されるボーナス状態において当選エリア「全小役」又は当選エリア「全 1 枚役」に当選する確率は、内部抽選テーブル A、内部抽選テーブル B において小役を含む当選エリアのいずれかに当選する確率よりも高い、つまりボーナス状態において小役に当選する確率が、ボーナス状態以外の遊技状態においていずれかの小役に当選する確率よりも高い確率に設定されている。また、内部抽選テーブル C において、当選エリア「全小役」に当選する確率は、内部抽選テーブル A、内部抽選テーブル B において当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」のいずれか 1 つに当選する確率よりも高く、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」のいずれかに当選する確率（当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」の各当選確率を合算した当選確率）よりも高い確率に設定されている。

【 0 0 8 6 】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン 1 は、ボーナス状態において、ボーナスの非作動時である非 R T 状態、ボーナス成立状態である場合よりもすべての小役の当選確率が上昇するとともに、いずれかの小役に当選する確率も上昇するように構成されている。

【 0 0 8 7 】

また、スロットマシン 1 は、ボーナス状態において、当選エリア「全小役」に当選する確率が、当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」のいずれかに当選する確率（当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」の各当選確率を合算した当選確率）よりも低くなるように構成されている。

【 0 0 8 8 】

このように、本実施形態のスロットマシン 1 は、遊技を開始する際に必要となる遊技価値の投入数よりも多い配当に設定された複数種類の特定小役（ベル A ~ ベル D）が互いに重複せずに他の小役と重複当選する複数種類の第 1 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」）と、複数種類の特定小役が重複して当選する第 2 当選態様（当選エリア「全小役」）と、を有し、内部抽選手段 1 2 0 が、通常遊技状態（非 R T 状態）、ボーナス成立状態において、複数種類の第 1 当選態様が存在するように内部抽選を行うとともに、ボーナス状態において、第 2 当選態様が存在するように内部抽選を行うよ

10

20

30

40

50

うに構成されている。また、スロットマシン 1 において、ボーナス状態における内部抽選で第 2 当選態様に当選する確率は、通常遊技状態、ボーナス成立状態における内部抽選で複数種類の第 1 当選態様のいずれかに当選する確率よりも低く、ボーナス状態における内部抽選でのすべての小役それぞれの当選確率は、通常遊技状態、ボーナス成立状態における内部抽選でのすべての小役それぞれの当選確率以上となるように構成されている。

【 0 0 8 9 】

このため、本実施形態のスロットマシン 1 は、ボーナス状態について、メダルの獲得率の期待値が 1 0 0 % 未満となっている。

【 0 0 9 0 】

ここで、本実施形態のスロットマシン 1 では、より詳しくは後述するが、ボーナス成立状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に、正解打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 を押下操作された場合にベル A～ベル D を入賞させることができるように構成されている。

10

【 0 0 9 1 】

つまり、ボーナス成立状態においては、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に、正解打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 を押下操作されないとベル A～ベル D を入賞させることができない構成であることから、後述する A T 制御手段 2 0 0 によって入賞補助が実行されない非 A T 状態で遊技が実行された場合、ベル A～ベル D のいずれかが入賞する確率は、6 種類の打順から正解打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 を押下操作された場合に限定される。

20

【 0 0 9 2 】

一方、後述する A T 制御手段 2 0 0 によって入賞補助が実行される A T 遊技が実行された場合には、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に、正解打順が報知され、かつベル A～ベル D を入賞可能にする押下タイミングが演出制御手段 1 8 0 による入賞補助演出によって報知されるため、ベル A～ベル D のいずれかが入賞する確率について、入賞補助が実行されない場合に対して最大で 4 倍まで高めることができる。

【 0 0 9 3 】

このように、本実施形態においては、正解打順で停止操作した場合に入賞する規定投入枚数よりも多くのメダルを払い出す入賞役（特定役）として、ベル A～ベル D の 4 種類を設定している。そして、ボーナス状態において特定役を含む当選態様が得られる確率を、ボーナス状態以外の遊技状態において特定役を含む当選態様が得られる確率の約 1 / 4 に圧縮している。このように構成することで、ボーナス状態以外の遊技状態において N 種類の特定役を互いに重複せずに当選させる態様を設けて内部抽選を行い、ボーナス状態において N 種類の特定役を重複して当選させる態様を設けて内部抽選を行うことによって、ボーナス状態において特定役を含む当選態様が得られる確率を、ボーナス状態以外の遊技状態において特定役を含む当選態様が得られる確率の約 1 / N に圧縮することができる。これにより、ボーナス状態でのメダルの獲得率の期待値の下限を 1 0 0 % 未満にまで引き下げた上で A T 遊技に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

30

【 0 0 9 4 】

< A T 制御手段 >

図 6 (B) は、本実施形態の A T 制御手段 2 0 0 によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。

40

【 0 0 9 5 】

上述した通り、通常区間は、内部抽選手段 1 2 0 による内部抽選の結果に基づく補助遊技に関する制御が実行されない期間である。A T 制御手段 2 0 0 は、通常区間内における遊技において、内部抽選手段 1 2 0 による内部抽選で当選した当選エリアに基づき、通常区間を終了し有利区間を開始するか否かを決定する抽選である有利区間抽選を実行する。

【 0 0 9 6 】

有利区間抽選において、A T 制御手段 2 0 0 は、まず、A T 制御データ記憶手段 1 9 7

50

から、複数の乱数のそれぞれに対して「有利区間の開始」、「ハズレ（不当選）」が対応付けられているデータテーブルである有利区間移行抽選テーブルを取得する。そして、A T制御手段200は、乱数生成手段110から乱数を取得し、取得した乱数を有利区間移行抽選テーブルと比較して、比較結果に基づき、有利区間を開始するか否かを決定する。

【0097】

A T制御手段200は、内部抽選で当選した当選エリアの当選確率と、有利区間抽選における「有利区間の開始」の当選確率と、を乗算した確率について、 $1/17500$ 以上となるように有利区間抽選を実行する。

【0098】

本実施形態のA T制御手段200は、非R T状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」、当選エリア「レア役」、当選エリア「通常リプレイ1」、当選エリア「レアリプレイ」、当選エリア「RBB&1枚役」に当選した場合と、ボーナス成立状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」、当選エリア「レア役」、当選エリア「通常リプレイ1」、当選エリア「レアリプレイ」、当選エリア「1枚役」に当選した場合と、に、有利区間抽選を実行し、他の当選エリアに当選した場合には、有利区間抽選を実行しないように構成されている。また、A T制御手段200は、約 $1/1.5$ と高い確率で「有利区間の開始」に当選する有利区間抽選を実行する。

【0099】

有利区間において、A T制御手段200は、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時におけるベルA～ベルDの入賞補助を実行しない非A T状態（第1状態）として、通常非A T状態と、C Z状態と、の複数種類の演出状態を有し、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時におけるベルA～ベルDの入賞補助を実行可能なA T状態（第2状態）を有している。また、本実施形態のスロットマシン1は、全体の遊技における有利区間の滞在比率が、7割以上となりうる構成となっている。

【0100】

本実施形態において、A T制御手段200は、非A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

【0101】

また、演出制御手段180は、非A T状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、A T制御手段200によって設定打順報知制御が実行される場合に、第1停止操作を実行するストップボタンを報知する第1入賞補助演出指標330a（図12参照）を表示装置330に表示する入賞補助演出を実行する。非A T状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に演出制御手段180が実行する入賞補助演出の詳細については、後述する。

【0102】

通常非A T状態は、他の演出状態に移行していない場合に設定される、複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。A T制御手段200は、演出状態が通常非A T状態に移行した場合、通常非A T状態における遊技回数をカウントする非A Tゲーム数カウンタ（不図示）に、遊技が実行される都度、非A Tゲーム数カウンタの記憶値を1ゲームに相当する値「1」を加算するインリメント更新を実行する。A T制御手段200は、非A Tゲーム数カウンタの記憶値が値「700」となった場合に、C Z状態への移行条件が成立したと判定し、演出状態を通常非A T状態からC Z状態に移行する。

10

20

30

40

50

【 0 1 0 3 】

また、A T制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、において、A T状態への移行を決定するか否かを抽選する通常中A T抽選を実行する。

【 0 1 0 4 】

A T制御手段 2 0 0 は、通常中A T抽選において、「A T状態への移行」、「不当選」のいずれかに決定する抽選を行い、通常中A T抽選において「A T状態への移行」に当選した場合には、A T状態への移行条件（A T移行条件）が成立したと判定し、演出状態を通常非A T状態からA T状態に移行する。

【 0 1 0 5 】

C Z状態は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した際にベルA～ベルDの入賞補助が実行されるA T状態に移行する確率が通常非A T状態よりも高く、通常非A T状態よりも有利な演出状態である。A T制御手段 2 0 0 は、C Z状態の開始時にA T制御データ記憶手段 1 9 7 のC Zゲーム数カウンタ（不図示）に所定の遊技回数に対応する値（例えば、3 2ゲーム）をセットし、遊技が実行される都度、C Zゲーム数カウンタの記憶値を1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【 0 1 0 6 】

A T制御手段 2 0 0 は、C Z状態が開始された遊技において、A T状態への移行を決定するか否かを抽選するC Z中A T抽選を実行するように構成されている。C Z中A T抽選において「A T状態への移行」に当選した場合、A T制御手段 2 0 0 は、C Z状態の開始から3 2ゲームの遊技が実行された後に、演出状態をC Z状態からA T状態に移行する。一方、C Z中A T抽選で「A T状態への移行」に当選しなかった場合、A T制御手段 2 0 0 は、C Z状態の開始から3 2ゲームの遊技が実行された後に、C Z状態を終了する。A T制御手段 2 0 0 は、A T移行条件が成立していない状態でC Z状態を終了した場合、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

【 0 1 0 7 】

C Z中A T抽選において、A T制御手段 2 0 0 は、内部抽選の結果によらず、通常非A T状態において実行される通常中A T抽選よりも高い確率で「A T状態への移行」に当選可能な抽選を実行する。また、C Z中A T抽選において、A T制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選した当選エリアを参照して抽選テーブルを取得することで、内部抽選で当選した当選エリアによって「A T状態への移行」に当選する確率が変化するように構成されている。A T制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「レア役」又は当選エリア「レアプレイ」に当選した場合に、他の当選エリアに当選した場合よりも高い確率で「A T状態への移行」に当選可能な抽選テーブルを取得する。

【 0 1 0 8 】

このように、C Z状態は、開始時における遊技において、内部抽選の結果によらず「A T状態への移行」に当選可能なC Z中A T抽選が実行されるとともに、C Z中A T抽選について、内部抽選で当選エリア「レア役」又は当選エリア「レアプレイ」に当選した場合に、他の当選エリアに当選した場合よりも高い確率で「A T状態への移行」に当選可能に構成されており、当選エリア「レア役」又は当選エリア「レアプレイ」に当選した場合に限りA T状態への移行条件が成立する可能性を有する通常非A T状態よりも、遊技者にとって有利な演出状態として構成されている。

【 0 1 0 9 】

本実施形態のA T制御手段 2 0 0 は、通常非A T状態とC Z状態との非A T状態において、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、入賞した役に応じた補助遊技に係る制御（指示機能に係る制御）として、遊技者にとって有利な特典の付与に係る抽選を実行するように構成されている。A T制御手

10

20

30

40

50

段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ設定打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 が押下操作されてチャンス役が入賞した場合と、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ設定打順とは第 1 停止操作から異なる打順（非設定打順）でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 が押下操作されて特殊小役が入賞した場合と、に、通常特典付与抽選を実行し、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ設定打順又は設定打順と第 1 停止操作のみ共通する打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 が押下操作されて 1 枚役 D が入賞した場合に、特定特典付与抽選を実行する。

【 0 1 1 0 】

10

A T 制御手段 2 0 0 は、通常特典付与抽選として、開始条件が成立してから終了条件が成立するまでの 1 セットの A T 状態を貯留（ストック）するか否かを抽選により決定する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、特定特典付与抽選として、2 セットの A T 状態をストックするか否かを抽選により決定する。A T 制御手段 2 0 0 は、1 セット以上の A T 状態のストックを決定した場合、A T 制御データ記憶手段 1 9 7 のストック記憶領域（不図示）にストックしているセット数を記憶する。

【 0 1 1 1 】

A T 制御手段 2 0 0 は、1 セット以上の A T 状態をストックした場合、通常非 A T 状態又は C Z 状態において A T 状態への移行条件が成立し、1 セットの A T 状態が開始及び終了した後に、ストックしていた 1 セットの A T 状態を開始するように構成されており、通常特典付与抽選及び特定特典付与抽選において 1 セットの A T 状態がストックされた場合に、A T 状態がストックされたことに基づき A T 状態を開始しないように構成されている。

20

【 0 1 1 2 】

本実施形態において、通常特典付与抽選で 1 セットの A T 状態のストックに当選する確率、つまり特典が付与される確率は、約 $1 / 100$ の確率に設定されている。また、特定特典付与抽選で 2 セットの A T 状態のストックに当選する確率、つまり特典が付与される確率は、約 $1 / 100$ の確率に設定されている。この、通常特典付与抽選又は特定特典付与抽選で特典が付与される確率が、本実施形態における非 A T 状態において当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に特典を付与可能な第 1 確率を構成する。

30

【 0 1 1 3 】

A T 状態は、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した際にベル A～ベル D の入賞補助が実行される補助遊技を実行可能な状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、A T 状態における入賞補助として、ベル A～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

【 0 1 1 4 】

この、規定投入数（3 枚）よりも多い配当（15 枚）が設定されたベル A～ベル D の入賞補助が実行される補助遊技によってメダルの払い出しに関して非 A T 状態よりも遊技者にとって有利な A T 状態が、本実施形態における第 2 状態を構成し、通常区間、有利区間及び補助遊技に係る制御を行う A T 制御手段 2 0 0 が、本実施形態における補助遊技制御手段を構成する。

40

【 0 1 1 5 】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T 状態の開始時に A T 制御データ記憶手段 1 9 7 の A T ゲーム数カウンタ（不図示）に所定の遊技回数に対応する初期値（50 ゲーム）をセットし、遊技が実行される都度、A T ゲーム数カウンタの記憶値を 1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【 0 1 1 6 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選手段 1 2 0 による内部抽選で当選エリア「レアプレイ」に当選した場合に、A T ゲーム数カウンタの記憶値に抽選により決定された値を加算するか否かを決定することで、A T 状態が継続する期間を加算（上乘せ）するか否

50

かを決定する上乗せ抽選を実行するように構成されている。

【 0 1 1 7 】

A T制御手段 2 0 0 は、A T状態における毎回の遊技の実行の都度実行するデクリメント更新によってA Tゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になった場合に、ストック記憶領域を参照して1セット以上のA T状態がストックされているか否かを判定する。A T制御手段 2 0 0 は、A T状態がストックされていないと判定した場合に、A T状態の終了条件（A T終了条件）が成立したと判定し、A T状態を終了する。また、A T制御手段 2 0 0 は、A T状態において第1有利区間カウンタ 1 9 7 aの記憶値が値「 1 5 0 0 」に達した場合と、A T状態において第2有利区間カウンタ 1 9 7 bの記憶値が値「 2 4 0 0 」を超えた場合と、にも、A T終了条件が成立したと判定し、A T状態を終了する。

10

【 0 1 1 8 】

A T制御手段 2 0 0 は、A Tゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になり、かつ1セットのA T状態がストックされていないと判定したことに基づきA T状態を終了した場合、有利区間を継続するか否かを決定する有利区間継続抽選を実行可能に構成されている。本実施形態において、A T制御手段 2 0 0 は、第2有利区間カウンタ 1 9 7 bの記憶値が値「 9 0 0 」未満、つまり、今回のA T状態において遊技者が獲得したメダルの枚数（差枚数）が9 0 0 枚未満である場合に、有利区間継続抽選を実行する。

【 0 1 1 9 】

A T制御手段 2 0 0 は、有利区間継続抽選を実行し、「有利区間の継続」に当選した場合、演出状態をA T状態から通常非A T状態に移行する。一方、A T制御手段 2 0 0 は、有利区間継続抽選を実行し、「有利区間の継続」に当選しなかった場合と、A T状態の終了時に第2有利区間カウンタ 1 9 7 bの記憶値が値「 9 0 0 」以上である場合と、に、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

20

【 0 1 2 0 】

また、A T制御手段 2 0 0 は、A T状態において第1有利区間カウンタ 1 9 7 aの記憶値が値「 1 5 0 0 」に達したことに基づきA T状態を終了した場合と、A T状態において第2有利区間カウンタ 1 9 7 bの記憶値が値「 2 4 0 0 」を超えたことに基づきA T状態を終了した場合と、において、有利区間の終了条件のうち特定終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

30

【 0 1 2 1 】

また、本実施形態において、A T制御手段 2 0 0 は、A T状態において内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されている。また、A T制御手段 2 0 0 は、A T状態において内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないことに基づき、通常特典付与抽選及び特定特典付与抽選を含む特典の付与に係る抽選を実行しないよう構成されている。

【 0 1 2 2 】

つまり、A T制御手段 2 0 0 は、A T状態において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、0 %の確率で特典を付与可能に設定されている。この、確率0 %が、本実施形態におけるA T状態において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に特典を付与可能な第2確率を構成する。

40

【 0 1 2 3 】

3 . 打順小役当選時の詳細

上述したように、本実施形態のスロットマシン 1 では、打順によって入賞可能となる小役が異なる場合を有する当選エリア（打順小役）として、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス1

50

2」を有しており、遊技状態に応じて入賞可能となる役が異なるように構成されている。

【0124】

< 打順小役当選時において打順ごとに入賞可能になる小役 >

図7は、非RT状態で打順小役に当選した場合において、ストップボタンB1～ストップボタンB3の打順によって入賞可能となる役について示す図である。図7に示すように、スロットマシン1では、非RT状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ストップボタンB1～ストップボタンB3の押下順序によらず、規定投入数よりも多い配当(15枚)に設定されたベルA～ベルDが入賞せず、規定投入数よりも少ない配当(1枚)に設定された1枚役Aが入賞するように構成されている。

10

【0125】

また、図7に示すように、スロットマシン1では、非RT状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、ストップボタンB1～ストップボタンB3の押下順序によらず、規定投入数よりも多い配当(15枚)に設定されたチャンス役と、規定投入数よりも多い第2配当(14枚)に設定された特殊小役と、が入賞せず、規定投入数よりも少ない第1配当(1枚)に設定された1枚役Dが入賞するように構成されている。

【0126】

このため、本実施形態のスロットマシン1では、非RT状態において、規定投入数よりも多い配当に設定された小役が入賞しないため、非RT状態におけるメダルの獲得率の期待値が大幅に抑制されており、非RT状態が他の遊技状態よりも最もメダルの獲得率の期待値が低い遊技状態となっている。

20

【0127】

図8は、ボーナス成立状態で打順小役に当選した場合において、ストップボタンB1～ストップボタンB3の打順によって入賞可能となる役について示す図である。図8に示すように、スロットマシン1では、ボーナス成立状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順(正解打順)が各当選エリアに設定されている。

【0128】

また、図8に示すように、スロットマシン1では、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選し、かつストップボタンB1が第1停止操作される打順(打順1、打順2)でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合に、ベルA～ベルDが入賞せず、1枚役Aが入賞するように構成されている。

30

【0129】

次に、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の詳細について、説明する。本実施形態のスロットマシン1では、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス6」に当選した場合、ストップボタンB2が第1停止操作される打順3又は打順4が、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする設定打順として設定されており、ストップボタンB1が第1停止操作される打順(打順1、打順2)と、ストップボタンB3が第1停止操作される打順(打順5、打順6)と、が、特殊小役が入賞する非設定打順として設定されている。

40

【0130】

また、スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンス7」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合、ストップボタンB3が第1停止操作される打順5又は打順6が、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする設定打順として設定されており、ストップボタンB1が第1停止操作される打順(打順1、打順2)と、ストップボタンB2が第1停止操作される打順(打順3、打順4)と、が、特殊小役が入賞する非設定打順として設定されている。

【0131】

< 打順チャンスに含まれる小役の入賞図柄組合せ >

50

図 4、図 5、図 9 ~ 図 12 を用いて、遊技状態がボーナス成立状態である状態で当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」に当選した場合に入賞する小役の詳細について説明する。図 9 は、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」に含まれる小役であるチャンス役、特殊小役、1 枚役 D ~ 1 枚役 J の入賞図柄組合せ及び配当を示す図である。

【 0 1 3 2 】

図 9 に示すように、チャンス役の入賞図柄組合せは「B L - B L - C H」である。図 5 に示すように、第 1 リール R 1 には、ベル図柄「B L」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。また、第 2 リール R 2 には、ベル図柄「B L」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。また、第 3 リール R 3 には、チェリー図柄「C H」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。このため、チャンス役は、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の押下タイミングによらず入賞可能な小役として構成されている。

10

【 0 1 3 3 】

特殊小役の入賞図柄組合せは「R P - C H - B K A」である。図 5 に示すように、第 1 リール R 1 には、リプレイ図柄「R P」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。また、第 2 リール R 2 には、チェリー図柄「C H」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。また、第 3 リール R 3 には、ブランク A 図柄「B K A」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。このため、特殊小役は、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の押下タイミングによらず入賞可能な小役として構成されている。

20

【 0 1 3 4 】

1 枚役 D の入賞図柄組合せは「R P - R P - B K B」であり、入賞図柄組合せを構成する図柄のうち第 1 リール R 1 の図柄が特殊小役と共通している。図 5 に示すように、第 2 リール R 2 には、リプレイ図柄「R P」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。また、第 3 リール R 3 には、ブランク B 図柄「B K B」が 4 コマ以内の間隔で配置されている。このため、1 枚役 D は、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の押下タイミングによらず入賞可能な小役として構成されている。

【 0 1 3 5 】

1 枚役 E の入賞図柄組合せは「B K A - R P - B K B」であり、入賞図柄組合せを構成する図柄のうち第 2 リール R 2 の図柄が 1 枚役 D と共通している。1 枚役 F の入賞図柄組合せは「赤 7 - C H - B K A」であり、入賞図柄組合せを構成する図柄のうち第 3 リール R 3 の図柄が特殊小役と共通している。

30

【 0 1 3 6 】

1 枚役 G の入賞図柄組合せは「青 7 - B K B - B K C」であり、1 枚役 H の入賞図柄組合せは「B A R - 赤 7 - B K C」であり、1 枚役 I の入賞図柄組合せは「B K C - 青 7 - S T」であり、1 枚役 J の入賞図柄組合せは「C H - B A R - S T」である。1 枚役 G ~ 1 枚役 J の入賞図柄組合せを構成する各リールの図柄は、チャンス役、特殊小役、1 枚役 D ~ 1 枚役 F の入賞図柄組合せを構成する各リールの図柄と重複しない図柄から構成されている。

【 0 1 3 7 】

< 打順チャンスに設定された第 1 停止操作の押下タイミング >

40

図 10 (A) は、遊技状態がボーナス成立状態である状態で当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 6」に当選し、ストップボタン B 2 が第 1 停止操作される場合におけるストップボタン B 2 の押下タイミングに応じて入賞する役（入賞役）について示す図である。

【 0 1 3 8 】

図 10 (A) に示すように、リール制御手段 130 は、当選エリア「打順チャンス 1」に当選し、第 2 リール R 2 の停止番号 0 番、6 番、12 番、18 番のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミングでストップボタン B 2 が押下操作された場合に、リール停止制御として枚数優先制御を実行し、15 枚の配当に設定され、特殊小役、1 枚役 D ~ 1 枚役 F よりも多い配当に設定されているチャンス役の入賞図柄組

50

合せ「ＢＬ－ＢＬ－ＣＨ」を構成するベル図柄「ＢＬ」を有効ラインＬ１上に停止表示し、当該遊技において入賞可能となる役をチャンス役に確定させる。

【０１３９】

一方、リール制御手段１３０は、当選エリア「打順チャンス１」に当選し、第２リールＲ２の停止番号１番～５番、７番～１１番、１３番～１７番、１９番のコマに配列された図柄が有効ラインＬ１上に回転表示されているタイミングでストップボタンＢ２が押下操作された場合に、リール停止制御として個数優先制御と停止制御テーブルを用いた停止制御とを実行し、１枚役Ｄの入賞図柄組合せ「ＲＰ－ＲＰ－ＢＫＢ」を構成するリプレイ図柄「ＲＰ」を有効ラインＬ１上に停止表示し、当該遊技において入賞可能となる役を１枚役Ｄと、１枚役Ｅと、のいずれかに確定させる。

10

【０１４０】

リール制御手段１３０は、当選エリア「打順チャンス２」～当選エリア「打順チャンス６」に当選した場合についても、当選エリア「打順チャンス１」に当選した場合と略同様に、ストップボタンＢ２の押下タイミングによって枚数優先制御と個数優先制御とのいずれを実行するかが予め設定されている。リール制御手段１３０は、枚数優先制御を実行すると設定されている停止番号のコマに配列された図柄が有効ラインＬ１上に回転表示されているタイミングでストップボタンＢ２が押下操作された場合には、ベル図柄「ＢＬ」を有効ラインＬ１上に停止表示し、個数優先制御を実行すると設定されている停止番号のコマに配列された図柄が有効ラインＬ１上に回転表示されているタイミングでストップボタンＢ２が押下操作された場合には、リプレイ図柄「ＲＰ」を有効ラインＬ１上に停止表示する。

20

【０１４１】

また、図１０（Ａ）に示すように、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス６」は、リール制御手段１３０が枚数優先制御を実行することでチャンス役が入賞可能となるストップボタンＢ２の押下タイミングについて、それぞれ重複しない押下タイミングになるように構成されている。

【０１４２】

図１０（Ｂ）は、遊技状態がボーナス成立状態である状態で当選エリア「打順チャンス７」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、ストップボタンＢ３が第１停止操作される場合におけるストップボタンＢ３の押下タイミングに応じた入賞役について示す図である。

30

【０１４３】

図１０（Ｂ）に示すように、リール制御手段１３０は、当選エリア「打順チャンス７」に当選し、第３リールＲ３の停止番号０番、６番、１２番、１８番のコマに配列された図柄が有効ラインＬ１上に回転表示されているタイミングでストップボタンＢ３が押下操作された場合に、リール停止制御として枚数優先制御を実行し、１５枚の配当に設定され、特殊小役、１枚役Ｄ～１枚役Ｆよりも多い配当に設定されているチャンス役の入賞図柄組合せ「ＢＬ－ＢＬ－ＣＨ」を構成するチェリー図柄「ＣＨ」を有効ラインＬ１上に停止表示し、当該遊技において入賞可能となる役をチャンス役に確定させる。

【０１４４】

40

一方、リール制御手段１３０は、当選エリア「打順チャンス７」に当選し、第３リールＲ３の停止番号１番～５番、７番～１１番、１３番～１７番、１９番のコマに配列された図柄が有効ラインＬ１上に回転表示されているタイミングでストップボタンＢ３が押下操作された場合に、リール停止制御として個数優先制御と停止制御テーブルを用いた停止制御とを実行し、１枚役Ｄの入賞図柄組合せ「ＲＰ－ＲＰ－ＢＫＢ」を構成する blanks 図柄「ＢＫＢ」を有効ラインＬ１上に停止表示し、当該遊技において入賞可能となる役を１枚役Ｄと、１枚役Ｅと、のいずれかに確定させる。

【０１４５】

リール制御手段１３０は、当選エリア「打順チャンス８」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合についても、当選エリア「打順チャンス７」に当選した場合と略同

50

様に、ストップボタン B 3 の押下タイミングによって枚数優先制御と個数優先制御とのいずれを実行するかが予め設定されている。リール制御手段 1 3 0 は、枚数優先制御を実行すると設定されている停止番号のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミングでストップボタン B 3 が押下操作された場合には、チェリー図柄「C H」を有効ライン L 1 上に停止表示し、個数優先制御を実行すると設定されている停止番号のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミングでストップボタン B 3 が押下操作された場合には、ブランク B 図柄「B K B」を有効ライン L 1 上に停止表示する。

【 0 1 4 6 】

また、図 1 0 (B) に示すように、当選エリア「打順チャンス 7」～当選エリア「打順チャンス 1 2」は、リール制御手段 1 3 0 が枚数優先制御を実行することでチャンス役が入賞可能となるストップボタン B 3 の押下タイミングについて、それぞれ重複しない押下タイミングになるように構成されている。

10

【 0 1 4 7 】

< 打順チャンス当選時におけるリール停止制御 >

図 1 1 (A) は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」のうち、チャンス役、特殊小役、1 枚役 D ～ 1 枚役 J のすべてが重複当選する当選エリアである当選エリア「打順チャンス 1 2」で重複当選する小役の入賞図柄組合せ及び配当を説明する図であり、図 1 1 (B) ～ 図 1 1 (D) は、遊技状態がボーナス成立状態である状態で当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、ストップボタン B 1 ～ストップボタン B 3 のそれぞれが第 1 停止操作された場合に有効ライン L 1 上に表示可能となる図柄組合せの数を説明する図である。

20

【 0 1 4 8 】

図 1 1 (B) に示すように、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 1 が第 1 停止操作された場合、リプレイ図柄「R P」を有効ライン L 1 上に停止表示することで特殊小役の入賞図柄組合せ「R P - C H - B K A」と、1 枚役 D の入賞図柄組合せ「R P - R P - B K B」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、ベル図柄「B L」、ブランク A 図柄「B K A」、赤 7 図柄「赤 7」、青 7 図柄「青 7」、B A R 図柄「B A R」、ブランク C 図柄「B K C」、チェリー図柄「C H」のいずれかを有効ライン L 1 上に停止表示した場合には 1 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能になることから、個数優先制御によって停止表示する図柄として最も優先順位の高い図柄をリプレイ図柄「R P」に決定する。

30

【 0 1 4 9 】

上述した通り、リプレイ図柄「R P」は、第 1 リール R 1 において、ストップボタン B 1 の押下タイミングによらず有効ライン L 1 上に停止表示可能となるように配列されている。これにより、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 1 が第 1 停止操作された場合、ストップボタン B 1 の押下タイミングによらずリプレイ図柄「R P」が有効ライン L 1 上に停止表示される。

【 0 1 5 0 】

スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ第 1 停止操作がストップボタン B 1 に実行されて有効ライン L 1 を構成する第 1 リール R 1 の中段にリプレイ図柄「R P」が停止表示された場合、当該遊技で入賞可能となる小役が 1 4 枚の配当に設定された特殊小役と、1 枚の配当に設定された 1 枚役 D と、に限定される。スロットマシン 1 では、第 2 停止操作がストップボタン B 2、ストップボタン B 3 のいずれに実行された場合にも、リール制御手段 1 3 0 によって枚数優先制御が実行され、特殊小役の入賞図柄組合せ「R P - C H - B K A」を構成する図柄を有効ライン L 1 上に停止表示するリール停止制御が実行されることで、当該遊技において特殊小役が入賞する。

40

【 0 1 5 1 】

図 1 1 (C) に示すように、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 2 が第 1 停止操作された場合、チェリー図柄「C H」を

50

有効ライン L 1 上に停止表示することで特殊小役の入賞図柄組合せ「R P - C H - B K A」と、1 枚役 F の入賞図柄組合せ「赤 7 - C H - B K A」の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、リプレイ図柄「R P」を有効ライン L 1 上に停止表示することで 1 枚役 D の入賞図柄組合せ「R P - R P - B K B」と、1 枚役 E の入賞図柄組合せ「B K A - R P - B K B」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、ベル図柄「B L」、ブランク B 図柄「B K B」、赤 7 図柄「赤 7」、青 7 図柄「青 7」、B A R 図柄「B A R」のいずれかを有効ライン L 1 上に停止表示した場合には 1 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となる。

【 0 1 5 2 】

リール制御手段 1 3 0 は、チェリー図柄「C H」と、リプレイ図柄「R P」と、のそれぞれを第 2 リール R 2 の中段に停止表示した場合における有効ライン L 1 上に表示可能な入賞図柄組合せの数が同一であることから、個数優先制御によってチェリー図柄「C H」と、リプレイ図柄「R P」と、との間に優先順位をつけられないため、停止制御テーブル記憶手段 1 9 4 に記憶されている停止制御テーブルを用いたリール停止制御によって、チェリー図柄「C H」を有効ライン L 1 上に停止表示することを決定する。

10

【 0 1 5 3 】

上述した通り、チェリー図柄「C H」は、第 2 リール R 2 において、ストップボタン B 2 の押下タイミングによらず有効ライン L 1 上に停止表示可能となるように配列されている。これにより、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 2 が第 1 停止操作された場合、ストップボタン B 2 の押下タイミングによらずチェリー図柄「C H」が有効ライン L 1 上に停止表示される。

20

【 0 1 5 4 】

スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ第 1 停止操作がストップボタン B 2 に実行されて有効ライン L 1 を構成する第 2 リール R 2 の中段にチェリー図柄「C H」が停止表示された場合、当該遊技で入賞可能となる小役が 1 4 枚の配当に設定された特殊小役と、1 枚の配当に設定された 1 枚役 F と、に限定される。スロットマシン 1 では、第 2 停止操作がストップボタン B 1、ストップボタン B 3 のいずれに実行された場合にも、リール制御手段 1 3 0 によって枚数優先制御が実行され、特殊小役の入賞図柄組合せ「R P - C H - B K A」を構成する図柄を有効ライン L 1 上に停止表示するリール停止制御が実行されることで、当該遊技において特殊小役が入賞する。

30

【 0 1 5 5 】

図 1 1 (D) に示すように、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 3 が第 1 停止操作された場合、チェリー図柄「C H」を有効ライン L 1 上に停止表示することでチャンス役の入賞図柄組合せ「B L - B L - C H」の 1 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、ブランク A 図柄「B K A」を有効ライン L 1 上に停止表示することで特殊小役の入賞図柄組合せ「R P - C H - B K A」と、1 枚役 F の入賞図柄組合せ「赤 7 - C H - B K A」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、ブランク B 図柄「B K B」を有効ライン L 1 上に停止表示することで 1 枚役 D の入賞図柄組合せ「R P - R P - B K B」と、1 枚役 E の入賞図柄組合せ「B K A - R P - B K B」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、ブランク C 図柄「B K C」を有効ライン L 1 上に停止表示することで 1 枚役 G の入賞図柄組合せ「青 7 - B K B - B K C」と、1 枚役 H の入賞図柄組合せ「B A R - 赤 7 - B K C」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となり、星図柄「S t」を有効ライン L 1 上に停止表示することで 1 枚役 I の入賞図柄組合せ「B K C - 青 7 - S T」と、1 枚役 J の入賞図柄組合せ「C H - B A R - S T」と、の 2 個の図柄組合せを有効ライン L 1 上に表示可能となる。

40

【 0 1 5 6 】

リール制御手段 1 3 0 は、ブランク A 図柄「B K A」と、ブランク B 図柄「B K B」と、ブランク C 図柄「B K C」と、星図柄「S T」と、のそれぞれを第 3 リール R 3 の中段に停止表示した場合における有効ライン L 1 上に表示可能な入賞図柄組合せの数が同一で

50

あることから、個数優先制御によってブランク A 図柄「B K A」と、ブランク B 図柄「B K B」と、ブランク C 図柄「B K C」と、星図柄「S T」と、との間に優先順位をつけられないため、停止制御テーブル記憶手段 194 に記憶されている停止制御テーブルを用いたリール停止制御によって、ブランク B 図柄「B K B」を有効ライン L 1 上に停止表示することを決定する。

【0157】

上述した通り、ブランク B 図柄「B K B」は、第 3 リール R 3 において、ストップボタン B 3 の押下タイミングによらず有効ライン L 1 上に停止表示可能となるように配列されている。これにより、スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつストップボタン B 3 が第 1 停止操作された場合、ストップボタン B 3 の押下タイミ

10

【0158】

スロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ第 1 停止操作がストップボタン B 3 に実行されて有効ライン L 1 を構成する第 3 リール R 3 の中段にブランク B 図柄「B K B」が停止表示された場合、当該遊技で入賞可能となる小役が 1 枚の配当に設定され 1 個の図柄組合せから入賞図柄組合せが構成された 1 枚役 D と、1 枚の配当に設定され 1 個の図柄組合せから入賞図柄組合せが構成された 1 枚役 E と、に限定される。スロットマシン 1 では、第 2 停止操作がストップボタン B 1、ストップボタン B 3 のいずれに実行された場合にも、リール制御手段 130 によって停止制御テーブルを用いたリール停止制御が実行され、1 枚役 D の入賞図柄組合せ「R P - R P - B K B」を構成する図柄を有効ライン L 1 上に停止表示するリール停止制御が実行されることで、当該遊技において 1 枚役 D が入賞する。

20

【0159】

なお、スロットマシン 1 では、図 10 (B) に示したように、第 1 停止操作されるストップボタン B 3 の押下タイミングが、第 3 リール R 3 の停止番号 5 番、11 番、17 番のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミングであった場合、リール制御手段 130 によって枚数優先制御が実行され、15 枚の配当に設定されたチャンス役の入賞図柄組合せ「B L - B L - C H」を構成するチェリー図柄「C H」が有効ライン L 1 上に停止表示されることで、当該遊技において入賞可能となる役がチャンス役に確定される。

30

【0160】

< 打順チャンス当選時における入賞補助演出 >

図 12 は、非 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」に当選した場合に、演出制御手段 180 が実行する入賞補助演出を示す図である。図 12 に示すように、演出制御手段 180 は、表示装置 330 に、設定打順のうち第 1 停止操作を実行するストップボタンがストップボタン B 2 であることを報知する第 1 入賞補助演出指標 330 a を第 2 リール R 2 の近傍に表示するとともに、第 1 リール R 1 の近傍と第 3 リール R 3 の近傍とのそれぞれに同一の内容の第 2 入賞補助演出指標 330 b を表示することで、設定打順のうち第 2 停止操作を実行するストップボタンがストップボタン B 1 又はストップボタン B 3 であることを報知する入賞補助演出を実行する。図 12 に示すように、本実施形態のスロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」の当選に基づき演出制御手段 180 による入賞補助演出が実行され、第 1 入賞補助演出指標 330 a が表示装置 330 に表示された場合、当該遊技において当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」のいずれに当選しているかを遊技者が判別できない構成となっている。

40

【0161】

また、スロットマシン 1 では、図 10 (A) に示したように、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」に当選し、ストップボタン B 2 が第 1 停止操作される場合、ストップボタン B 2 の押下タイミングが各当選エリアに設定されている所定の押下タイミング（例えば、当選エリア「打順チャンス 1」であれば第 2 リール R 2 の停止

50

番号 0 番、6 番、1 2 番、1 8 番のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミング)である場合に限り、チャンス役が入賞するとともに、チャンス役が入賞可能となるストップボタン B 2 の押下タイミングについて、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」のそれぞれで重複しないように構成されている。

【0 1 6 2】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 6」の当選に基づき演出制御手段 1 8 0 による入賞補助演出が実行され、第 1 入賞補助演出指標 3 3 0 a が表示装置 3 3 0 に表示された場合、6 種類の当選エリアのうちいずれか 1 つに当選し、該当当選した当選エリアに設定された所定の押下タイミングでストップボタン B 2 が第 1 停止操作された場合に限りチャ

10

【0 1 6 3】

なお、演出制御手段 1 8 0 は、非 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 7」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合、表示装置 3 3 0 に、設定打順のうち第 1 停止操作を実行するストップボタンがストップボタン B 3 であることを報知する第 1 入賞補助演出指標 3 3 0 a を表示するとともに、第 1 リール R 1 の近傍と第 2 リール R 2 の近傍とのそれぞれに同一の内容の第 2 入賞補助演出指標 3 3 0 b を表示することで、設定打順のうち第 2 停止操作を実行するストップボタンがストップボタン B 1 又はストップボタン B 2 であることを報知する入賞補助演出を実行するため、当該遊技において

20

【0 1 6 4】

また、スロットマシン 1 では、図 1 0 (B) に示したように、当選エリア「打順チャンス 7」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、ストップボタン B 3 が第 1 停止操作される場合、ストップボタン B 3 の押下タイミングが各当選エリアに設定されている所定の押下タイミング(例えば、当選エリア「打順チャンス 7」であれば第 3 リール R 3 の停止番号 0 番、6 番、1 2 番、1 8 番のコマに配列された図柄が有効ライン L 1 上に回転表示されているタイミング)である場合に限り、チャンス役が入賞するとともに、チャンス役が入賞可能となるストップボタン B 3 の押下タイミングについて、当選エリア「打順チャンス 7」～当選エリア「打順チャンス 1 2」のそれぞれで重複しないように構成されて

30

【0 1 6 5】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン 1 では、当選エリア「打順チャンス 7」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選に基づき演出制御手段 1 8 0 による入賞補助演出が実行され、第 1 入賞補助演出指標 3 3 0 a が表示装置 3 3 0 に表示された場合、6 種類の当選エリアのうちいずれか 1 つに当選し、該当当選した当選エリアに設定された所定の押下タイミングでストップボタン B 3 が第 1 停止操作された場合に限りチャンス役が入賞することから、1 / 6 の確率でチャンス役が入賞し、5 / 6 の確率で 1 枚役 D が入賞する。

40

【0 1 6 6】

4 . 特殊小役と他の役の関係

次に、図 1 3、図 1 4 を用いて、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に含まれる特殊小役と、他の役と、の関係について説明する。

【0 1 6 7】

< 入賞図柄組合せ >

図 1 3 は、当選エリア「R B B & 1 枚役」及び当選エリア「1 枚役」に含まれる 1 枚役 K と、当選エリア「レア役」に含まれるレア役と、当選エリア「通常リプレイ 1」及び当選エリア「通常リプレイ 2」に含まれるリプレイ A と、の入賞図柄組合せを示す図である。

【0 1 6 8】

50

1枚役Kの入賞図柄組合せは「RP - RP - BKA」であり、ストップボタンB1～ストップボタンB3の打順及び押下タイミングによらず入賞可能な小役として構成されている。レア役の入賞図柄組合せは「RP - RP (BL) - ST」であり、ストップボタンB1～ストップボタンB3の打順及び押下タイミングによらず入賞可能な小役として構成されている。リプレイAの入賞図柄組合せは「RP - RP - BKC」であり、ストップボタンB1～ストップボタンB3の打順及び押下タイミングによらず入賞可能なリプレイとして構成されている。

【0169】

図8、図9、図13を用いて、特殊小役と、1枚役Kと、レア役と、リプレイAと、の関係について詳細に説明する。上述したように、入賞図柄組合せが「RP - CH - BKA」から構成された特殊小役は、遊技状態がボーナス成立状態であり、かつ当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、ストップボタンB1が第1停止操作される打順1、打順2でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作されることで入賞可能となるように構成されている。また、1枚役K、レア役、リプレイAは、いずれもストップボタンB1～ストップボタンB3の打順及び押下タイミングによらず入賞可能に構成されていることから、打順1、打順2でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合にも入賞可能に構成されている。

【0170】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン1では、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合と、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「1枚役」に当選した場合と、当選エリア「通常リプレイ1」、当選エリア「通常リプレイ2」に当選した場合と、のいずれの場合においても、ストップボタンB1が第1停止操作される遊技が実行された際に、第1リールR1の上段にリプレイ図柄「RP」が停止するため、第1リールR1が停止した時点で遊技の結果が遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

【0171】

< 当選確率 >

図14は、ボーナス成立状態における内部抽選で抽選の対象に設定されている各当選エリアに対応付けられた乱数の量（抽選値数、乱数値設定量）と当選確率とを示す図である。

【0172】

図14に示すように、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」には、それぞれ7368の抽選値数が対応付けられており、それぞれ7368 / 65536（約1 / 8.8）の確率で当選するように構成されている。このため、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」のいずれかに当選する確率（当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選確率の合算）は、29472 / 65536（約1 / 2.2）となっている。

【0173】

当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」には、それぞれ270の抽選値数が対応付けられており、それぞれ270 / 65536（約1 / 242.7）の確率で当選するように構成されている。このため、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」のいずれかに当選する確率（当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選確率の合算）は、3240 / 65536（約1 / 20.2）となっている。

【0174】

当選エリア「レア役」には、48の抽選値数が対応付けられており、48 / 65536（約1 / 1365.3）の確率で当選するように構成されている。当選エリア「1枚役」には、7935の抽選値数が対応付けられており、7935 / 65536（約1 / 8.3）の確率で当選するように構成されている。

【0175】

当選エリア「通常リプレイ１」には、８８００の抽選値数が対応付けられており、８８００／６５５３６（約１／７．４）の確率で当選するように構成されている。当選エリア「通常リプレイ２」には、１３４の抽選値数が対応付けられており、１３４／６５５３６（約１／４８９．１）の確率で当選するように構成されている。当選エリア「レアリプレイ」には、４８の抽選値数が対応付けられており４８／６５５３６（約１／１３６５．３）の確率で当選するように構成されている。このため、リプレイのいずれかに当選する確率（当選エリア「通常リプレイ１」、当選エリア「通常リプレイ２」、当選エリア「レアリプレイ」の当選確率の合算）は、８９８２／６５５３６（約１／７．３）となっている。

【０１７６】

このように、本実施形態のスロットマシン１では、当選エリア「レア役」の当選確率よりも、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選確率の合算の方が高い確率となるように構成されている。また、スロットマシン１では、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選確率の合算よりも、当選エリア「１枚役」の当選確率の方が高い確率となるように構成されている。そして、スロットマシン１では、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選確率の合算よりも、当選エリア「通常リプレイ１」の当選確率の方が高い確率となるように構成されている。

【０１７７】

５．本実施形態のまとめ

上述したように、本実施形態のスロットマシン１では、遊技状態がボーナス成立状態で、かつ非ＡＴ状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする設定打順のうち第１停止操作を実行する打順を報知する設定打順報知制御及び入賞補助演出が実行されるように構成されている。

【０１７８】

また、スロットマシン１では、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、かつ設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作される場合において、それぞれに設定されている所定の押下タイミングで第１停止操作が実行された場合には１５枚の配当に設定されたチャンス役が入賞し、チャンス役が入賞しない押下タイミングで第１停止操作がなされた場合には１枚の配当に設定された１枚役Ｄが入賞するように構成されており、チャンス役の入賞確率が１／６に設定され、１枚役Ｄの入賞確率が５／６に設定されている。

【０１７９】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン１では、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス４」の当選時に、設定打順補助制御及び入賞補助演出に従う遊技を実行した場合に、当該遊技においてメダルを獲得することが難しい構成となっている。

【０１８０】

しかしながら、上述した通り、本実施形態のＡＴ制御手段２００は、非ＡＴ状態において、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、かつ１枚役Ｄが入賞した場合に、チャンス役又は特殊小役が入賞した場合に実行する通常特典抽選よりも遊技者にとって有利な特定特典付与抽選を実行するように構成されている。

【０１８１】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン１では、非ＡＴ状態において設定打順補助制御及び入賞補助演出が実行された際に、設定打順補助制御及び入賞補助演出で報知される設定打順のうち第１停止操作に設定されたストップボタンを押下する遊技を実行することで、１／６の確率で１５枚の配当に設定されたチャンス役が入賞するため、規定投入数よりも多い配当に設定されたチャンス役の入賞によってメダルを獲得できるとともに、５／６の確率でチャンス役が入賞せず１枚の配当に設定された１枚役Ｄが入賞する場合にも、チャンス役が入賞した際に実行される通常特典付与抽選よりも有利な特定特典

10

20

30

40

50

付与抽選が実行されるため、メダルを獲得できなかった場合にも遊技者にとって有利な制御が実行されることで、設定打順に従った遊技に対する遊技者の興趣を向上させることができる。

【0182】

また、スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に、設定打順補助制御及び入賞補助演出に従った遊技が実行され、設定打順のうち第1停止操作に設定されたストップボタンが押下操作された場合に、1/6の確率で15枚の配当に設定されたチャンス役が入賞し、5/6の確率で第1配当としての1枚の配当に設定された1枚役Dが入賞するため、チャンス役の入賞する確率を引き下げることで設定打順のうち第1停止操作に設定されたストップボタンを押下操作する遊技が実行される場合のメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げることができる。

10

【0183】

また、このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン1では、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合において、第1停止操作から設定打順とは異なる非設定打順でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作する遊技を実行することで、確実に第2配当としての14枚の配当に設定された特殊小役を入賞させることができ、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合におけるメダルの獲得率を高めることができる。

【0184】

このため、本実施形態のスロットマシン1は、演出状態がAT状態に移行した場合に、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に、設定打順補助制御及び入賞補助演出を実行しないように構成されるとともに、AT状態における当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に、チャンス役が入賞した場合と、特殊小役が入賞した場合と、1枚役Dが入賞した場合と、のいずれの場合にも遊技者にとって有利となる補助遊技に係る制御を実行しないように構成されている。

20

【0185】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン1では、AT状態でかつ当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作する場合よりも非設定打順でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作した場合の方が、メダルを獲得する可能性が高くなっている。

30

【0186】

ここで、図8に示したように、本実施形態のスロットマシン1は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」のいずれにおいても設定打順に設定されていない共通の非設定打順として、打順1及び打順2が設定された構成となっている。

【0187】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン1では、AT状態であり、かつ入賞補助が実行されず遊技者が任意の操作態様でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作する場合に、打順1又は打順2のストップボタンB1を第1停止操作する打順でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作することで、規定投入数(3枚)よりも多い14枚の配当に設定された特殊小役を入賞させることができるため、AT状態での当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時において、共通の非設定打順で遊技を実行することで特殊小役が入賞するため、遊技者にストレスを与えることなく容易にメダルを獲得させることができる。

40

【0188】

ここで、上述した通り、本実施形態のスロットマシン1では、打順1又は打順2でストップボタンB1～ストップボタンB3を押下操作した場合に、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に確実に特殊小役が入賞する構成となっていることから、正解打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された

50

場合に 15 枚の配当が設定されたベル A ~ ベル D が入賞する当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」について、打順 1 又は打順 2 が正解打順に設定されていない構成となっている。

【0189】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン 1 は、打順 1 又は打順 2 で継続して遊技を実行した場合にも、過度なメダルの払い出しが実行されてしまい遊技機の商品性が低下してしまうことを防止することができる。

【0190】

なお、本実施形態のスロットマシン 1 は、正解打順でストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 が押下操作された場合に 15 枚の配当が設定されたベル A ~ ベル D が入賞する当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」について、打順 1 又は打順 2 が正解打順に設定されていない構成となっており、遊技状態がボーナス成立状態であり、かつ打順 1 又は打順 2 で継続して遊技を実行した場合に、15 枚の配当に設定された小役が入賞しない構成となっているが、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に 14 枚の配当に設定された特殊小役が入賞することで、一時的な確率の偏りの影響を十分に無視できるだけの遊技回数である所定の遊技回数（例えば 17500 ゲーム）の遊技が打順 1 又は打順 2 のみのストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 の操作で実行された場合において、所定の遊技回数の遊技の間に投入されるメダルの総投入数に対する所定の遊技回数の遊技の間に獲得されるメダルの総払出数の割合（出玉率）が 60 % 以上となるように構成されている。

【0191】

また、上述したように、本実施形態のスロットマシン 1 は、ボーナス成立状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」に当選し、かつ非設定打順となっている打順 1、打順 2 でストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 が押下操作された場合に、入賞図柄組合せが「R P - C H - B K A」から構成された特殊小役が入賞する。また、スロットマシン 1 では、当選エリア「レア役」に当選した場合に、ストップボタン B 1 ~ ストップボタン B 3 がいずれの打順で押下操作された場合にも、入賞図柄組合せが「R P - R P (B L) - S T」から構成されたレア役が入賞する。

【0192】

そして、上述したように、本実施形態のスロットマシン 1 では、ボーナス成立状態における内部抽選において、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」のいずれかに、約 $1/20.2$ の確率で当選し、当選エリア「レア役」に、約 $1/1365.3$ の確率で当選する。

【0193】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン 1 では、遊技者によって遊技が開始され、ストップボタン B 1 が第 1 停止操作されてリプレイ図柄「R P」が第 1 リール R 1 の上段に停止表示された場合において、約 $1/20.2$ の確率で当選する当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」の当選によって入賞可能になる特殊小役と、約 $1/1365.3$ の確率で当選する当選エリア「レア役」の当選によって入賞可能になるレア役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

【0194】

この、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」が、本実施形態における第 1 当選態様を構成し、第 1 リール R 1 が、本実施形態における特定リールを構成し、リプレイ図柄「R P」が、本実施形態における特定図柄を構成し、当選エリア「レア役」が、本実施形態における第 2 当選態様を構成し、レア役が、本実施形態における特定役を構成し、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 12」のいずれかに当選する確率（約 $1/20.2$ ）が、本実施形態における第 1 確率を構成し、当選エリア「レア役」の当選確率（約 $1/1365.3$ ）が、本実施形態における第 2 確率を構成する。

【 0 1 9 5 】

以上のように、本実施形態の遊技機（１）は、
複数のリール（Ｒ１，Ｒ２，Ｒ３）と、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタン（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）と、
内部抽選を行う内部抽選手段（１２０）と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助
遊技制御手段（２００）と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第１当選態様が含まれ、
前記第１当選態様には、第１配当の小役と、第２配当の小役と、の重複当選が対応付け
られ、
前記第１配当は、前記第２配当よりも低く、
前記第１当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設
定されており、
前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作され
た場合に、前記第１配当の小役が入賞可能であり、
前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる
非設定打順で操作された場合に、前記第２配当の小役が入賞可能であり、
前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第１
状態と、第２状態と、を制御し、
前記第２状態は、前記第１状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、
前記補助遊技制御手段は、前記第１状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した場合
に、前記設定打順を報知し、
前記補助遊技制御手段は、前記第２状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した場合
に、前記設定打順を報知せず、
前記複数のリールには、特定リールと、が含まれ、
前記特定リールには、特定図柄が配列され、
前記複数の当選態様には、第２当選態様が含まれ、
前記第２当選態様には、特定役の当選が対応付けられ、
前記特定図柄は、前記第２配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定
リールの図柄と、前記特定役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図
柄と、に含まれ、
前記内部抽選において、前記第１当選態様の当選確率は、第１確率であり、
前記内部抽選において、前記第２当選態様の当選確率は、第２確率であり、
前記第１確率は、前記第２確率よりも高い確率である。

10

20

30

【 0 1 9 6 】

この構成により、本実施形態のスロットマシン１は、当選エリア「打順チャンス１」～
当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、かつ非設定打順でストップボタンＢ１～スト
ップボタンＢ３が押下操作されて入賞図柄組合せが「ＲＰ－ＣＨ－ＢＫＡ」から構成され
た特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「レア役」に当選し入賞図柄組合せが「ＲＰ－
ＲＰ（ＢＬ）－ＳＴ」から構成されたレア役が入賞する場合と、のいずれの場合におい
ても、ストップボタンＢ１が押下操作された際に第１リールＲ１の上段にリプレイ図柄「Ｒ
Ｐ」が停止するため、第１リールＲ１が停止した時点で、約１／２０．２の確率で当選す
る当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選によって入賞
可能になる特殊小役と、約１／１３６５．３の確率で当選する当選エリア「レア役」の当
選によって入賞可能になるレア役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることが
なく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することが
できる。

40

【 0 1 9 7 】

また、本実施形態の遊技機は、

50

複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、特定当選態様（当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」）が含まれ、
前記特定当選態様には、第１配当の小役（１枚役Ｄ）と、第２配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第１配当は、前記第２配当よりも低く、
前記特定当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、
前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第１配当の小役が入賞可能であり、
前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第２配当の小役が入賞可能であり、
前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第１状態と、第２状態と、を制御し、
前記第２状態は、前記第１状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、
前記補助遊技制御手段は、前記第１状態であり、かつ前記特定当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、
前記補助遊技制御手段は、前記第２状態であり、かつ前記特定当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、
前記複数のリールには、特定リール（第１リールＲ１）と、が含まれ、
前記特定リールには、特定図柄（リプレイ図柄「ＲＰ」）が配列され、
前記複数の当選態様には、第１当選態様（当選エリア「１枚役」）と、第２当選態様（当選エリア「レア役」）と、が含まれ、
前記第１当選態様には、第１役（１枚役Ｋ）の当選が対応付けられ、
前記第２当選態様には、第２役（レア役）の当選が対応付けられ、
前記特定図柄は、前記第２配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記第１役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記第２役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、に含まれ、
前記内部抽選において、前記第１当選態様の当選確率は、第１確率（約１／８．３）であり、
前記内部抽選において、前記第２当選態様の当選確率は、第２確率（約１／１３６５．３）であり、
前記内部抽選において、前記特定当選態様の当選確率は、第３確率（約１／２０．２）であり、
前記第３確率は、前記第２確率よりも高く、かつ前記第１確率よりも低い確率である。
【０１９８】
このような構成により、本実施形態のスロットマシン１は、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、かつ非設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作されて入賞図柄組合せが「ＲＰ－ＣＨ－ＢＫＡ」から構成された特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「レア役」に当選し入賞図柄組合せが「ＲＰ－ＲＰ（ＢＬ）－ＳＴ」から構成されたレア役が入賞する場合と、当選エリア「１枚役」に当選し入賞図柄組合せが「ＲＰ－ＲＰ－ＢＫＡ」から構成された１枚役Ｋが入賞する場合と、のいずれの場合においても、ストップボタンＢ１が押下操作された際に第１リールＲ１の上段にリプレイ図柄「ＲＰ」が停止するため、第１リールＲ１が停止した時点

10

20

30

40

50

で、約 $1/8.3$ の確率で当選する当選エリア「1枚役」の当選によって入賞可能になる1枚役Kと、約 $1/20.2$ の確率で当選する当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選によって入賞可能になる特殊小役と、約 $1/1365.2$ の確率で当選する当選エリア「レア役」の当選によって入賞可能になるレア役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

【0199】

また、本実施形態の遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

10

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第1当選態様（当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」）が含まれ、

前記第1当選態様には、第1配当の小役（1枚役D）と、第2配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第1配当は、前記第2配当よりも低く、

前記第1当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

20

前記第1当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第1配当の小役が入賞可能であり、

前記第1当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第2配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第1状態と、第2状態と、を制御し、

前記第2状態は、前記第1状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記補助遊技制御手段は、前記第1状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

30

前記補助遊技制御手段は、前記第2状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記複数のリールには、特定リール（第1リールR1）と、が含まれ、

前記特定リールには、特定図柄（リプレイ図柄「RP」）が配列され、

前記複数の当選態様には、第2当選態様（当選エリア「1枚役」）が含まれ、

前記第2当選態様には、特定役の当選が対応付けられ、

前記特定図柄は、前記第2配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記特定役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、に含まれ、

前記内部抽選において、前記第1当選態様の当選確率は、第1確率（約 $1/20.2$ ）であり、

40

前記内部抽選において、前記第2当選態様の当選確率は、第2確率（約 $1/8.3$ ）であり、

前記第1確率は、前記第2確率よりも低い確率である。

【0200】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン1は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、かつ非設定打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作されて入賞図柄組合せが「RP-CH-BKA」から構成された特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「1枚役」に当選し入賞図柄組合せが「RP-RP-BKA」から構成された1枚役Kが入賞する場合と、のいずれの場合におい

50

ても、ストップボタン B 1 が押下操作された際に第 1 リール R 1 の上段にリプレイ図柄「R P」が停止するため、第 1 リール R 1 が停止した時点で、約 1 / 8 . 3 の確率で当選する当選エリア「1 枚役」の当選によって入賞可能になる 1 枚役 K と、約 1 / 2 0 . 2 の確率で当選する当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選によって入賞可能になる特殊小役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

【 0 2 0 1 】

また、本実施形態の遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、
前記第 1 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第 1 状態と、第 2 状態と、を制御し、

前記第 2 状態は、前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、
前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記複数のリールには、特定リール（第 1 リール R 1）と、が含まれ、
前記特定リールには、特定図柄（リプレイ図柄「R P」）が配列され、
前記複数の当選態様には、第 2 当選態様（当選エリア「1 枚役」）が含まれ、
前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（1 枚役 K）の当選が対応付けられ、
前記第 3 配当は、遊技を開始する際に必要となる遊技価値の投入数以下の配当であり、
前記特定図柄は、前記第 2 配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記第 3 配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、に含まれ、

前記内部抽選において、前記第 1 当選態様の当選確率は、第 1 確率（約 1 / 2 0 . 2）であり、

前記内部抽選において、前記第 2 当選態様の当選確率は、第 2 確率（約 1 / 8 . 3）であり、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも低い確率である。

【 0 2 0 2 】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン 1 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ非設定打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 が押下操作されて入賞図柄組合せが「R P - C H - B K A」から構

10

20

30

40

50

成された特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「1枚役」に当選し入賞図柄組合せが「R P - R P - B K A」から構成された1枚役Kが入賞する場合と、のいずれの場合においても、ストップボタンB1が押下操作された際に第1リールR1の上段にリプレイ図柄「R P」が停止するため、第1リールR1が停止した時点で、約1/8.3の確率で当選する当選エリア「1枚役」の当選によって入賞可能になり、規定投入数以下の配当である1枚の配当に設定された1枚役Kと、約1/20.2の確率で当選する当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選によって入賞可能になり、1枚役Dよりも多い配当である14枚の配当に設定された特殊小役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

10

【0203】

また、本実施形態の遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第1当選態様（当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」）が含まれ、
前記第1当選態様には、第1配当の小役（1枚役D）と、第2配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第1配当は、前記第2配当よりも低く、
前記第1当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、
前記第1当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第1配当の小役が入賞可能であり、
前記第1当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第2配当の小役が入賞可能であり、
前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第1状態と、第2状態と、を制御し、
前記第2状態は、前記第1状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、
前記補助遊技制御手段は、前記第1状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、
前記補助遊技制御手段は、前記第2状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、
前記複数のリールには、特定リール（第1リールR1）と、が含まれ、
前記特定リールには、特定図柄（リプレイ図柄「R P」）が配列され、
前記複数の当選態様には、第2当選態様（当選エリア「通常リプレイ1」、当選エリア「通常リプレイ2」）が含まれ、
前記第2当選態様には、特定リプレイ（リプレイA）の当選が対応付けられ、
前記特定図柄は、前記第2配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記特定リプレイの入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、に含まれ、
前記内部抽選において、前記第1当選態様の当選確率は、第1確率（約1/20.2）であり、
前記内部抽選において、前記第2当選態様の当選確率は、第2確率（約1/7.3）であり、
前記第1確率は、前記第2確率よりも低い確率である。

20

30

40

【0204】

50

このような構成により、本実施形態のスロットマシン 1 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ非設定打順でストップボタン B 1～ストップボタン B 3 が押下操作されて入賞図柄組合せが「R P - C H - B K A」から構成された特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「通常リプレイ 1」又は当選エリア「通常リプレイ 2」に当選し入賞図柄組合せが「R P - R P - B K C」から構成されたりプレイ A が入賞する場合と、のいずれの場合においても、ストップボタン B 1 が押下操作された際に第 1 リール R 1 の上段にリプレイ図柄「R P」が停止するため、第 1 リール R 1 が停止した時点で、約 1 / 7 . 3 の確率で当選する当選エリア「通常リプレイ 1」、当選エリア「通常リプレイ 2」の当選によって入賞可能になり、再遊技となるリプレイ A と、約 1 / 2 0 . 2 の確率で当選する当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選によって入賞可能になり、1 枚役 D よりも多い配当である 1 4 枚の配当に設定された特殊小役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

10

【 0 2 0 5 】

また、本実施形態の遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

20

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）が含まれ、
前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、
前記第 1 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

30

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、
前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第 1 状態と、第 2 状態と、を制御し、

前記第 2 状態は、前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、
前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記複数のリールには、特定リール（第 1 リール R 1）と、が含まれ、
前記特定リールには、特定図柄（リプレイ図柄「R P」）が配列され、
前記複数の当選態様には、第 2 当選態様（当選エリア「レア役」）が含まれ、
前記第 2 当選態様には、特定役（レア役）の当選が対応付けられ、
前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選の結果に基づき抽選結果制御を行い、
前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記第 2 当選態様に当選した場合に、特定抽選結果制御を実行し、

40

前記特定抽選結果制御は、他の抽選結果制御よりも遊技者にとって有利な制御であり、
前記特定図柄は、前記第 2 配当の小役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、前記特定役の入賞形態を示す図柄組合せを構成する前記特定リールの図柄と、に含まれ、

50

前記内部抽選において、前記第1当選態様の当選確率は、第1確率（約1/20.2）であり、

前記内部抽選において、前記第2当選態様の当選確率は、第2確率（約1/1365.3）であり、

前記第1確率は、前記第2確率よりも高い確率である。

【0206】

このような構成により、本実施形態のスロットマシン1は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、かつ非設定打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作されて入賞図柄組合せが「RP-CH-BKA」から構成された特殊小役が入賞する場合と、当選エリア「レア役」に当選し入賞図柄組合せが「RP-RP(BL)-ST」から構成されたレア役が入賞する場合と、のいずれの場合においても、ストップボタンB1が押下操作された際に第1リールR1の上段にリプレイ図柄「RP」が停止するため、第1リールR1が停止した時点で、約1/20.2の確率で当選する当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選によって入賞可能になり、1枚役Dよりも多い配当である14枚の配当に設定された特殊小役と、約1/1365.3の確率で当選する当選エリア「レア役」の当選によって入賞可能になり、当選することで他の当選エリアの当選時よりも遊技者にとって有利な特定抽選結果制御が実行されるレア役と、のいずれが入賞するのか遊技者に判別されることがなく、以降の停止操作に関して遊技者の注目が散漫になってしまうことを防止することができる。

【0207】

6. 変形例

なお、本実施形態において、AT制御手段200は、非AT状態において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス4」に当選した場合に、通常特典付と抽選又は特定特典付と抽選を実行することで第1確率として約1/100の確率で特典を付与可能に構成され、AT状態において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス4」に当選した場合に、特典の付与に係る制御を実行しないことで第2確率として0%の確率で特典を付与可能に構成されているが、これに限定されない。AT制御手段200は、例えば、AT状態において当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス4」に当選した場合に、約1/200等、第1確率よりも低確率で特典を付与可能に構成されていてもよい。

【0208】

また、本実施形態において、スロットマシン1は、複数のリールとして3本のリールを有しているが、これに限らず、例えば、4本のリールを有していてもよい。

【0209】

また、本実施形態において、スロットマシン1は、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順が設定された当選エリアとして、打順3～打順6が正解打順に設定された当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」を有しているが、これに限らず、打順1が正解打順に設定された当選エリア「打順ベル5」や、打順2が正解打順に設定された当選エリア「打順ベル6」を有するように構成されていてもよい。

【0210】

また、本実施形態において、スロットマシン1は、第1配当の小役として1枚の配当に設定された1枚役Dを有し、第2配当の小役として14枚の配当に設定された特殊小役を有し、特殊小役よりも高い配当の小役として15枚の配当に設定されたチャンス役を有しているが、これに限定されない。スロットマシン1は、第1配当が第2配当よりも低い配当に設定されていればよく、例えば、第1配当の小役が、規定投入数（3枚）よりも多い配当に設定されていてもよい。また、スロットマシン1は、第2配当が第1配当よりも高い配当であれば、規定投入数（3枚）と同数又は規定投入数よりも少ない配当に設定されていてもよい。

【0211】

また、本実施形態において、スロットマシン1は、ボーナス成立状態における内部抽選

10

20

30

40

50

で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、ストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が非設定打順で押下操作された場合に、ストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３の押下タイミングによらず１４枚の配当に設定された特殊小役が入賞するように構成されているが、これに限定されない。スロットマシン１は、例えば、ボーナス成立状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、ストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が非設定打順で、かつ第１停止操作が所定の押下タイミングである場合に、当選している１４枚の配当（第２配当）に設定された小役が入賞し、ストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が正解打順で、かつ第１停止操作が所定の押下タイミングとは異なるタイミングである場合に、当選している１４枚の配当に設定された小役が入賞せずに１枚の配当に設定された小役等、第２配当とは異なる配当の小役が入賞する又は取りこぼし（非入賞）となるように構成されていてもよい。

10

【０２１２】

また、本実施形態において、スロットマシン１は、特定当選態様として、設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作されることで、第１停止操作の押下タイミングによって１５枚の配当が設定されたチャンス役と、１枚の配当が設定された１枚役Ｄと、のいずれかが入賞し、非設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作されることで、１４枚の配当が設定された特殊小役が入賞するように構成された当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」を有しており、非ＡＴ状態において、設定打順を報知する設定打順報知制御が実行されるように構成されているが、これに限定されない。スロットマシン１は、例えば、設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作されることで、第１配当に設定された複数の小役が重複して入賞し、設定打順とは異なる非設定打順でストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３が押下操作されることで、第１配当よりも高い第２配当の小役が単独で入賞する当選エリアを、特定当選態様として有していてもよい。

20

【０２１３】

図１５は、変形例のスロットマシン１における第１リールＲ１～第３リールＲ３の周面に配列された各図柄を示す図である。本実施形態では、図５に示すように、第１リールＲ１～第３リールＲ３の外周面に、白７図柄「白７」、ＢＡＲ図柄「ＢＡＲ」、リプレイ図柄「ＲＰ」、ベルＡ図柄「ＢＬＡ」、ベルＢ図柄「ＢＬＢ」、チェリー図柄「ＣＨ」、スイカ図柄「ＷＭ」、ブランクＡ図柄「ＢＫＡ」、ブランクＢ図柄「ＢＫＢ」及びブランクＣ図柄「ＢＫＣ」が配列されている。また、第１リールＲ１～第３リールＲ３の周面には、それぞれ２０コマの図柄が配列されている。

30

【０２１４】

図１６は、変形例のスロットマシン１における特定打順当選態様としての当選エリア「打順チャンスＡ」～当選エリア「打順チャンスＣ」の当選時に重複当選する小役と、ストップボタンＢ１～ストップボタンＢ３の打順によって入賞可能となる役と、について示す図である。図１６に示すように、当選エリア「打順チャンスＡ」～当選エリア「打順チャンスＣ」は、それぞれ第１停止操作が実行された時点で、当該遊技で入賞可能となる小役がチャンス役と、特殊小役Ａ及び特殊小役Ｂと、のいずれかに限定されるように構成されている。このため、１枚の配当に設定された１枚役Ｅ、１枚役Ｆは、当選エリア「打順チャンスＢ」、当選エリア「打順チャンスＣ」の当選時には入賞しない構成となっている。なお、このように構成される場合において、１枚役Ｅ、１枚役Ｆは、ボーナス状態における内部抽選で「全１枚役」に当選した１枚役Ｅ、１枚役Ｆも当選し、入賞可能となるように構成される。

40

【０２１５】

図１７は、当選エリア「打順チャンスＡ」～当選エリア「打順チャンスＣ」の当選時に重複当選するチャンス役、特殊小役Ａ、特殊小役Ｂ、１枚役Ｅ、１枚役Ｆの入賞図柄組合せと配当とを示す図である。なお、上述したように、１枚役Ｅ、１枚役Ｆについて、当選エリア「打順チャンスＢ」、当選エリア「打順チャンスＣ」の当選時に入賞しない構成と

50

なっているため、以下の説明においては、15枚の配当に設定されたチャンス役と、1枚の配当に設定された特殊小役A及び特殊小役Bと、について、より詳しく説明する。

【0216】

図17に示すように、チャンス役の入賞図柄組合せは「BLA-WM(CH)-WM」から構成されており、ストップボタンB1～ストップボタンB3の押下タイミングによらず有効ラインL1上に停止表示可能な図柄から構成されている。

【0217】

特殊小役Aの入賞図柄組合せは「WM-ANY-RP」から構成されており、第1リールR1、第3リールR3について、ストップボタンB1、ストップボタンB3の押下タイミングによらず有効ラインL1上に停止表示可能な図柄から構成され、第2リールR2について、第2リールR2に配列されたすべての図柄のうちの任意の図柄(ANY)から入賞図柄組合せが構成されている。特殊小役Bの入賞図柄組合せは「WM-RP-ANY」から構成されており、第1リールR1、第2リールR2について、ストップボタンB1、ストップボタンB2の押下タイミングによらず有効ラインL1上に停止表示可能な図柄から構成され、第3リールR3について、第3リールR3に配列されたすべての図柄のうちの任意の図柄(ANY)から入賞図柄組合せが構成されている。

10

【0218】

このような構成であることから、スロットマシン1では、有効ラインL1上に図柄組合せとして「WM-RP-RP」が表示された場合に、特殊小役Aの入賞図柄組合せ「WM-ANY-RP」と、特殊小役Bの入賞図柄組合せ「WM-RP-ANY」と、の両方の入賞図柄組合せが表示された状態となり、特殊小役Aと特殊小役Bとが重複して入賞する構成となっている。

20

【0219】

当選エリア「打順チャンスA」～当選エリア「打順チャンスC」の当選時におけるリール停止制御の詳細について、当選エリア「打順チャンスA」を用いて説明する。スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンスA」に当選し、かつストップボタンB1が第1停止操作される第2打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合に、リール制御手段130によるリール停止制御において枚数優先制御が実行され、1枚の配当に設定された特殊小役A及び特殊小役Bよりも多い15枚の配当に設定されたチャンス役の入賞図柄組合せ「BLA-WM(CH)-WM」を構成する図柄が有効ラインL1上に停止表示され、第2停止操作が実行された場合においてもチャンス役の入賞図柄組合せを構成する図柄が有効ラインL1上に停止表示されることでチャンス役が入賞する。

30

【0220】

また、スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンスA」に当選し、かつストップボタンB2が第1停止操作される第2打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合、スイカ図柄「WM」を有効ラインL1上に停止表示することでチャンス役の入賞図柄組合せ「BLA-WM-WM」の1個の図柄組合せを有効ラインL1上に表示可能となり、チェリー図柄「CH」を有効ラインL1上に停止表示することでチャンス役の入賞図柄組合せ「BLA-CH-WM」の1個の図柄組合せを有効ラインL1上に表示可能となり、リプレイ図柄「RP」を有効ラインL1上に停止表示することで特殊小役Aの入賞図柄組合せ「WM-ANY-RP」と、特殊小役Bの入賞図柄組合せ「WM-RP-ANY」と、の2個の図柄組合せを有効ラインL1上に表示可能となる。

40

【0221】

このため、スロットマシン1では、リール制御手段130によるリール停止制御において個数優先制御が実行され、第2リールR2の中段にリプレイ図柄「RP」が停止表示され、当該遊技において入賞可能となる小役が特殊小役A、特殊小役Bに限定される。

【0222】

また、スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンスA」に当選し、かつストップボタンB3が第1停止操作される第2打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合、スイカ図柄「WM」を有効ラインL1上に停止表示することでチャ

50

ンス役の入賞図柄組合せ「BLA - WM - WM」と、「BLM - CH - WM」の2個の図柄組合せを有効ラインL1上に表示可能となり、リプレイ図柄「RP」を有効ラインL1上に停止表示することで特殊小役Aの入賞図柄組合せ「WM - ANY - RP」と、特殊小役Bの入賞図柄組合せ「WM - RP - ANY」と、の2個の図柄組合せを有効ラインL1上に表示可能となる。

【0223】

リール制御手段130は、スイカ図柄「WM」と、リプレイ図柄「RP」と、のそれぞれを第3リールR3の上段に停止表示した場合における有効ラインL1上に表示可能な入賞図柄組合せの数が同一であることから、個数優先制御によってスイカ図柄「WM」と、リプレイ図柄「RP」と、との間に優先順位をつけられないため、停止制御テーブル記憶手段194に記憶されている停止制御テーブルを用いたリール停止制御によって、リプレイ図柄「RP」を有効ラインL1上に停止表示することを決定する。

10

【0224】

このようなリール停止制御が実行されることにより、スロットマシン1では、当選エリア「打順チャンスA」に当選し、かつストップボタンB3に第1停止操作が実行された場合に、第3リールR3の中段にリプレイ図柄「RP」が停止表示され、当該遊技において入賞可能となる小役が特殊小役A、特殊小役Bに限定される。

【0225】

当選エリア「打順チャンスA」に当選し、かつ打順3～打順6の第1打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作された場合、スロットマシン1では、第1リールR1の中段にスイカ図柄「WM」が停止表示され、第2リールR2、第3リールR3の中段にリプレイ図柄「RP」が停止表示されるリール停止制御が実行され、有効ラインL1上に「WM - RP - RP」の図柄組合せが停止表示される。上述した通り、特殊小役Aの入賞図柄組合せは「WM - ANY - RP」であり、第2リールR2に配列されたすべての図柄のうちの任意の図柄（ANY）から入賞図柄組合せが構成されていることから、リプレイ図柄「RP」も任意の図柄の1つに含まれているため、有効ラインL1上に表示されている「WM - RP - RP」についても、特殊小役Aの入賞図柄組合せを構成している。また、特殊小役Bの入賞図柄組合せは「WM - RP - ANY」であり、第3リールR3に配列されたすべての図柄のうちの任意の図柄（ANY）から入賞図柄組合せが構成されていることから、リプレイ図柄「RP」も任意の図柄の1つに含まれているため、有効ラインL1上に表示されている「WM - RP - RP」についても、特殊小役Bの入賞図柄組合せを構成している。

20

30

【0226】

つまり、有効ラインL1上に停止表示された図柄組合せ「WM - RP - RP」は、特殊小役Aの入賞図柄組合せと、特殊小役Bの入賞図柄組合せと、のいずれの入賞図柄組合せを満たす図柄組合せである。これにより、スロットマシン1では、有効ラインL1上に図柄組合せ「WM - RP - RP」が停止表示されることで、特殊小役Aと特殊小役Bとの2個の小役が重複して入賞（重複入賞）する。

【0227】

このように構成される場合において、スロットマシン1では、非AT状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンスA」～当選エリア「打順チャンスC」に当選した場合に、遊技者にとって有利なストップボタンB1～ストップボタンB3の操作態様として、入賞する小役の数が多くなる操作態様である第1打順（設定打順）を報知する第1打順報知制御（設定打順報知制御）及び第1打順報知制御に対応する入賞補助演出を実行するように構成される。第1打順報知制御において、AT制御手段200は、第1打順のうち第1停止操作を実行するストップボタンとして、ストップボタンB2、ストップボタンB3の2つのストップボタンのうちいずれか1つを報知する入賞補助制御を実行する。第1打順報知制御に従った遊技が実行され、第1打順でストップボタンB1～ストップボタンB3が押下操作されることで、スロットマシン1では、それぞれ1枚の配当に設定された特殊小役Aと、特殊小役Bと、が重複して入賞し、2枚の払い出しが実行されるよ

40

50

うに構成されている。

【 0 2 2 8 】

また、スロットマシン 1 では、A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス A」～当選エリア「打順チャンス C」に当選した場合に、第 1 打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス A」～当選エリア「打順チャンス C」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、15 枚の払い出しが実行されるチャンス役の入賞確率を高めることができる。

【 0 2 2 9 】

そして、A T 制御手段 200 は、特殊小役 A と特殊小役 B とが重複入賞する場合に、チャンス役が入賞した場合よりも、遊技者にとって有利となる補助遊技に係る制御（特殊小役 A と特殊小役 B とが重複入賞した場合に記憶値が制御の実行契機となる閾値に向けて更新されることで遊技者にとって有利となるカウンタを更新しチャンス役が入賞した場合には該カウンタを更新しない、特殊小役 A と特殊小役 B とが重複入賞した場合に第 1 A T 抽選を実行し、チャンス役が入賞した場合に第 1 A T 抽選よりも「A T 状態への移行」に当選する確率が低い第 2 A T 抽選を実行する等）を実行するように構成されていてもよい。

【 0 2 3 0 】

つまり、遊技機において、

前記特定当選態様には、第 1 配当の小役と、第 2 配当の小役と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記特定当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記特定当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第 1 状態と、第 2 状態と、を制御し、

前記第 2 状態は、前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記特定当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 状態であり、かつ前記特定当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記特定当選態様に当選し、前記第 1 配当の小役が入賞した場合に、前記第 2 配当の小役が入賞した場合よりも、遊技者にとって有利となる前記補助遊技に係る制御を実行する。

【 0 2 3 1 】

このように構成される場合、当選エリア「打順チャンス A」～当選エリア「打順チャンス C」が、特定当選態様を構成し、1 枚の配当に設定された特殊小役 A、特殊小役 B が、第 1 配当の小役を構成し、15 枚の配当に設定されたチャンス役が、第 2 配当の小役を構成する。

【 0 2 3 2 】

また、本実施形態において、スロットマシン 1 は、演出状態として、通常非 A T 状態と、C Z 状態と、A T 状態と、を有し、A T 状態中における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時にベル A～ベル D の入賞を補助する入賞補助を実行するように構成されているが、これに限定されない。A T 制御手段 200 は、A T 状態中における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、入賞補助を実行する確率を演出状態に応じて変更可能に構成されていてもよい。

10

20

30

40

50

【 0 2 3 3 】

以下に、A T 状態における演出状態に応じて入賞補助を実行する確率を変更する構成の具体例について、図 1 8 ~ 図 2 3 を用いて説明する。なお、通常区間と、有利区間と、については、本実施形態における通常区間と、有利区間と、と同一の構成であることから、説明を省略する。

【 0 2 3 4 】

図 1 8 は、変形例の A T 制御手段 2 0 0 によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。

【 0 2 3 5 】

A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間を開始した場合に、演出状態によらず毎回の遊技の都度、有利区間において実行された遊技回数を計数する特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値に 1 ゲームに相当する値「 1 」を加算するインクリメント更新を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値が値「 1 3 0 0 」に達した場合に、特定 A T 状態への移行条件（特定 A T 移行条件）が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間において最もメダルを消費した時点から 2 0 0 0 枚を超えるメダルを遊技者が獲得した場合に、特定 A T 移行条件が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。

【 0 2 3 6 】

スロットマシン 1 は、有利区間中において A T 制御手段 2 0 0 が制御可能な演出状態として、通常状態としての非 A T 状態と、非 A T 状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としての A T 準備状態、通常 A T 状態、A T インターバル状態及び特定 A T 状態と、を有している。

【 0 2 3 7 】

非 A T 状態は、通常区間から有利区間に移行された場合と、A T 状態の終了後に有利区間が継続する場合と、に設定される複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ 1 枚役 D が入賞した場合と、に、A T 抽選を実行し、「A T 状態への移行」に当選した場合に、演出状態を非 A T 状態から A T 準備状態に移行する。

【 0 2 3 8 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、非 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

【 0 2 3 9 】

A T 準備状態は、非 A T 状態において A T 制御手段 2 0 0 が実行する A T 抽選において「A T 状態への移行」に当選した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、A T 準備状態において、A T 準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである A T 準備ゲーム数カウンタに初期値として値「 8 」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「 1 」で減算するデクリメント更新を実行し、A T 準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になった場合に、演出状態を A T 準備状態から通常 A T 状態に移行する。

【 0 2 4 0 】

A T 準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、通常 A T 状態が継続する遊技回数を加算（上乘せ）するか否かを決定する初期ゲーム数上乘せ抽選を実行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリ

アに当選した場合よりも多い値を加算可能な抽選テーブルを取得して初期ゲーム数上乗せ抽選を実行する。ＡＴ制御手段２００は、初期ゲーム数上乗せ抽選の結果を、通常ＡＴ状態が継続する遊技回数を計数するＡＴ継続ゲーム数カウンタに加算する。

【０２４１】

ＡＴ制御手段２００は、ＡＴ準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、ＡＴ準備状態における入賞補助として、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置５００に表示させる。また、ＡＴ準備状態において、ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、１００％（第１確率）の確率で入賞補助制御を実行する。

10

【０２４２】

また、ＡＴ制御手段２００は、ＡＴ準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第１停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

【０２４３】

通常ＡＴ状態は、ＡＴ準備状態が終了した場合に移行される演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、通常ＡＴ状態において、ＡＴ継続ゲーム数カウンタの記憶値を、毎回の遊技の都度、１ゲームに相当する値「１」で減算するデクリメント更新を実行する。

20

【０２４４】

通常ＡＴ状態において、ＡＴ制御手段２００は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、ＡＴ継続ゲーム数カウンタの記憶値を加算（上乗せ）するか否かを決定する上乗せ抽選を実行する。

【０２４５】

ＡＴ制御手段２００は、ＡＴ継続ゲーム数カウンタの記憶値が値「０」となった場合に、ＡＴ状態を継続させるか否かを決定するＡＴ継続抽選を実行する。ＡＴ継続抽選において、「ＡＴ状態の継続」に当選した場合、ＡＴ制御手段２００は、演出状態を通常ＡＴ状態からＡＴインターバル状態に移行する。一方、ＡＴ継続抽選において、「ＡＴ状態の継続」に当選しなかった場合、ＡＴ制御手段２００は、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

30

【０２４６】

ＡＴ制御手段２００は、通常ＡＴ状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、通常ＡＴ状態における入賞補助として、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置５００に表示させる。また、通常ＡＴ状態において、ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、１００％の確率（第１確率）で入賞補助制御を実行する。

40

【０２４７】

また、通常ＡＴ状態において、ＡＴ制御手段２００は、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン１では、通常ＡＴ状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンＢ１を第１停止操作する遊技が促され、１４枚の払い出

50

しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【0248】

A T インターバル状態は、通常 A T 状態が終了する際に実行される A T 継続抽選において「A T 状態の継続」に当選した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 200 は、A T インターバル状態において、A T インターバル状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである A T インターバルゲーム数カウンタに初期値として値「15」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【0249】

A T 制御手段 200 は、A T インターバルゲーム数カウンタの記憶値が値「0」となった場合に、通常 A T 状態に移行させるか否かを決定する通常 A T 移行抽選を実行する。通常 A T 移行抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選した場合、A T 制御手段 200 は、演出状態を A T インターバル状態から通常 A T 状態に移行する。一方、A T 継続抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選しなかった場合、A T 制御手段 200 は、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。なお、通常 A T 移行抽選は、高確率（約 65%）で「通常 A T 状態への移行」に当選するように構成されている。

【0250】

A T 制御手段 200 は、A T インターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T 制御手段 200 は、A T インターバル状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 500 に表示させる。また、A T インターバル状態において、A T 制御手段 200 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、30%の確率（第 2 確率）で入賞補助制御を実行する。

【0251】

また、A T 制御手段 200 は、A T インターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 200 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 500 に表示させる。

【0252】

このように、A T インターバル状態は、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に低確率で入賞補助制御が実行されるため、メダルの獲得期待値が通常 A T 状態よりも低い状態であるとともに、通常 A T 状態から移行した場合に高確率で再度通常 A T 状態に移行可能な状態として構成されており、一連の有利状態におけるインターバルとして機能する演出状態となっている。

【0253】

特定 A T 状態は、有利区間中に特定 A T 移行条件が成立した場合に、いずれの演出状態からも移行可能に構成されている。A T 制御手段 200 は、第 1 有利区間カウンタ 197a の記憶値が値「1500」に達した場合と、A T 状態において第 2 有利区間カウンタ 197b の記憶値が値「2400」を超えた場合と、のいずれかの特定終了条件が成立するまで、特定 A T 状態を継続する。なお、特定終了条件が成立した場合、A T 制御手段 200 は、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

【0254】

A T 制御手段 200 は、特定 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順

10

20

30

40

50

ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 200 は、特定 A T 状態における入賞補助として、ベル A～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 500 に表示させる。また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 200 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、100%の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

【0255】

また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 200 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、特定 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、14 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【0256】

このように構成された場合、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（通常 A T 状態、特定 A T 状態）と、第 2 有利状態（A T インターバル状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

10

20

30

40

50

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率（100%）で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率（30%）で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知する。

10

【0257】

このような構成により、スロットマシン 1 は、A T インターバル状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常 A T 状態及び特定 A T 状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするとともに、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、A T インターバル状態におけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で通常 A T 状態及び特定 A T 状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

20

【0258】

なお、図 18 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、100%に限らず、例えば 30%等の通常 A T 状態での当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時における入賞補助制御の実行確率（100%）よりも低確率に構成されていてもよい。また、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 2 有利状態として、A T 準備状態を有する構成であってもよい。

30

【0259】

また、図 18 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、14 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。

【0260】

40

また、図 18 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、30%に限らず、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。

【0261】

また、図 18 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、設定打

50

順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、14 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。

【0262】

つまり、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

10

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、
前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

20

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

30

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（通常 A T 状態、特定 A T 状態）と、第 2 有利状態（A T インターバル状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率で報知し、

40

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態又は前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【0263】

このような構成により、スロットマシン 1 は、A T インターバル状態において、当選工

50

リア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常ＡＴ状態及び特定ＡＴ状態において当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするものの、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、ＡＴインターバル状態において１４枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、ＡＴインターバル状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベルＡ～ベルＤの入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくいＡＴインターバル状態に対する遊技者の不満を抑制することができる。

【０２６４】

10

図１９は、変形例のＡＴ制御手段２００によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。

【０２６５】

ＡＴ制御手段２００は、有利区間を開始した場合に、演出状態によらず毎回の遊技の都度、有利区間において実行された遊技回数を計数する特定ＡＴ移行ゲーム数カウンタの記憶値に１ゲームに相当する値「１」を加算するインクリメント更新を実行する。ＡＴ制御手段２００は、特定ＡＴ移行ゲーム数カウンタの記憶値が値「１３００」に達した場合に、特定ＡＴ状態への移行条件（特定ＡＴ移行条件）が成立したと判定し、演出状態を特定ＡＴ状態に移行する。また、ＡＴ制御手段２００は、有利区間において最もメダルを消費した時点から２０００枚を超えるメダルを遊技者が獲得した場合に、特定ＡＴ移行条件が成立したと判定し、演出状態を特定ＡＴ状態に移行する。

20

【０２６６】

スロットマシン１は、有利区間中においてＡＴ制御手段２００が制御可能な演出状態として、通常状態としての非ＡＴ状態と、非ＡＴ状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としてのチャンスゾーンアシストタイム（ＣＺＡＴ）準備状態、通常ＣＺＡＴ状態、特定ＣＺＡＴ状態、通常ＡＴ状態、ＡＴインターバル状態及び特定ＡＴ状態と、を有している。

【０２６７】

非ＡＴ状態は、通常区間から有利区間に移行された場合と、ＡＴ状態の終了後に有利区間が継続する場合と、設定される複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選し、かつ１枚役Ｄが入賞した場合と、に、ＣＺＡＴ抽選を実行し、「ＣＺＡＴ状態への移行」に当選した場合に、演出状態を非ＡＴ状態からＣＺＡＴ準備状態に移行する。

30

【０２６８】

また、ＡＴ制御手段２００は、非ＡＴ状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第１停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

40

【０２６９】

ＣＺＡＴ準備状態は、非ＡＴ状態においてＡＴ制御手段２００が実行するＣＺＡＴ抽選において「ＣＺＡＴ状態への移行」に当選した場合に移行される演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態において、ＣＺＡＴ準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるＣＺＡＴ準備ゲーム数カウンタに初期値として値「８」をセットし、毎回の遊技の都度、１ゲームに相当する値「１」で減算するデクリメント更新を実行し、ＣＺＡＴ準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「０」になった場合に、演出状態をＣＺＡＴ準備状態から通常ＣＺＡＴ状態に移行する。

【０２７０】

50

C Z A T 準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、通常 C Z A T 状態で複数回実行する通常 C Z A T 継続抽選において、1 回分の通常 C Z A T 抽選で「通常 C Z A T 状態の継続」に当選した権利を付与する、つまり「通常 C Z A T 状態の継続」抽選結果を書き換えるか否かを決定する継続付与抽選を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、継続付与抽選において「抽選結果を継続に書き換え」に当選した場合に、通常 C Z A T 状態において実行される通常 C Z A T 継続抽選において、「通常 C Z A T 状態を終了する」と決定されるまで、継続付与抽選で当選した結果をストックする。

【 0 2 7 1 】

A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 準備状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、C Z A T 準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、1 0 0 %（第 1 確率）の確率で入賞補助制御を実行する。

10

【 0 2 7 2 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

20

【 0 2 7 3 】

通常 C Z A T 状態は、C Z A T 準備状態が終了した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、通常 C Z A T 状態において、通常 C Z A T 状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである通常 C Z A T ゲーム数カウンタに初期値として値「1 0」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【 0 2 7 4 】

30

通常 C Z A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、記憶値が所定値（例えば値「3」）に達した場合に特定 C Z A T 状態への移行条件が成立する特定 C Z A T ポイントカウンタの記憶値に値を加算するか否かを抽選する特定 C Z A T ポイント抽選を実行する。

【 0 2 7 5 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、通常 C Z A T 状態を継続するか否かを決定する通常 C Z A T 継続抽選を実行し、「通常 C Z A T 状態の継続」に当選した場合に、通常 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値に値「1 0」をセットするとともに、通常 C Z A T 継続抽選によって継続すると決定した回数を計数する継続回数カウンタの記憶値に値「1」を加算する。また、通常 C Z A T 継続抽選で「通常 C Z A T 状態の終了」に決定された場合、A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 準備状態において継続付与抽選で「抽選結果を継続に書き換え」に当選した結果をストックしているか否かを参照し、「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされている場合には、通常 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値に値「1 0」をセットするとともに、継続回数カウンタの記憶値に値「1」を加算する。

40

【 0 2 7 6 】

A T 制御手段 2 0 0 は、継続回数カウンタの記憶値が値「2」の状態で行う通常 C Z A T 継続抽選、つまり、一連の通常 C Z A T 状態における 3 回目の通常 C Z A T 継続抽選において「通常 C Z A T 状態の継続」に当選した場合と、「通常 C Z A T 状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていた場合

50

と、に、通常 A T 状態への移行条件が成立したと判定し、演出状態を通常 C Z A T 状態から通常 A T 状態に移行する。

【 0 2 7 7 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常 C Z A T 継続抽選において「通常 C Z A T 状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていない場合に、通常 C Z A T 状態を終了する。通常 C Z A T 状態を終了する場合において、A T 制御手段 2 0 0 は、特定 C Z A T ポイントカウンタの記憶値が所定値としての値「3」以上である場合に、特定 C Z A T 状態への移行条件（特定 C Z A T 移行条件）が成立したと判定し、演出状態を通常 C Z A T 状態から特定 C Z A T 状態に移行する。一方、A T 制御手段 2 0 0 は、特定 C Z A T ポイントカウンタの記憶値が値「3」未満である場合に、特定 C Z A T 移行条件が成立していないと判定し、演出状態を通常 C Z A T 状態から非 A T 状態に移行する。

10

【 0 2 7 8 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常 C Z A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 状態における入賞補助として、ベル A～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、通常 C Z A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

20

【 0 2 7 9 】

また、通常 C Z A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、通常 C Z A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 2 8 0 】

特定 C Z A T 状態は、通常 C Z A T 状態において特定 C Z A T 移行条件が成立した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 C Z A T 状態において、特定 C Z A T 状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである特定 C Z A T ゲーム数カウンタに初期値として値「7」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

30

【 0 2 8 1 】

特定 C Z A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、特定 C Z A T 状態の終了後に通常 A T 状態に移行するか否かを決定する通常 A T 移行抽選を実行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも「通常 A T 状態への移行」に当選する確率が高い抽選テーブルを取得して通常 A T 移行抽選を実行する。

40

【 0 2 8 2 】

A T 制御手段 2 0 0 は、特定 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、特定 C Z A T 状態を終了する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になるまでに通常 A T 移行抽選で「通常 A T 状態への移行」に当選した場合には、特定 C Z A T 状態の終了に基づき演出状態を特定 C Z A T 状態から通常 A T 状態に移行し、特定 C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になるまでに通常 A T 移行抽選で「通常 A T 状態への移行」に当選しなかった場合には、特定 C Z A T 状態の終了に基づき演出状態を特定 C Z A T 状態から非 A T 状態に移行する。

【 0 2 8 3 】

50

A T制御手段200は、特定C Z A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T制御手段200は、特定A T状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、特定C Z A T状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

【0284】

また、特定C Z A T状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、特定C Z A T状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

10

【0285】

通常A T状態は、通常C Z A T状態又は特定C Z A T状態において、通常A T状態への移行条件が成立した場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、通常A T状態において、A T継続ゲーム数カウンタに初期値として値「50」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

20

【0286】

通常A T状態において、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、A T継続ゲーム数カウンタの記憶値を加算（上乗せ）するか否かを決定する上乗せ抽選を実行する。

【0287】

A T制御手段200は、A T継続ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」となった場合に、A T状態を継続させるか否かを決定するA T継続抽選を実行する。A T継続抽選において、「A T状態の継続」に当選した場合、A T制御手段200は、演出状態を通常A T状態からA Tインターバル状態に移行する。一方、A T継続抽選において、「A T状態の継続」に当選しなかった場合、A T制御手段200は、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

30

【0288】

A T制御手段200は、通常A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T制御手段200は、通常A T状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、通常A T状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

40

【0289】

また、通常A T状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、通常A T状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【0290】

50

A T インターバル状態は、通常 A T 状態が終了する際に実行される A T 継続抽選において「A T 状態の継続」に当選した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態において、A T インターバル状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである A T インターバルゲーム数カウンタに初期値として値「1 5」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【0 2 9 1】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバルゲーム数カウンタの記憶値が値「0」となった場合に、通常 A T 状態に移行させるか否かを決定する通常 A T 移行抽選を実行する。通常 A T 移行抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選した場合、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態を A T インターバル状態から通常 A T 状態に移行する。一方、A T 継続抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選しなかった場合、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。なお、通常 A T 移行抽選は、高確率（約 6 5 %）で「通常 A T 状態への移行」に当選するように構成されている。

10

【0 2 9 2】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、A T インターバル状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、3 0 % の確率（第 2 確率）で入賞補助制御を実行する。

20

【0 2 9 3】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

30

【0 2 9 4】

このように、A T インターバル状態は、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に低確率で入賞補助制御が実行されるため、メダルの獲得期待値が通常 A T 状態よりも低い状態であるとともに、通常 A T 状態から移行した場合に高確率で再度通常 A T 状態に移行可能な状態として構成されており、一連の有利状態におけるインターバルとして機能する演出状態となっている。

【0 2 9 5】

特定 A T 状態は、有利区間中に特定 A T 移行条件が成立した場合に、いずれの演出状態からも移行可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、第 1 有利区間カウンタ 1 9 7 a の記憶値が値「1 5 0 0」に達した場合と、A T 状態において第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値が値「2 4 0 0」を超えた場合と、のいずれかの特定終了条件が成立するまで、特定 A T 状態を継続する。なお、特定終了条件が成立した場合、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

40

【0 2 9 6】

A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A

50

T 状態における入賞補助として、ベル A ~ ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

【 0 2 9 7 】

また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、特定 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

10

【 0 2 9 8 】

このように構成された場合、遊技機は、
 複数のリールと、
 前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
 内部抽選を行う内部抽選手段と、
 通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

20

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
 前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」~ 当選エリア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」~ 当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ~ ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ~ 1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

30

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

40

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（通常 C Z A T 状態、通常 A T 状態、特定 A T 状態）と、第 2 有利状態（A T インターバル状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率（1 0 0 %）で報知し、

50

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率（30%）で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知する。

【0299】

このような構成により、スロットマシン 1 は、A T インターバル状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常 A T 状態及び特定 A T 状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするとともに、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、A T インターバル状態におけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で通常 C Z A T 状態、通常 A T 状態及び特定 A T 状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

【0300】

なお、図 19 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、30%に限らず、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 200 は、A T インターバル状態におけるベル A ～ベル D の入賞補助を実行する確率について、100%に構成されていてもよい。

【0301】

また、図 19 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、14 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 1 有利状態として A T インターバル状態を有する構成であってもよい。

【0302】

また、図 19 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、100%に限らず、例えば 30%等の通常 A T 状態での当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時における入賞補助制御の実行確率（100%）よりも低確率に構成されていてもよい。また、A T 制御手段 200 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 200 は、特定 C Z A T 状態についても略同様に、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時における入賞補助制御について、通常 A T 状態において入賞補助制御を実行する確率よりも低確率又は実行しないように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 2 有利状態として、C Z A T 準備状態、特定 C Z A T 状態を有する構成であってもよい。

10

20

30

40

50

【 0 3 0 3 】

また、図 19 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。

【 0 3 0 4 】

つまり、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（通常 C Z A T 状態、通常 A T 状態、特定 A T 状態）と、第 2 有利状態（C Z A T 準備状態、特定 C Z A T 状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

10

20

30

40

50

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態又は前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【0305】

このような構成により、スロットマシン 1 は、C Z A T 準備状態及び特定 C Z A T 準備状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常 A T 状態及び特定 A T 状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするものの、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、C Z A T 準備状態及び特定 C Z A T 状態において 1 4 枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、C Z A T 準備状態及び特定 C Z A T 状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベル A ～ベル D の入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくい C Z A T 準備状態及び特定 C Z A T 状態に対する遊技者の不満を抑制することができる。

10

【0306】

図 20 は、変形例の A T 制御手段 200 によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。

【0307】

20

スロットマシン 1 は、有利区間中において A T 制御手段 200 が制御可能な演出状態として、通常状態としての非 A T 状態と、非 A T 状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としての C Z A T 準備状態、C Z A T 状態、A T 準備状態、通常 A T 状態及び特定 A T 状態と、を有している。

【0308】

A T 制御手段 200 は、有利区間を開始した場合に、演出状態によらず毎回の遊技の都度、有利区間において実行された遊技回数を計数する特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値に 1 ゲームに相当する値「1」を加算するインクリメント更新を実行する。A T 制御手段 200 は、特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値が値「1300」に達した場合に、特定 A T 状態への移行条件（特定 A T 移行条件）が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。また、A T 制御手段 200 は、有利区間において最もメダルを消費した時点から 2000 枚を超えるメダルを遊技者が獲得した場合に、特定 A T 移行条件が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。

30

【0309】

非 A T 状態は、通常区間から有利区間に移行された場合と、A T 状態の終了後に有利区間が継続する場合と、設定される複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。A T 制御手段 200 は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ 1 枚役 D が入賞した場合と、に、C Z A T 抽選を実行し、「C Z A T 状態への移行」に当選した場合に、演出状態を非 A T 状態から C Z A T 準備状態に移行する。

40

【0310】

また、A T 制御手段 200 は、非 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 200 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 500 に表示させる。

【0311】

C Z A T 準備状態は、非 A T 状態において A T 制御手段 200 が実行する C Z A T 抽選

50

において「ＣＺＡＴ状態への移行」に当選した場合に移行される演出状態であり、ＣＺＡＴ状態への移行が確定されている演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態において、ＣＺＡＴ準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるＣＺＡＴ準備ゲーム数カウンタに初期値として値「８」をセットし、毎回の遊技の都度、１ゲームに相当する値「１」で減算するデクリメント更新を実行し、ＣＺＡＴ準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「０」になった場合に、演出状態をＣＺＡＴ準備状態からＣＺＡＴ状態に移行する。

【０３１２】

ＣＺＡＴ準備状態において、ＡＴ制御手段２００は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、ＣＺＡＴ状態で複数回実行するＣＺＡＴ継続抽選において、１回分のＣＺＡＴ抽選で「ＣＺＡＴ状態の継続」に当選した権利を付与する、つまり「ＣＺＡＴ状態の継続」抽選結果を書き換えるか否かを決定する継続付与抽選を実行する。ＡＴ制御手段２００は、継続付与抽選において「抽選結果を継続に書き換え」に当選した場合に、通常ＣＺＡＴ状態において実行されるＣＺＡＴ継続抽選において、「ＣＺＡＴ状態を終了する」と決定されるまで、継続付与抽選で当選した結果をストックする。

10

【０３１３】

ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態における入賞補助として、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置５００に表示させる。また、ＣＺＡＴ準備状態において、ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、３０％の確率（第２確率）で入賞補助制御を実行する。

20

【０３１４】

また、ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第１停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

30

【０３１５】

ＣＺＡＴ状態は、ＣＺＡＴ準備状態が終了した場合に移行される演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ状態において、ＣＺＡＴ状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるＣＺＡＴゲーム数カウンタに初期値として値「１０」をセットし、毎回の遊技の都度、１ゲームに相当する値「１」で減算するデクリメント更新を実行する。

【０３１６】

ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴゲーム数カウンタの記憶値が値「０」になった場合に、ＣＺＡＴ状態を継続するか否かを決定するＣＺＡＴ継続抽選を実行し、「ＣＺＡＴ状態の継続」に当選した場合に、ＣＺＡＴゲーム数カウンタの記憶値に値「１０」をセットするとともに、ＣＺＡＴ継続抽選によって継続すると決定した回数を計数する継続回数カウンタの記憶値に値「１」を加算する。また、ＣＺＡＴ継続抽選で「ＣＺＡＴ状態の終了」に決定された場合、ＡＴ制御手段２００は、ＣＺＡＴ準備状態において継続付与抽選で「抽選結果を継続に書き換え」に当選した結果をストックしているか否かを参照し、「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされている場合には、ＣＺＡＴゲーム数カウンタの記憶値に値「１０」をセットするとともに、継続回数カウンタの記憶値に値「１」を加算する。

40

【０３１７】

ＡＴ制御手段２００は、継続回数カウンタの記憶値が値「２」の状態で行うＣＺＡ

50

T継続抽選、つまり、一連のC Z A T状態における3回目のC Z A T継続抽選において「C Z A T状態の継続」に当選した場合と、「C Z A T状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていた場合と、に、通常A T状態への移行条件が成立したと判定し、演出状態をC Z A T状態からA T準備状態に移行する。

【0318】

A T制御手段200は、C Z A T継続抽選において「C Z A T状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていない場合に、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

10

【0319】

A T制御手段200は、C Z A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T制御手段200は、C Z A T状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、C Z A T状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

【0320】

また、C Z A T状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、C Z A T状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

20

【0321】

A T準備状態は、C Z A T状態において通常A T状態への移行が決定された場合、つまり通常A T状態への移行が確定された場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、A T準備状態において、A T準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるA T準備ゲーム数カウンタに初期値として値「8」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、A T準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態をA T準備状態から通常A T状態に移行する。

30

【0322】

A T準備状態において、A T制御手段200は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、通常A T状態が継続する遊技回数を加算（上乘せ）するか否かを決定する初期ゲーム数上乘せ抽選を実行する。また、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも多い値を加算可能な抽選テーブルを取得して初期ゲーム数上乘せ抽選を実行する。A T制御手段200は、初期ゲーム数上乘せ抽選の結果を、通常A T状態が継続する遊技回数を計数するA T継続ゲーム数カウンタに加算する。

40

【0323】

A T制御手段200は、A T準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T制御手段200は、A T準備状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、A T準備状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%（第1確率）の確率で入賞補助制御を実行する。

50

【 0 3 2 4 】

また、A T 準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、A T 準備状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 3 2 5 】

通常 A T 状態は、A T 準備状態が終了した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態において、A T 継続ゲーム数カウンタの記憶値を、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

10

【 0 3 2 6 】

通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、A T 継続ゲーム数カウンタの記憶値を加算（上乗せ）するか否かを決定する上乗せ抽選を実行する。

【 0 3 2 7 】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T 継続ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」となった場合に、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

20

【 0 3 2 8 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

【 0 3 2 9 】

30

また、通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、通常 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 3 3 0 】

特定 A T 状態は、有利区間中に特定 A T 移行条件が成立した場合に、いずれの演出状態からも移行可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、第 1 有利区間カウンタ 1 9 7 a の記憶値が値「1 5 0 0」に達した場合と、A T 状態において第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値が値「2 4 0 0」を超えた場合と、のいずれかの特定終了条件が成立するまで、特定 A T 状態を継続する。なお、特定終了条件が成立した場合、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

40

【 0 3 3 1 】

A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表

50

示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

【 0 3 3 2 】

また、特定 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、特定 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

10

【 0 3 3 3 】

このように構成された場合、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、

20

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

30

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

40

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第 1 状態（非 A T 状態）と、第 2 状態（C Z A T 準備状態）と、第 3 状態（C Z A T 状態）と、を制御し、

前記第 2 状態は、前記第 3 状態への移行が確定されたことに基づき移行される状態であり、

前記第 3 状態は、前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 3 状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知し、

50

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 3 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【0334】

このような構成により、スロットマシン 1 は、C Z A T 状態への移行が確定している C Z A T 準備状態において、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、C Z A T 準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で C Z A T 状態、通常 A T 状態及び特定 A T 状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

10

【0335】

なお、図 20 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、30%に限らず、例えば、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。

【0336】

また、図 20 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、14 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。

20

【0337】

つまり、遊技機は、

複数のリールと、

30

前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、

内部抽選を行う内部抽選手段と、

通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、

前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

40

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

50

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、第 1 状態（非 A T 状態）と、第 2 状態（C Z A T 準備状態）と、第 3 状態（C Z A T 状態）と、を制御し、

前記第 2 状態は、前記第 3 状態への移行が確定されたことに基づき移行される状態であり、

前記第 3 状態は、前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 3 状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 状態又は前記第 3 状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【 0 3 3 8 】

このような構成により、スロットマシン 1 は、C Z A T 準備状態において当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、C Z A T 準備状態において 1 4 枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、C Z A T 準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベル A ～ベル D の入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくい C Z A T 準備状態に対する遊技者の不満を抑制することができる。

【 0 3 3 9 】

図 2 1 は、変形例の A T 制御手段 2 0 0 によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。

【 0 3 4 0 】

スロットマシン 1 は、有利区間中において A T 制御手段 2 0 0 が制御可能な演出状態として、通常状態としての非 A T 状態と、非 A T 状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としての C Z A T 準備状態、C Z A T 状態、通常 A T 状態、A T インターバル状態及び特定 A T 状態と、を有している。

【 0 3 4 1 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常区間から有利区間にする場合に、演出状態を C Z A T 準備状態に設定するように構成されている。また、A T 制御手段 2 0 0 は、非 A T 状態に移行した場合に、有利区間が終了するまで非 A T 状態を継続するように構成されている。

【 0 3 4 2 】

A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が C Z A T 準備状態、C Z A T 状態、通常 A T 状態及び A T インターバル状態のいずれかである場合に、毎回の遊技の都度、有利状態において実行された遊技回数を計数する特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値に 1 ゲームに相当する値「1」を加算するインクリメント更新を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T 移行ゲーム数カウンタの記憶値が値「1 3 0 0」に達した場合に、特定 A T 状態への移行条件（特定 A T 移行条件）が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、有利状態において最もメダルを消費した時点から 2 0 0 0 枚を超えるメダルを遊技者が獲得した場合に、特定 A T 移行条件が成立したと判定し、演出状態を特定 A T 状態に移行する。

10

20

30

40

50

【0343】

非AT状態は、CZAT状態又はATインターバル状態から通常AT状態に演出状態が移行しない場合に移行される演出状態である。AT制御手段200は、非AT状態において、非AT状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである非ATゲーム数カウンタに初期値として値「900」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、非ATゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

【0344】

また、AT制御手段200は、非AT状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。AT制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

【0345】

CZAT準備状態は、上述したように、通常区間から有利区間に移行した場合に設定される演出状態であり、CZAT状態への移行が確定されている演出状態である。AT制御手段200は、CZAT準備状態において、CZAT準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるCZAT準備ゲーム数カウンタに初期値として値「8」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、CZAT準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態をCZAT準備状態からCZAT状態に移行する。

【0346】

CZAT準備状態において、AT制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、CZAT状態で複数回実行するCZAT継続抽選において、1回分のCZAT抽選で「CZAT状態の継続」に当選した権利を付与する、つまり「CZAT状態の継続」抽選結果を書き換えるか否かを決定する継続付与抽選を実行する。AT制御手段200は、継続付与抽選において「抽選結果を継続に書き換え」に当選した場合に、通常CZAT状態において実行されるCZAT継続抽選において、「CZAT状態を終了する」と決定されるまで、継続付与抽選で当選した結果をストックする。

【0347】

AT制御手段200は、CZAT準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。AT制御手段200は、CZAT準備状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、CZAT準備状態において、AT制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、30%の確率（第2確率）で入賞補助制御を実行する。

【0348】

また、AT制御手段200は、CZAT準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。AT制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

【0349】

C Z A T 状態は、C Z A T 準備状態が終了した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 状態において、C Z A T 状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである C Z A T ゲーム数カウンタに初期値として値「1 0」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【0 3 5 0】

A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、C Z A T 状態を継続するか否かを決定する C Z A T 継続抽選を実行し、「C Z A T 状態の継続」に当選した場合に、C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値に値「1 0」をセットするとともに、C Z A T 継続抽選によって継続すると決定した回数を計数する継続回数カウンタの記憶値に値「1」を加算する。また、C Z A T 継続抽選で「C Z A T 状態の終了」に決定された場合、A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 準備状態において継続付与抽選で「抽選結果を継続に書き換え」に当選した結果をストックしているか否かを参照し、「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされている場合には、C Z A T ゲーム数カウンタの記憶値に値「1 0」をセットするとともに、継続回数カウンタの記憶値に値「1」を加算する。

10

【0 3 5 1】

A T 制御手段 2 0 0 は、継続回数カウンタの記憶値が値「2」の状態で行う C Z A T 継続抽選、つまり、一連の C Z A T 状態における 3 回目の C Z A T 継続抽選において「C Z A T 状態の継続」に当選した場合と、「C Z A T 状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていた場合と、に、通常 A T 状態への移行条件が成立したと判定し、演出状態を C Z A T 状態から通常 A T 状態に移行する。

20

【0 3 5 2】

A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 継続抽選において「C Z A T 状態の終了」に決定し、かつ「抽選結果の継続に書き換え」に当選した結果がストックされていない場合に、通常 A T 状態への移行条件が成立しなかった（A T 不当選）と判定し、演出状態を C Z A T 状態から非 A T 状態に移行する。

【0 3 5 3】

A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

30

【0 3 5 4】

A T 制御手段 2 0 0 は、リプレイを規定投入数と同数の払い出しが実行される役（3 枚投入 3 枚払出）が実行される役として扱い、入賞補助制御を実行した場合には入賞補助制御に従った遊技が実行され、入賞補助制御が実行されない場合には、遊技機に設定されている入賞確率でベル A ～ベル D が入賞する状態で遊技が実行されると想定した場合における C Z A T 状態での出玉率（リプレイ込みの出玉率）について、出玉率が約 1 0 0 % となるような頻度で入賞補助制御を実行するように構成されている。

【0 3 5 5】

ここで、出玉率は、一時的な確率の偏りの影響を十分に無視できるだけの遊技回数である所定の遊技回数（例えば 1 7 5 0 0 ゲーム）の遊技が実行された場合において、所定の遊技回数の遊技の間に投入されるメダルの総投入数に対する所定の遊技回数の遊技の間に獲得されるメダルの総払出数の割合である。

40

【0 3 5 6】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2

50

」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

【 0 3 5 7 】

通常 A T 状態は、C Z A T 状態において、通常 A T 状態への移行条件が成立した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態において、A T 継続ゲーム数カウンタに初期値として値「 5 0 」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「 1 」で減算するデクリメント更新を実行し、A T 継続ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となった場合に、演出状態を通常 A T 状態から A T インターバル状態に移行する。

【 0 3 5 8 】

通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、A T 継続ゲーム数カウンタの記憶値を加算（上乘せ）するか否かを決定する上乘せ抽選を実行する。

10

【 0 3 5 9 】

A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、通常 A T 状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

20

【 0 3 6 0 】

また、通常 A T 状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「打順チャンス 1 」～当選エリア「打順チャンス 1 2 」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン 1 では、通常 A T 状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1 」～当選エリア「打順チャンス 1 2 」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技が促され、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 3 6 1 】

A T インターバル状態は、通常 A T 状態が終了した場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態において、A T インターバル状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである A T インターバルゲーム数カウンタに初期値として値「 1 5 」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「 1 」で減算するデクリメント更新を実行する。

30

【 0 3 6 2 】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバルゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となった場合に、通常 A T 状態に移行させるか否かを決定する通常 A T 移行抽選を実行する。通常 A T 移行抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選した場合、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態を A T インターバル状態から通常 A T 状態に移行する。一方、A T 継続抽選において、「通常 A T 状態への移行」に当選しなかった場合、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態を A T インターバル状態から非 A T 状態に移行する。

40

【 0 3 6 3 】

A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、A T インターバル状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、3 0 % の確率（第 2 確率）で入賞補助制御を実行する。

50

【 0 3 6 4 】

また、ＡＴ制御手段２００は、ＡＴインターバル状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第１停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

【 0 3 6 5 】

このように、ＡＴインターバル状態は、当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に低確率で入賞補助制御が実行されるため、メダルの獲得期待値が通常ＡＴ状態よりも低い状態であるとともに、通常ＡＴ状態から移行した場合に他の演出状態に移行することなく再度通常ＡＴ状態に移行可能な状態として構成されており、一連の有利状態におけるインターバルとして機能する演出状態となっている。

10

【 0 3 6 6 】

特定ＡＴ状態は、有利状態中に特定ＡＴ移行条件が成立した場合に、ＣＺＡＴ準備状態、ＣＺＡＴ状態、通常ＡＴ状態及びＡＴインターバル状態のいずれの演出状態からも移行可能に構成されている。ＡＴ制御手段２００は、第１有利区間カウンタ１９７ａの記憶値が値「１５００」に達した場合と、ＡＴ状態において第２有利区間カウンタ１９７ｂの記憶値が値「２４００」を超えた場合と、のいずれかの特定終了条件が成立するまで、特定ＡＴ状態を継続する。なお、特定終了条件が成立した場合、ＡＴ制御手段２００は、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

20

【 0 3 6 7 】

ＡＴ制御手段２００は、特定ＡＴ状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、特定ＡＴ状態における入賞補助として、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置５００に表示させる。また、特定ＡＴ状態において、ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、１００％の確率（第１確率）で入賞補助制御を実行する。

30

【 0 3 6 8 】

また、特定ＡＴ状態において、ＡＴ制御手段２００は、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン１では、特定ＡＴ状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンＢ１を第１停止操作する遊技が促され、１４枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 3 6 9 】

このように構成された場合、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第１当選態様（当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」）と、第２当選態様（当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」）と、が含まれ、
前記第１当選態様には、第１配当の小役（１枚役Ｄ）と、第２配当の小役（特殊小役）

40

50

と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～ 1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

10

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

20

前記有利状態は、第 1 有利状態（通常 A T 状態、特定 A T 状態）と、第 2 有利状態（C Z A T 準備状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率（100%）で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率（30%）で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

30

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知する。

【0370】

このような構成により、スロットマシン 1 は、C Z A T 準備状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常 A T 状態及び特定 A T 状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするとともに、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、C Z A T 準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で通常 A T 状態及び特定 A T 状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

40

【0371】

なお、図 2 1 に示した構成において、A T 制御手段 200 は、演出状態が A T インターバル状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、100%に限らず、100%よりも低い確率であってもよく、また、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実

50

行しないように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 2 有利状態として A T インターバル状態を有していてもよい。

【 0 3 7 2 】

また、図 2 1 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、3 0 % に限らず、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。

【 0 3 7 3 】

また、図 2 1 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、C Z A T 準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、C Z A T 状態についても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、A T インターバル状態についても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。

【 0 3 7 4 】

つまり、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、
前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、
前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、
前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、
前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、
前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、
前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、
前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、
前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、
前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常

10

20

30

40

50

状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第1有利状態（通常AT状態、特定AT状態）と、第2有利状態（CZAT準備状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第2当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第1有利状態であり、かつ前記第2当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第1確率で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第2有利状態であり、かつ前記第2当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第2確率で報知し、

10

前記第1確率は、前記第2確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第1有利状態又は前記第2有利状態であり、かつ前記第1当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【0375】

このような構成により、スロットマシン1は、CZAT準備状態において、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常AT状態及び特定AT状態において当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするものの、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、CZAT準備状態において14枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、CZAT準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベルA～ベルDの入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくいCZAT準備状態に対する遊技者の不満を抑制することができる。

20

【0376】

図22は、変形例のAT制御手段200によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。なお、図22に示す遊技機においては、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時に100%の確率でベルA～ベルDの入賞補助制御が実行され、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時に設定打順報知制御が実行されず特殊小役が入賞することで、1回の遊技において獲得できるメダルの枚数と投入するメダルの枚数との差分の平均値である純増枚数が約6.0枚となるように構成されている。

30

【0377】

スロットマシン1は、有利区間中においてAT制御手段200が制御可能な演出状態として、通常状態としての非AT状態と、非AT状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としての擬似ボーナス準備状態、擬似ボーナス状態、ATモード準備状態、第1ATモード～第4ATモード及び上乘せ特化状態と、を有している。

【0378】

非AT状態は、通常区間から有利区間に移行された場合と、AT状態の終了後に有利区間が継続する場合と、に設定される複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。本実施形態において、AT制御手段200は、非AT状態における補助遊技に係る各種制御を実行する際に用いる変数として、非ATモードを有している。

40

【0379】

非ATモードは、第1非ATモード～第5非ATモードの5種類のモードから構成されており、第1非ATモード<第2非ATモード<第3非ATモード<第4非ATモード<第5非ATモードの順に、遊技者にとって有利な制御が実行されるモードとなっている。AT制御手段200は、通常区間から有利区間に移行された場合に、第1非ATモード～

50

第5非ATモードのいずれのモードを設定するかを決める開始時非ATモード抽選を実行し、抽選により決定した非ATモードをAT制御データ記憶手段197に格納する。

【0380】

有利区間の開始に基づき非ATモードを設定した後、AT制御手段200は、非AT状態における遊技回数をカウントする非ATゲーム数カウンタ（不図示）に設定する初期値を決定する開始時非ATゲーム数抽選を実行する。開始時非ATゲーム数抽選において、AT制御手段200は、AT制御データ記憶手段に格納した非ATモードに対応する抽選テーブルを取得する。

【0381】

開始時非ATゲーム数抽選において用いられる各抽選テーブルでは、それぞれ値「200」、値「400」、値「600」、値「800」に抽選値数が対応付けられており、第1非ATモード<第2非ATモード<第3非ATモード<第4非ATモード<第5非ATモードの順に、小さい値の当選確率が高くなるように抽選値数が対応付けられている。また、第3非ATモード～第5非ATモードである場合に用いられる各抽選テーブルでは、値「800」に抽選値数が対応付けられておらず値「200」、値「400」、値「600」のいずれかに当選するように構成されている。

10

【0382】

AT制御手段200は、開始時非ATゲーム数抽選によって決定した値を非ATゲーム数カウンタの初期値として設定し、カウンタの更新に係る制御において、値「0」に向けて更新可能に構成されている。

20

【0383】

また、本実施形態のAT制御手段200は、非AT状態において、設定されている非ATモードよりも有利な非ATモードに移行するか否かを決定するモード移行抽選を周期的に実行するために用いられるカウンタである周期ゲーム数カウンタ（不図示）に初期値として値「200」を設定し、カウンタの更新に係る制御において、値「0」に向けて更新可能に構成されている。

【0384】

AT制御手段200は、周期ゲーム数カウンタの記憶値を更新し値「0」になった場合に、モード移行抽選を実行する。モード移行抽選において、AT制御手段200は、例えば、第1非ATモードが設定されている場合には、設定する非ATモードを第2非ATモードに移行するか否かを抽選によって決定する、つまり現在設定されている非ATモードよりも1段階有利なモードに移行するか否かを抽選によって決定する。

30

【0385】

また、AT制御手段200は、通常区間から有利区間に移行した場合と、AT状態が終了した場合と、の非AT状態が開始された場合において、AT制御データ記憶手段197の非AT低確ゲーム数カウンタ（不図示）に初期値として値「200」を設定し、カウンタの更新に係る制御において、値「0」に向けて更新可能に構成されている。

【0386】

AT制御手段200は、非AT低確ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」ではない場合において、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、かつ1枚役Dが入賞した場合と、に、AT状態に移行するか否かを決定するAT抽選を実行しないように構成されている。一方、AT制御手段200は、非AT低確ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」である場合において、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選し、かつ1枚役Dが入賞した場合と、に、AT抽選を実行する。

40

【0387】

AT制御手段200は、非ATゲーム数カウンタの記憶値が値「0」となった場合と、AT抽選において「AT状態への移行」に当選した場合と、に、AT状態への移行条件が

50

成立したと判定し、演出状態を非 A T 状態から A T 状態のうち擬似ボーナス準備状態（後述）に移行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間が開始された場合に、演出状態によらず遊技回数をカウントし、カウントの更新に係る制御において値「1 3 0 0」に向けて更新する A T 移行ゲーム数カウンタ（不図示）の記憶値が値「1 3 0 0」になった場合に、A T 状態への移行条件が成立したと判定し、演出状態を非 A T 状態から擬似ボーナス準備状態に移行する。

【0 3 8 8】

A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス状態（後述）から非 A T 状態に移行した場合において、A T 状態における遊技の内容に応じて非 A T モードの設定に係る処理を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、A T 状態において後述する第 1 A T モード～第 4 A T モードの少なくとも 1 つが設定された状態で遊技が実行された後に A T 状態が終了し非 A T 状態に演出状態を移行する場合に、非 A T モードを決定する第 1 終了時モード抽選を実行する。第 1 終了時モード抽選において、A T 制御手段 2 0 0 は、第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値に対応する抽選テーブルを取得する。

10

【0 3 8 9】

第 1 終了時モード抽選において用いられる各抽選テーブルでは、それぞれ第 1 非 A T モード～第 5 非 A T モードに抽選値数が対応付けられており、第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値が値「5 0 0」未満である場合に選択される抽選テーブルでは、第 3 非 A T モード～第 5 非 A T モードのいずれかに当選する確率が第 1 非 A T モード、第 2 非 A T モードのいずれかに当選する確率よりも高くなるように設定され、第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値が値「5 0 0」以上でかつ値「1 5 0 0」未満である場合に選択される抽選テーブルでは、第 2 非 A T モードに当選する確率が第 1 非 A T モード、第 3 非 A T モード～第 5 非 A T モードのいずれかに当選する確率よりも高くなるように設定され、第 2 有利区間カウンタ 1 9 7 b の記憶値が値「1 5 0 0」以上である場合に選択される抽選テーブルでは、第 1 非 A T モードに当選する確率が第 2 非 A T モード～第 5 非 A T モードのいずれかに当選する確率よりも高くなるように設定されている。

20

【0 3 9 0】

一方、本実施形態の A T 制御手段 2 0 0 は、A T 状態において A T モードが設定されることなく A T 状態が終了し非 A T 状態に演出状態を移行する場合に、A T 状態において A T モードが設定されなかったことを示す特定 A T フラグを O N 状態にセットするとともに、非 A T モードを決定する第 2 終了時モード抽選を実行する。第 2 終了時モード抽選において、A T 制御手段 2 0 0 は、現在設定されている非 A T モードに基づき抽選テーブルを取得する。

30

【0 3 9 1】

第 2 終了時モード抽選において用いられる各抽選テーブルでは、それぞれ第 1 非 A T モード～第 5 非 A T モードに抽選値数が対応付けられており、第 1 非 A T モード<第 2 非 A T モード<第 3 非 A T モード<第 4 非 A T モードの順に、遊技者にとって有利な非 A T モードの当選確率が高くなるように抽選値数が対応付けられている。また、第 2 終了時モード抽選において用いられる各抽選テーブルのうち、現在設定されている非 A T モードが第 2 非 A T モード～第 4 非 A T モードである場合に用いられる抽選テーブルは、開始時非 A T モード抽選において用いられる抽選テーブルよりも第 3 非 A T モード～第 5 非 A T モードのいずれかに当選する確率が高くなるように構成されている。

40

【0 3 9 2】

なお、スロットマシン 1 では、第 5 非 A T モードが設定されている状態で A T 状態に演出状態が移行した場合には、必ず A T モードが設定される構成であり、第 2 終了時モード抽選が実行されないことから、第 5 非 A T モードである場合に対応する抽選テーブルについて有していない構成となっている。

【0 3 9 3】

A T 状態から非 A T 状態に移行し、かつ非 A T モードを設定した後、A T 制御手段 2 0 0 は、非 A T ゲーム数カウンタに設定する初期値を決定する開始時非 A T ゲーム数抽選を

50

実行する。開始時非 A T ゲーム数抽選において、A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T フラグが O F F 状態である場合には、有利区間の開始時に実行する開始時非 A T ゲーム数抽選と同様の処理を実行する。一方、A T 制御手段 2 0 0 は、特定 A T フラグが O N 状態である場合には、有利区間の開始時に実行する開始時非 A T ゲーム数抽選で用いた抽選テーブルとは異なる抽選テーブルを用いて開始時非 A T ゲーム数中抽選を実行する。

【 0 3 9 4 】

特定 A T フラグが O N 状態である場合、第 1 非 A T モードが設定されている場合に用いられる抽選テーブルと、第 2 非 A T モードが設定されている場合に用いられる抽選テーブルと、では、値「 6 0 0 」に略確実（例えば約 9 9 . 5 % ）に当選し、極稀（例えば約 0 . 5 % ）に値「 4 0 0 」に当選するようにそれぞれ構成されている。また、特定 A T フラグが O N 状態である場合、第 3 非 A T モードが設定されている場合に用いられる抽選テーブルと、第 4 非 A T モードが設定されている場合に用いられる抽選テーブルと、第 5 非 A T モードが設定されている場合に用いられる抽選テーブルと、では、値「 4 0 0 」に高確率（例えば約 8 5 % ）に当選し、低確率（例えば約 1 5 % ）で値「 6 0 0 」に当選するようにそれぞれ構成されている。

10

【 0 3 9 5 】

また、A T 状態から非 A T 状態に移行し、かつ非 A T モードを設定した後、A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間を終了させるまでの遊技回数をカウントする有利区間終了ゲーム数カウンタ（不図示）に設定する初期値を決定する有利区間終了ゲーム数抽選を実行する。有利区間終了ゲーム数抽選において、A T 制御手段 2 0 0 は、A T 制御データ記憶手段 1 9 7 に格納した非 A T モードを参照して対応する抽選テーブルを取得する。

20

【 0 3 9 6 】

有利区間終了ゲーム数抽選において用いられる各抽選テーブルでは、設定されている非 A T モードに応じた値に抽選値数が対応付けられている、第 1 非 A T モードである場合に選択される抽選テーブルでは、値「 5 0 」～値「 1 0 0 」の範囲の値に抽選値数が対応付けられ、第 1 非 A T モードである場合に選択される抽選テーブルでは、値「 5 0 」～値「 1 0 0 」の範囲の値に抽選値数が対応付けられ、第 2 非 A T モードである場合に選択される抽選テーブルでは、値「 1 5 0 」～値「 1 9 0 」の範囲の値に抽選値数が対応付けられ、第 3 非 A T モード～第 5 非 A T モードである場合に選択される各抽選テーブルでは、値「 7 0 0 」～値「 7 5 0 」の範囲の値に抽選値数が対応付けられている。

30

【 0 3 9 7 】

A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間終了ゲーム数抽選によって決定した値を有利区間終了ゲーム数カウンタの初期値として設定し、カウンタの更新に係る制御において、値「 0 」に向けて更新可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、有利区間終了ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となった場合に、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

【 0 3 9 8 】

このような構成であることから、本実施形態のスロットマシン 1 では、A T 状態が終了し非 A T 状態が開始される場合において、設定されている非 A T モードが第 1 非 A T モード又は第 2 非 A T モードである場合には、非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となる以前に有利区間終了ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となり、非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になったことに基づく A T 状態への移行が行われることなく有利区間が終了する。

40

【 0 3 9 9 】

また、スロットマシン 1 では、A T 状態が終了し非 A T 状態が開始される場合において、設定されている非 A T モードが第 3 非 A T モード～第 5 非 A T モードである場合には、有利区間終了ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となる以前に非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」となり、有利区間終了ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になったことに基づく所定の終了処理が実行されることなく非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値

50

「 0 」になったことに基づく A T 状態への移行が実行される。

【 0 4 0 0 】

擬似ボーナス準備状態は、非 A T 状態において「 A T 状態への移行」が決定された場合に移行される演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備状態において、擬似ボーナス準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである擬似ボーナス準備ゲーム数カウンタに初期値として値「 8 」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「 1 」で減算するデクリメント更新を実行する。

【 0 4 0 1 】

擬似ボーナス準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、A T モードを設定するか否かを決定する A T モード抽選を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、A T モード抽選において第 1 A T モード～第 4 A T モードのいずれかの A T モードを設定すると決定した場合（A T モード設定条件成立）に、擬似ボーナス準備状態の終了後に移行する演出状態を擬似ボーナス状態から A T モード準備状態に変更する。

10

【 0 4 0 2 】

A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になり、かつ A T モード抽選で第 1 A T モード～第 4 A T モードのいずれかの A T モードの設定に当選した場合には、演出状態を擬似ボーナス準備状態から A T モード準備状態に移行する。一方、A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「 0 」になり、かつ A T モード設定条件が成立していない場合には、演出状態を擬似ボーナス準備状態から擬似ボーナス状態に移行する。

20

【 0 4 0 3 】

A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、ベル A ～ベル D を入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備状態における入賞補助として、ベル A ～ベル D を入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。また、擬似ボーナス準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「打順ベル 1 」～当選エリア「打順ベル 4 」に当選した場合に、1 0 0 % の確率（第 1 確率）で入賞補助制御を実行する。

30

【 0 4 0 4 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1 」～当選エリア「打順チャンス 1 2 」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1 」～当選エリア「打順チャンス 1 2 」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

【 0 4 0 5 】

擬似ボーナス状態は、擬似ボーナス準備状態において A T モード設定条件が成立しなかった場合に開始される状態である。擬似ボーナス状態において、A T 制御データ記憶手段 1 9 7 の A T ゲーム数カウンタ（不図示）に所定の遊技回数に対応する初期値（3 0 ゲーム）をセットし、遊技が実行される都度、A T ゲーム数カウンタの記憶値を 1 ゲームに相当する値「 1 」で減算するデクリメント更新を実行する。

40

【 0 4 0 6 】

A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス状態を開始した遊技において、A T モードを設定するか否かを定める抽選を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、A T モードを設定するか否かを定める抽選として、特定 A T フラグが O F F 状態である場合、つまり、一連の有利区間における 1 回目の擬似ボーナス状態である場合と、一連の有利状態において少なくとも 1 回 A T モードが設定された場合と、には、A T 開始時第 1 モード抽選を実行し、特定 A T フラグが O N 状態である場合、つまり、一連の有利区間において、前回有利状態に移行

50

した際にA Tモードが設定されなかった場合には、A T開始時第2モード抽選を実行する。A T開始時第1モード抽選及びA T開始時第2モード抽選において、A T制御手段200は、設定値記憶手段191に記憶されている設定値に基づき、抽選テーブルを選択するように構成されている。

【0407】

A T制御手段200は、A T開始時第1モード抽選又はA T開始時第2モード抽選を実行し、A Tモードの設定の有無を決定し、A Tモードを設定すると決定した場合には、抽選により決定したA TモードをA T制御データ記憶手段197に格納し、擬似ボーナス状態が終了した後に決定したA Tモード準備状態を開始する。

【0408】

また、擬似ボーナス状態において、A T制御手段200は、内部抽選手段120による内部抽選で当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、当選エリア「レア役」に当選した場合と、において、A Tモードが設定されていない場合にはA Tモードを設定するか否かを決定するA Tモード設定抽選を実行し、A T制御データ記憶手段197に第1A Tモード～第4A Tモードのいずれかが格納されている場合には、格納されているA Tモードよりも遊技者にとって有利なA Tモードに移行するか否かを抽選するA Tモード移行抽選を実行する。

【0409】

A T制御手段200は、A T状態における毎回の遊技の実行の都度実行するデクリメント更新によってA Tゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、A T制御データ記憶手段197を参照してA Tモードが設定されているか否かを判定する。A T制御手段200は、A T制御データ記憶手段197に第1A Tモード～第4A Tモードのいずれもが格納されておらず、A Tモードが設定されていないと判定した場合には、A Tモード設定条件が不成立であったと判定する。A T制御手段200は、一連の有利状態において一度もA Tモードが設定されていないと判定した場合には、特定A TフラグをON状態にセットするとともに、演出状態を擬似ボーナス状態から非A T状態に移行する。なお、A T制御手段200は、一連の有利状態において少なくとも1回A Tモードが設定されていた場合には、特定A TフラグをOFF状態に維持したまま、演出状態を擬似ボーナス状態から非A T状態に移行する。

【0410】

一方、A T制御データ記憶手段197に第1A Tモード～第4A Tモードのいずれかが格納されていた場合、A T制御手段200は、A Tモード設定条件が成立したと判定し、演出状態を擬似ボーナス状態からA Tモード準備状態に移行する。

【0411】

A T制御手段200は、擬似ボーナス状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行する。A T制御手段200は、擬似ボーナス状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、擬似ボーナス状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

【0412】

また、擬似ボーナス状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、擬似ボーナス状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【0413】

10

20

30

40

50

A Tモード準備状態は、擬似ボーナス準備状態又は擬似ボーナス状態においてA Tモード設定条件が成立した場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、A Tモード準備状態において、A Tモード準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタであるA Tモード準備ゲーム数カウンタに初期値として値「8」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、A Tモード準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態をA Tモード準備状態から設定されているA Tモードに演出状態を移行する。

【0414】

A Tモード準備状態において、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、設定されているA Tモードよりも有利なA Tモードに移行するか否かを決定するA Tモード移行抽選を実行する。

10

【0415】

A T制御手段200は、A Tモード準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T制御手段200は、A Tモード準備状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、A Tモード準備状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

20

【0416】

また、A T制御手段200は、A Tモード準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

【0417】

A Tモードは、A Tモード準備状態が終了した場合に移行される演出状態であり、第1A Tモード～第4A Tモードの4つのモードから構成されている。スロットマシン1では、第1A Tモード～第4A Tモードについて、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時においてA T制御手段200が入賞補助制御を実行する頻度に差を設けることで、各モードで遊技が実行される場合における純増枚数に差を設け、遊技者にとって有利な度合いに差が生じるように構成されている。

30

【0418】

第1A Tモード～第4A Tモードでは、遊技の実行の都度、A Tモードを終了し擬似ボーナス準備状態に演出状態を移行するか否かを決定するA Tモード終了抽選が実行される。第1A Tモードでは、高確率（例えば90%）で「A Tモードの終了」に当選し、低確率（例えば10%）で「第1A Tモードの継続」に当選するA Tモード終了抽選が実行され、第2A Tモードでは、第1モードにおけるA Tモード終了抽選で「A Tモードの終了」に当選する確率よりも低いものの高確率（例えば70%）で「A Tモードの終了」に当選し、「A Tモードの終了」に当選する確率よりも低確率（例えば30%）で「第2A Tモードの継続」に当選するA Tモード終了抽選が実行され、第3A Tモードでは、「A Tモードの終了」に当選する確率と、「第3A Tモードの継続」に当選する確率と、が略同確率のA Tモード終了抽選が実行され、第4A Tモードでは、低確率（例えば30%）で「A Tモードの終了」に当選し、高確率（例えば70%）で「第4A Tモードの継続」に当選するA Tモード終了抽選が実行される。

40

【0419】

また、第1A Tモード～第4A Tモードにおいて、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、演出

50

状態を上乗せ特化状態に移行するか否かを決定する上乗せ特化移行抽選を実行する。A T制御手段200は、上乗せ特化移行抽選において「上乗せ特化状態への移行」に当選した場合に、現在のA Tモードに係る制御を中断し、演出状態をA Tモードから上乗せ特化状態に移行する。

【0420】

第1 A Tモードにおいて、A T制御手段200は、純増枚数が約1.0枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。第2 A Tモードにおいて、A T制御手段200は、純増枚数が約2.0枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。第3 A Tモードにおいて、A T制御手段200は、純増枚数が約4.0枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。第4 A Tモードにおいて、A T制御手段200は、純増枚数が約6.0枚となる頻度、つまり100%の確率で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

10

【0421】

A T制御手段200は、第1 A Tモード又は第2 A Tモードである状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

20

【0422】

また、第3 A Tモード又は第4 A Tモードにおいて、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、第3 A Tモード又は第4 A Tモードにおける内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

30

【0423】

上乗せ特化状態は、A Tモードにおいて実行される上乗せ特化移行抽選で「上乗せ特化状態への移行」に当選した場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、上乗せ特化状態における遊技の実行の都度、上乗せ特化状態を終了し中断しているA Tモードに演出状態に移行するか否かを決定する上乗せ特化終了抽選が実行される。上乗せ特化状態では、低確率（例えば10%）で「上乗せ特化状態の終了」に当選し、高確率（例えば90%）で「上乗せ特化状態の継続」に当選する上乗せ特化終了抽選が実行される。

【0424】

40

上乗せ特化状態において、A T制御手段200は、純増枚数が約6.0枚となる頻度、つまり100%の確率で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

【0425】

また、上乗せ特化状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、上乗せ特化状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払

50

い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【 0 4 2 6 】

このように構成された場合、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助
遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エ
リア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア
「打順ベル 4」）と、が含まれ、

前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）
と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚
役 A～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、

前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、

前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定
されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作され
た場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる
非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設
定されており、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作され
た場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる
不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常
状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（擬似ボーナス状態、第 4 A T モード、上乗せ特化状態）
と、第 2 有利状態（第 1 A T モード、第 2 A T モード）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合
に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した
場合に、前記正解打順を第 1 確率（1 0 0 %）で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した
場合に、前記正解打順を第 2 確率（純増枚数 1 . 0 となる頻度、純増枚数 2 . 0 となる頻
度）で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合
に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した
場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した
場合に、前記設定打順を報知する。

【 0 4 2 7 】

このような構成により、スロットマシン 1 は、第 1 A T モード及び第 2 A T モードにおいて、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、擬似ボーナス状態、第 4 A T モード及び上乗せ特化状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするとともに、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、第 1 A T モード及び第 2 A T モードにおけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で擬似ボーナス状態、第 4 A T モード及び上乗せ特化状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

10

【0428】

なお、図 2 2 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、1 0 0 % に限らず、1 0 0 % よりも低い確率であってもよく、また、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。また、A T モード準備状態についても、略同様に、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、1 0 0 % に限らず、1 0 0 % よりも低い確率であってもよく、また、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 2 有利状態として擬似ボーナス準備状態及び A T モード準備状態を有していてもよい。

20

【0429】

また、図 2 2 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、A T モード準備状態についても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、第 1 A T モードについても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、第 2 A T モードについても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。

30

【0430】

つまり、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」）と、第 2 当選態様（当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）と、が含まれ、
前記第 1 当選態様には、第 1 配当の小役（1 枚役 D）と、第 2 配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、
前記第 2 当選態様には、第 3 配当の小役（ベル A ～ベル D）と、第 4 配当の小役（1 枚役 A ～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

40

50

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも低く、
前記第 3 配当は、前記第 4 配当よりも高く、
前記第 1 選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 1 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第 2 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

10

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第 3 配当の小役が入賞可能であり、

前記第 2 当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第 4 配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第 1 有利状態（擬似ボーナス状態、第 4 A T モード、上乗せ特化状態）と、第 2 有利状態（第 1 A T モード、第 2 A T モード）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

20

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 1 確率（100%）で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 2 当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第 2 確率（純増枚数 1.0 となる頻度、純増枚数 2.0 となる頻度）で報知し、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第 1 有利状態又は前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

30

【0431】

このような構成により、スロットマシン 1 は、第 1 A T モード及び第 2 A T モードにおいて、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、擬似ボーナス状態、第 4 A T モード及び上乗せ特化状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするものの、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、第 1 A T モード及び第 2 A T モードにおいて 14 枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、C Z A T 準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベル A ～ベル D の入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくい第 1 A T モード及び第 2 A T モードに対する遊技者の不満を抑制することができる。

40

【0432】

図 23 は、変形例の A T 制御手段 200 によって制御される通常区間及び有利区間と、有利区間中に制御される演出状態と、についての詳細を示す状態遷移図である。なお、図 23 に示す遊技機においては、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に 100% の確率でベル A ～ベル D の入賞補助制御が実行され、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 12」の当選時に設定打順報知制御が実行されず特殊小役が入賞することで、1 回の遊技において獲得できるメダルの枚数と投入するメダルの枚数との差分の平均値である純増枚数が約 6.0 枚となるように構成されている。

50

【 0 4 3 3 】

スロットマシン 1 は、有利区間中において A T 制御手段 2 0 0 が制御可能な演出状態として、通常状態としての非 A T 状態と、非 A T 状態よりも遊技者にとって有利な有利状態としての擬似ボーナス準備状態、擬似ボーナス特化状態、第 1 擬似ボーナス状態、第 2 擬似ボーナス状態、第 1 A T 状態及び第 2 A T 状態と、を有している。

【 0 4 3 4 】

非 A T 状態は、通常区間から有利区間に移行された場合と、A T 状態の終了後に有利区間が継続する場合と、設定される複数種類の演出状態の中で通常状態に相当する演出状態（通常演出状態）である。A T 制御手段 2 0 0 は、非 A T 状態において、非 A T 状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである非 A T ゲーム数カウンタに初期値として値「7 0 0」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態を非 A T 状態から擬似ボーナス状態に移行する。

10

【 0 4 3 5 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選し、かつ 1 枚役 D が入賞した場合と、に、演出状態を擬似ボーナス特化状態に移行するか否かを決定する擬似ボーナス特化移行抽選を実行し、「擬似ボーナス特化状態への移行」に当選した場合に、演出状態を非 A T 状態から擬似ボーナス特化状態に移行する。

20

【 0 4 3 6 】

また、A T 制御手段 2 0 0 は、非 A T 状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」に当選した場合に、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第 1 停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置 5 0 0 に表示させる。

【 0 4 3 7 】

擬似ボーナス準備状態は、非 A T 状態において非 A T ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合と、擬似ボーナス特化状態が終了した場合と、に移行される演出状態であり、擬似ボーナス状態への移行が確定されている演出状態である。A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備状態において、擬似ボーナス準備状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである擬似ボーナス準備ゲーム数カウンタに初期値として値「1 0」をセットし、毎回の遊技の都度、1 ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

30

【 0 4 3 8 】

擬似ボーナス準備状態において、A T 制御手段 2 0 0 は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、1 セットの第 2 擬似ボーナス状態の実行を決定するか否かを抽選する第 2 擬似ボーナスストック抽選を実行する。また、A T 制御手段 2 0 0 は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも「1 セットの第 2 擬似ボーナス状態の実行」に当選する確率が高い抽選テーブルを取得して第 2 擬似ボーナスストック抽選を実行する。A T 制御手段 2 0 0 は、第 2 擬似ボーナスストック抽選において「1 セットの第 2 擬似ボーナス状態の実行」が決定された場合、A T 制御手段 2 0 0 は、実行が決定された第 2 擬似ボーナス状態に係る情報を記憶（ストック）する。

40

【 0 4 3 9 】

A T 制御手段 2 0 0 は、擬似ボーナス準備ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、擬似ボーナス準備状態を終了する。擬似ボーナス準備状態を終了する場合において、A T 制御手段 2 0 0 は、1 セット以上の第 2 擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされている場合には、演出状態を擬似ボーナス準備状態から第 2 擬似ボーナス状

50

態に移行し、第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされていない場合には、演出状態を擬似ボーナス準備状態から第1擬似ボーナス状態に移行する。

【0440】

A T制御手段200は、擬似ボーナス準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T制御手段200は、擬似ボーナス準備状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、擬似ボーナス準備状態において、A T制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

10

【0441】

また、A T制御手段200は、擬似ボーナス準備状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

【0442】

擬似ボーナス特化状態は、非A T状態における擬似ボーナス特化移行抽選において「擬似ボーナス特化状態への移行」に当選した場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、擬似ボーナス特化状態において、擬似ボーナス特化状態が継続する遊技回数を計数するカウンタである擬似ボーナス特化ゲーム数カウンタに初期値として値「5」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、擬似ボーナス特化ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態を擬似ボーナス特化状態から擬似ボーナス準備状態に移行する。

20

【0443】

A T制御手段200は、擬似ボーナス特化状態を開始した場合に、1セットの第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報のストックを決定する。また、擬似ボーナス特化状態において、A T制御手段200は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、擬似ボーナス準備状態で実行する第2擬似ボーナスストック抽選よりも高い確率で「1セットの第2擬似ボーナス状態の実行」に当選可能な第2擬似ボーナスストック特化抽選を実行する。また、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも「1セットの第2擬似ボーナス状態の実行」に当選する確率が高い抽選テーブルを取得して第2擬似ボーナスストック特化抽選を実行する。

30

【0444】

A T制御手段200は、擬似ボーナス特化状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T制御手段200は、擬似ボーナス特化状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、擬似ボーナス特化状態において、A T制御手段200は、純増枚数が約1.8枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

40

【0445】

また、A T制御手段200は、擬似ボーナス特化状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定

50

打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

【０４４６】

第１擬似ボーナス状態は、１セットの第２擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされていない状態で、擬似ボーナス準備状態又は第２擬似ボーナス状態が終了した場合に移行される演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス状態において、第１擬似ボーナス状態において投入されたメダルの枚数と払い出されたメダルの枚数との差分（差枚数）を計数するカウンタである第１擬似ボーナス差枚数カウンタに初期値として値「５０」をセットし、遊技の開始時に、規定投入数（３枚）に相当する値「３」を第１擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値に加算し、小役が入賞しメダルの払い出しが実行された場合に、払い出されていたメダルの枚数と同数で第１擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値を減算し、リプレイが入賞した場合には、規定投入数に相当する値「３」で第１擬似ボーナスカウンタの記憶値を減算する。

10

【０４４７】

ＡＴ制御手段２００は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、第２擬似ボーナスストック抽選を実行し、「１セットの第２擬似ボーナス状態の実行」に当選した場合には、第１擬似ボーナス状態の終了後に演出状態を第２擬似ボーナス状態に移行する。

【０４４８】

ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値が値「０」になり、かつ１セット以上の第２擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされている場合には、演出状態を第１擬似ボーナス状態から第２擬似ボーナス状態に移行する。一方、ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値が値「０」になり、かつ第２擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされていない場合には、有利区間の終了条件のうち通常終了条件が成立したと判定し、有利区間に関する情報を初期化する処理である所定の初期化処理と、有利区間を終了させて次ゲームから通常区間を開始する所定の終了処理と、を実行する。

20

【０４４９】

ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」に当選した場合に、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス状態における入賞補助として、ベルＡ～ベルＤを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置５００に表示させる。また、第１擬似ボーナス状態において、ＡＴ制御手段２００は、純増枚数が約１．８枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

30

【０４５０】

また、ＡＴ制御手段２００は、第１擬似ボーナス状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、チャンス役又は１枚役Ｄを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第１停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。ＡＴ制御手段２００は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置５００に表示させる。

40

【０４５１】

第２擬似ボーナス状態は、１セット以上の第２擬似ボーナス状態がストックされている場合に実行される演出状態である。ＡＴ制御手段２００は、第２擬似ボーナス状態において、第２擬似ボーナス状態における差枚数を計数するカウンタである第２擬似ボーナス差枚数カウンタに初期値として値「１５０」をセットし、遊技の開始時に、規定投入数（３枚）に相当する値「３」を第２擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値に加算し、小役が入賞しメダルの払い出しが実行された場合に、払い出されていたメダルの枚数と同数で第２

50

擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値を減算し、リプレイが入賞した場合には、規定投入数に相当する値「3」で第2擬似ボーナスカウンタの記憶値を減算する。

【0452】

AT制御手段200は、内部抽選で当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、演出状態を第1AT状態に移行するか否かを決定する第1AT抽選を実行し、「第1AT状態への移行」に当選した場合に、現在実行している1セットの第2擬似ボーナス状態が終了した後に演出状態を第2擬似ボーナス状態から第1AT状態に移行する。

【0453】

AT制御手段200は、第2擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、1セットの第2擬似ボーナス状態を終了する。1セットの第2擬似ボーナス状態を終了する場合において、AT制御手段200は、第1AT抽選で「第1AT状態への移行」に当選していた場合には、演出状態を第2擬似ボーナス状態から第1AT状態に移行する。また、AT制御手段200は、第1AT抽選で「第1AT状態への移行」に当選しておらず、かつ1セット以上の第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされている場合には、第2擬似ボーナス差枚数カウンタの記憶値に初期値である値「150」をセットし、新たな1セットの第2擬似ボーナス状態を開始する。そして、AT制御手段200は、第1AT抽選で「第1AT状態への移行」に当選しておらず、かつ第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされていない場合には、演出状態を第2擬似ボーナス状態から第1擬似ボーナス状態に移行する。

【0454】

AT制御手段200は、第2擬似ボーナス状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。AT制御手段200は、第1擬似ボーナス状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、第2擬似ボーナス状態において、AT制御手段200は、内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、100%の確率（第1確率）で入賞補助制御を実行する。

【0455】

また、第2擬似ボーナス状態において、AT制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン1では、第2擬似ボーナス状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンB1を第1停止操作する遊技が促され、14枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【0456】

第1AT状態は、第2擬似ボーナス状態において、第1AT状態への移行条件が成立した場合に移行される演出状態である。AT制御手段200は、第1AT状態において、第1AT継続ゲーム数カウンタに初期値として値「30」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行する。

【0457】

第1AT状態において、AT制御手段200は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、第2AT状態に移行するか否かを決定する第2AT抽選を実行する。また、AT制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアリプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも「第2AT状態への移行」に当選する確率が高い抽選テーブルを取得して第2AT抽選を実行する。

【0458】

AT制御手段200は、第1ATゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になるまでに第

10

20

30

40

50

第2 A T抽選で「第2 A T状態への移行」に当選した場合に、演出状態を第1 A T状態から第2 A T状態に移行する。一方、第1 A Tゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になるまでに第2 A T抽選で「第2 A T状態への移行」に当選しなかった場合、A T制御手段200は、第1 A T状態を終了する。第1 A T状態を終了する場合において、A T制御手段200は、1セット以上の第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされている場合には、演出状態を第1 A T状態から第2擬似ボーナス状態に移行し、第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報がストックされていない場合には、演出状態を第1 A T状態から第1擬似ボーナス状態に移行する。

【0459】

A T制御手段200は、第1 A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T制御手段200は、第1 A T状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、第1 A T状態において、A T制御手段200は、純増枚数が約1.8枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

10

【0460】

また、A T制御手段200は、第1 A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」に当選した場合に、チャンス役又は1枚役Dを入賞可能にする打順（設定打順）のうち、第1停止操作に設定されたストップボタンを報知する設定打順報知制御を実行する。A T制御手段200は、設定打順報知制御として、内部抽選で当選エリア「打順チャンス1」～当選エリア「打順チャンス12」の当選時にのみ表示される表示態様を主制御表示装置500に表示させる。

20

【0461】

第2 A T状態は、第1 A T状態において、第2 A T状態への移行条件が成立した場合に移行される演出状態である。A T制御手段200は、第2 A T状態において、第2 A T継続ゲーム数カウンタに初期値として値「5」をセットし、毎回の遊技の都度、1ゲームに相当する値「1」で減算するデクリメント更新を実行し、第2 A T継続ゲーム数カウンタの記憶値が値「0」になった場合に、演出状態を第2 A T状態から第1 A T状態に移行する。

30

【0462】

第2 A T状態において、A T制御手段200は、内部抽選の結果によらず、毎回の遊技の実行の都度、1セット～5セットの第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報をストックするか否かを決定するストック特化抽選を実行する。また、A T制御手段200は、当選エリア「レア役」に当選した場合と、当選エリア「レアプレイ」に当選した場合と、に、他の当選エリアに当選した場合よりも3セット～5セットの第2擬似ボーナス状態の実行に係る情報のストックに当選する確率が高い抽選テーブルを取得してストック特化抽選を実行する。

【0463】

40

A T制御手段200は、第2 A T状態である状態における内部抽選で当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」に当選した場合に、ベルA～ベルDを入賞可能にする打順（正解打順）を報知する入賞補助制御を実行可能に構成されている。A T制御手段200は、第1 A T状態における入賞補助として、ベルA～ベルDを入賞可能にする正解打順を報知する表示を主制御表示装置500に表示させる。また、第1 A T状態において、A T制御手段200は、純増枚数が約4.5枚となる頻度で、当選エリア「打順ベル1」～当選エリア「打順ベル4」の当選時における入賞補助制御を実行するように構成されている。

【0464】

また、第2 A T状態において、A T制御手段200は、当選エリア「打順チャンス1」

50

～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、設定打順報知制御を実行しないように構成されており、いずれの打順の報知も実行しない構成となっている。このため、スロットマシン１では、第２ＡＴ状態における内部抽選で当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」に当選した場合に、いずれの打順の報知も実行されないことで、遊技者にストップボタンＢ１を第１停止操作する遊技が促され、１４枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができる。

【０４６５】

このように構成された場合、遊技機は、
 複数のリールと、
 前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
 内部抽選を行う内部抽選手段と、
 通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

10

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、
 前記複数種類の当選態様には、第１当選態様（当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」）と、第２当選態様（当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」）と、が含まれ、

前記第１当選態様には、第１配当の小役（１枚役Ｄ）と、第２配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第２当選態様には、第３配当の小役（ベルＡ～ベルＤ）と、第４配当の小役（１枚役Ａ～１枚役Ｃ）と、の重複当選が対応付けられ、

20

前記第１配当は、前記第２配当よりも低く、

前記第３配当は、前記第４配当よりも高く、

前記第１選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第１配当の小役が入賞可能であり、

前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第２配当の小役が入賞可能であり、

前記第２当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

30

前記第２当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第３配当の小役が入賞可能であり、

前記第２当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第４配当の小役が入賞可能であり、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第１有利状態（第２擬似ボーナス状態）と、第２有利状態（擬似ボーナス特化状態、第１擬似ボーナス状態、第１ＡＴ状態）と、を含み、

40

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第１有利状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第１確率（１００％、純増枚数が６．０枚となる頻度）で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第２有利状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第２確率（純増枚数が１．８枚となる頻度）で報知し、

前記第１確率は、前記第２確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第１有利状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した

50

場合に、前記設定打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第 2 有利状態であり、かつ前記第 1 当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知する。

【 0 4 6 6 】

このような構成により、スロットマシン 1 は、擬似ボーナス特化状態、第 1 擬似ボーナス状態及び第 1 A T 状態において、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、第 2 擬似ボーナス状態において当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするとともに、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時に 1 枚役 D が入賞可能となる設定打順を報知するように構成することで、擬似ボーナス特化状態、第 1 擬似ボーナス状態及び第 1 A T 状態におけるメダルの獲得率の期待値の下限を引き下げた上で第 2 擬似ボーナス状態に関するメダルの獲得性能を設計することができるため、A T 機能を備えたスロットマシン 1 の設計自由度を飛躍的に向上させることができる。

10

【 0 4 6 7 】

なお、図 2 3 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないことで、遊技者にストップボタン B 1 を第 1 停止操作する遊技を促し、1 4 枚の払い出しが実行される特殊小役の入賞確率を高めることができるように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 1 有利状態として、擬似ボーナス準備状態を有していてもよい。

20

【 0 4 6 8 】

また、図 2 3 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が擬似ボーナス準備状態である場合における当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」の当選時において、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行する確率について、1 0 0 % に限らず、1 0 0 % よりも低い確率であってもよく、また、ベル A ～ベル D の入賞補助制御を実行しないように構成されていてもよい。つまり、スロットマシン 1 は、第 2 有利状態として擬似ボーナス準備状態を有していてもよい。

30

【 0 4 6 9 】

また、図 2 3 に示した構成において、A T 制御手段 2 0 0 は、演出状態が擬似ボーナス特化状態である場合における当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、チャンス役又は 1 枚役 D を入賞可能にする設定打順を報知するように構成されているが、これに限らず、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、第 1 擬似ボーナス状態についても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。また、A T 制御手段 2 0 0 は、第 1 A T 状態についても、当選エリア「打順チャンス 1」～当選エリア「打順チャンス 1 2」の当選時において、設定打順を報知しないように構成されていてもよい。

40

【 0 4 7 0 】

つまり、遊技機は、
複数のリールと、
前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、
内部抽選を行う内部抽選手段と、
通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、

前記複数種類の当選態様には、第 1 当選態様（当選エリア「打順チャンス 1」～当選エ

50

リア「打順チャンス１２」と、第２当選態様（当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」と、が含まれ、

前記第１当選態様には、第１配当の小役（１枚役Ｄ）と、第２配当の小役（特殊小役）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第２当選態様には、第３配当の小役（ベルＡ～ベルＤ）と、第４配当の小役（１枚役Ａ～１枚役Ｃ）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第１配当は、前記第２配当よりも低く、

前記第３配当は、前記第４配当よりも高く、

前記第１選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として設定打順が予め設定されており、

10

前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順で操作された場合に、前記第１配当の小役が入賞可能であり、

前記第１当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記設定打順とは異なる非設定打順で操作された場合に、前記第２配当の小役が入賞可能であり、

前記第２当選態様には、前記複数のストップボタンの押下順序として正解打順が予め設定されており、

前記第２当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順で操作された場合に、前記第３配当の小役が入賞可能であり、

前記第２当選態様に当選し、かつ前記複数のストップボタンが前記正解打順とは異なる不正解打順で操作された場合に、前記第４配当の小役が入賞可能であり、

20

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間における前記補助遊技に係る状態として、通常状態と、有利状態と、を制御し、

前記有利状態は、前記通常状態よりも遊技者にとって有利な状態であり、

前記有利状態は、第１有利状態（第２擬似ボーナス状態）と、第２有利状態（擬似ボーナス特化状態、第１擬似ボーナス状態、第１ＡＴ状態）と、を含み、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を報知せず、

前記補助遊技制御手段は、前記第１有利状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第１確率で報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第２有利状態であり、かつ前記第２当選態様に当選した場合に、前記正解打順を第２確率で報知し、

30

前記第１確率は、前記第２確率よりも高い確率であり、

前記補助遊技制御手段は、前記通常状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知し、

前記補助遊技制御手段は、前記第１有利状態又は前記第２有利状態であり、かつ前記第１当選態様に当選した場合に、前記設定打順を報知しない。

【０４７１】

このような構成により、スロットマシン１は、擬似ボーナス特化状態、第１擬似ボーナス状態及び第１ＡＴ状態において、当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」の当選時に入賞補助制御を実行する確率を、通常ＡＴ状態及び特定ＡＴ状態において当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル４」の当選時に入賞補助制御を実行する確率よりも低確率にするものの、当選エリア「打順チャンス１」～当選エリア「打順チャンス１２」の当選時に設定打順を報知しないように構成することで、ＣＺＡＴ準備状態において１４枚の配当に設定された特殊小役を入賞可能にする非設定打順での遊技を遊技者に促すことができ、ＣＺＡＴ準備状態におけるメダルの獲得率の期待値の低下を抑制し、ベルＡ～ベルＤの入賞補助の実行確率が低確率であることでメダルが獲得しにくいＣＺＡＴ準備状態に対する遊技者の不満を抑制することができる。

40

【０４７２】

また、本実施形態において、スロットマシン１は、各カウンタや記憶手段の記憶値に初期値として値をセットし、毎回の遊技の実行時に１ずつ減算するデクリメント更新や、毎

50

回の遊技の実行時に1ずつ加算するインクリメント更新を実行するように構成されているが、これに限らず、各カウンタや記憶手段の更新方法については乗算や除算等を実行するように構成されていてもよく、特に限定されない。

【符号の説明】

【0473】

- 1 スロットマシン（遊技機）
- 120 内部抽選手段
- 200 AT制御手段（補助遊技制御手段）
- B1 ストップボタン
- B2 ストップボタン
- B3 ストップボタン
- R1 第1リール
- R2 第2リール
- R3 第3リール

10

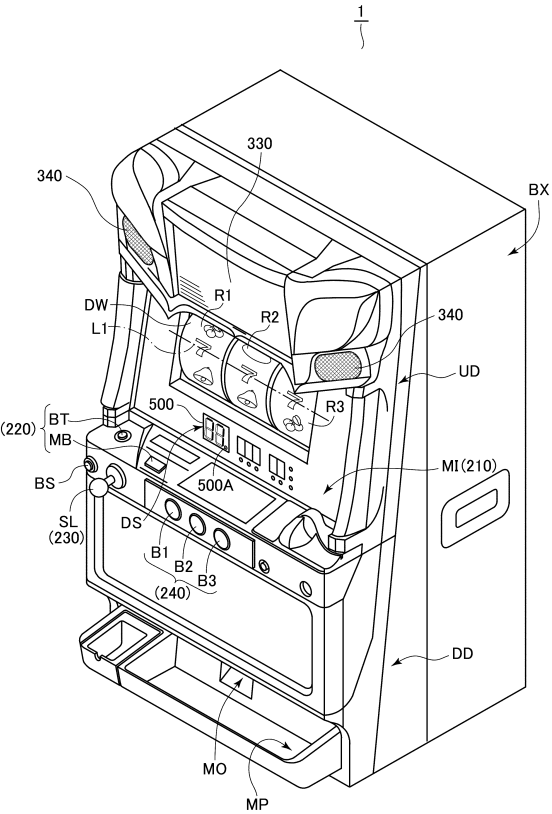
20

30

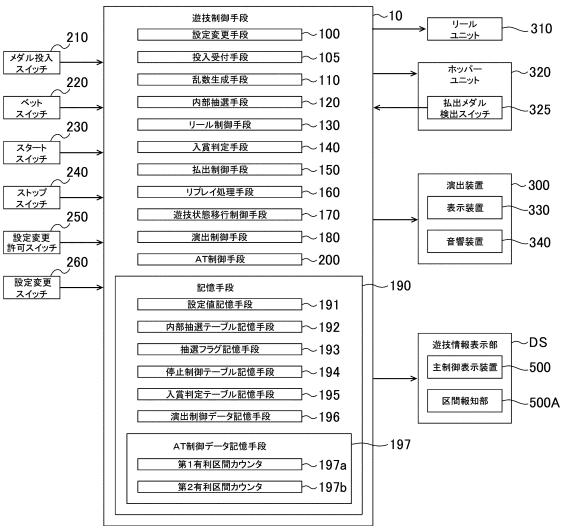
40

50

【図面】
【図 1】



【図 2】



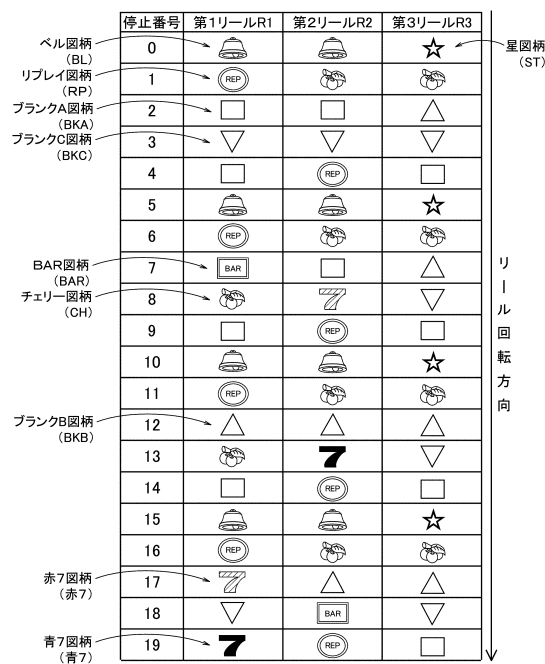
【図 3】

役の種類	内部抽選テーブルA	役の種類	内部抽選テーブルB	役の種類	内部抽選テーブルC
小役	打順ベル1 打順ベル2 打順ベル3 打順ベル4 打順チャンス1 打順チャンス2 打順チャンス3 打順チャンス4 打順チャンス5 打順チャンス6 打順チャンス7 打順チャンス8 打順チャンス9 打順チャンス10 打順チャンス11 打順チャンス12 レア役	打順ベル1 打順ベル2 打順ベル3 打順ベル4 打順チャンス1 打順チャンス2 打順チャンス3 打順チャンス4 打順チャンス5 打順チャンス6 打順チャンス7 打順チャンス8 打順チャンス9 打順チャンス10 打順チャンス11 打順チャンス12 レア役	全小役	小役	全小役
ボーナス &小役	RBB & 1枚役	1枚役	金1枚役	小役	金1枚役
ボーナス	RBB			小役	金1枚役
リプレイ	通常リプレイ1 通常リプレイ2 レアリプレイ	通常リプレイ1 通常リプレイ2 レアリプレイ	ハズレ	小役	金1枚役

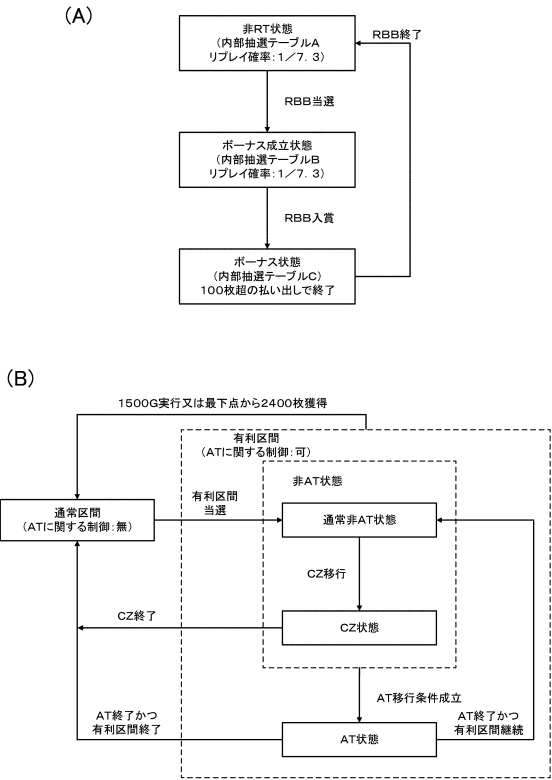
【図 4】

当選エリア	当選する小役
打順ベル1	ベルA、1枚役A、1枚役B
打順ベル2	ベルB、1枚役A、1枚役B
打順ベル3	ベルC、1枚役A、1枚役C
打順ベル4	ベルD、1枚役A、1枚役C
打順チャンス1	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役F
打順チャンス2	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役G
打順チャンス3	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役H、1枚役I
打順チャンス4	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役H
打順チャンス5	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役F、1枚役I
打順チャンス6	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役G、1枚役I
打順チャンス7	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役F、1枚役H、1枚役I
打順チャンス8	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役I
打順チャンス9	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役F、1枚役J
打順チャンス10	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役G、1枚役J
打順チャンス11	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役F、1枚役H、1枚役J
打順チャンス12	チャンス役、特殊小役、1枚役D～1枚役J

【図 5】



【図 6】



【図 7】

非RT状態における打順小役当選時に入賞可能となる役	当選エリア	打順1	打順2	打順3	打順4	打順5	打順6
打順ベル1				1枚役A			
打順ベル2				1枚役A			
打順ベル3				1枚役A			
打順ベル4				1枚役A			
打順チャンス1				1枚役D			
打順チャンス2				1枚役D			
打順チャンス3				1枚役D			
打順チャンス4				1枚役D			
打順チャンス5				1枚役D			
打順チャンス6				1枚役D			
打順チャンス7				1枚役D			
打順チャンス8				1枚役D			
打順チャンス9				1枚役D			
打順チャンス10				1枚役D			
打順チャンス11				1枚役D			
打順チャンス12				1枚役D			

打順1: B1→B2→B3 打順2: B1→B3→B2 打順3: B2→B1→B3
打順4: B2→B3→B1 打順5: B3→B1→B2 打順6: B3→B2→B1

【図 8】

ボーナス成立状態における打順小役当選時に入賞可能となる役	当選エリア	打順1	打順2	打順3	打順4	打順5	打順6
打順ベル1		1枚役A	ベルA			1枚役B	
打順ベル2		1枚役A	1枚役B		ベルB		1枚役B
打順ベル3		1枚役A		1枚役C		ベルC	1枚役C
打順ベル4		1枚役A		1枚役C			ベルD
打順チャンス1	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス2	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス3	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス4	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス5	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス6	特殊小役		チャンス役or1枚役D			特殊小役	
打順チャンス7	特殊小役					チャンス役or1枚役D	
打順チャンス8	特殊小役					チャンス役or1枚役D	
打順チャンス9	特殊小役					チャンス役or1枚役D	
打順チャンス10	特殊小役					チャンス役or1枚役D	
打順チャンス11	特殊小役					チャンス役or1枚役D	
打順チャンス12	特殊小役					チャンス役or1枚役D	

打順1: B1→B2→B3 打順2: B1→B3→B2 打順3: B2→B1→B3
打順4: B2→B3→B1 打順5: B3→B1→B2 打順6: B3→B2→B1

10

20

30

40

50

【図 9】

小役	入賞図柄組合せ			配当
チャンス役				15
特殊小役				14
1枚役D				1
1枚役E				1
1枚役F				1
1枚役G				1
1枚役H				1
1枚役I				1
1枚役J				1

【図 10】

(A)		
当選エリア	ストップボタンB2の押下タイミング	入賞役
打順チャンス1	停止番号0, 6, 12, 18番	チャンス役
	停止番号1~5, 7~11, 13~17, 19番	1枚役D
打順チャンス2	停止番号1, 7, 13, 19番	チャンス役
	停止番号0, 2~6, 8~12, 14~18番	1枚役D
打順チャンス3	停止番号2, 8, 14番	チャンス役
	停止番号0, 1, 3~7, 9~13, 15~19番	1枚役D
打順チャンス4	停止番号3, 9, 15番	チャンス役
	停止番号0~2, 4~8, 10~14, 16~19番	1枚役D
打順チャンス5	停止番号4, 10, 16番	チャンス役
	停止番号0~3, 5~9, 11~15, 17~19番	1枚役D
打順チャンス6	停止番号5, 11, 17番	チャンス役
	停止番号0~4, 6~10, 12~16, 18, 19番	1枚役D

(B)		
当選エリア	ストップボタンB3の押下タイミング	入賞役
打順チャンス7	停止番号0, 6, 12, 18番	チャンス役
	停止番号1~5, 7~11, 13~17, 19番	1枚役D
打順チャンス8	停止番号1, 7, 13, 19番	チャンス役
	停止番号0, 2~6, 8~12, 14~18番	1枚役D
打順チャンス9	停止番号2, 8, 14番	チャンス役
	停止番号0, 1, 3~7, 9~13, 15~19番	1枚役D
打順チャンス10	停止番号3, 9, 15番	チャンス役
	停止番号0~2, 4~8, 10~14, 16~19番	1枚役D
打順チャンス11	停止番号4, 10, 16番	チャンス役
	停止番号0~3, 5~9, 11~15, 17~19番	1枚役D
打順チャンス12	停止番号5, 11, 17番	チャンス役
	停止番号0~4, 6~10, 12~16, 18, 19番	1枚役D

【図 11】

(A) 当選エリア「打順チャンス12」で重複当選する当選役				
当選役	入賞図柄組合せ			配当
チャンス役				15枚
特殊小役				14枚
1枚役D				1枚
1枚役E				1枚
1枚役F				1枚
1枚役G				1枚
1枚役H				1枚
1枚役I				1枚
1枚役J				1枚

(B) ストップボタンB1が第1停止操作された場合

停止図柄	図柄組合せの数
	1個
	2個
	1個
	1個
	1個
	1個
	1個
	1個

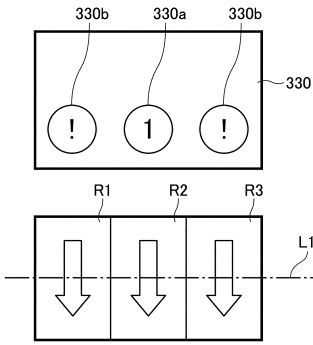
(C) ストップボタンB2が第1停止操作された場合

停止図柄	図柄組合せの数
	1個
	2個
	2個
	1個
	1個
	1個
	1個

(D) ストップボタンB3が第1停止操作された場合

停止図柄	図柄組合せの数
	1個
	2個
	2個
	2個
	2個

【図 12】



【図 1 3】

役	入賞図柄組合せ			配当
1枚役K				1
レア役				1
リプレイA				-

【図 1 4】

当選エリア	抽選値数	当選確率	当選確率(合算)
打順ベル1	7368	1/8.8	1/2.2
打順ベル2	7368	1/8.8	
打順ベル3	7368	1/8.8	
打順ベル4	7368	1/8.8	
打順チャンス1	270	1/242.7	1/20.2
打順チャンス2	270	1/242.7	
打順チャンス3	270	1/242.7	
打順チャンス4	270	1/242.7	
打順チャンス5	270	1/242.7	
打順チャンス6	270	1/242.7	
打順チャンス7	270	1/242.7	
打順チャンス8	270	1/242.7	
打順チャンス9	270	1/242.7	
打順チャンス10	270	1/242.7	
打順チャンス11	270	1/242.7	
打順チャンス12	270	1/242.7	
レア役	48	1/1365.3	1/1365.3
1枚役	7935	1/8.3	1/8.3
通常リプレイ1	8800	1/7.4	1/7.3
通常リプレイ2	134	1/489.1	
レアリプレイ	48	1/1365.3	

【図 1 5】

	停止番号	第1リールR1	第2リールR2	第3リールR3
チェリー図柄 (CH)	0			
スイカ図柄 (WM)	1			
ベルA図柄 (BLA)	2			
リプレイ図柄 (RP)	3			
BAR図柄 (BAR)	4			
	5			
ベルB図柄 (BLB)	6			
	7			
	8			
blanks A図柄 (BKA)	9			
blanks B図柄 (BKB)	10			
	11			
	12			
	13			
白7図柄 (白7)	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
blanks C図柄 (BKC)	19			

【図 1 6】

当選エリア	当選役	打順1	打順2	打順3	打順4	打順5	打順6
打順チャンスA	チャンス役 特殊小役A 特殊小役B	チャンス役		特殊小役A & 特殊小役B (重複入賞)			
打順チャンスB	チャンス役 特殊小役A 特殊小役B 1枚役E	チャンス役		特殊小役A & 特殊小役B (重複入賞)			
打順チャンスC	チャンス役 特殊小役A 特殊小役B 1枚役F	チャンス役		特殊小役A & 特殊小役B (重複入賞)			

打順1: B1→B2→B3 打順2: B1→B3→B2 打順3: B2→B1→B3
打順4: B2→B3→B1 打順5: B3→B1→B2 打順6: B3→B2→B1

10

20

30

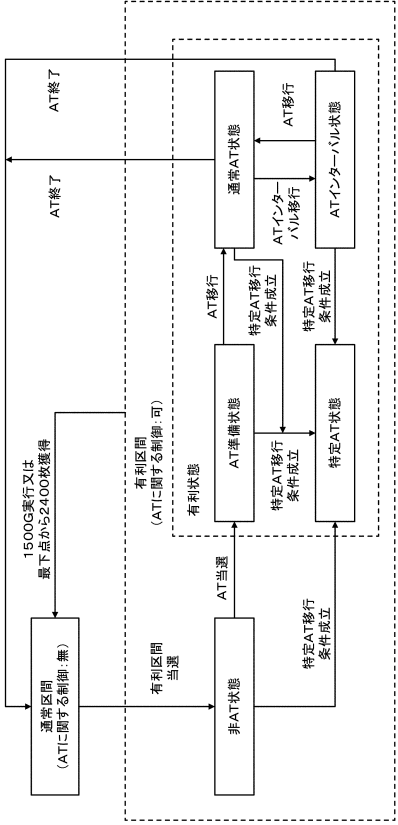
40

50

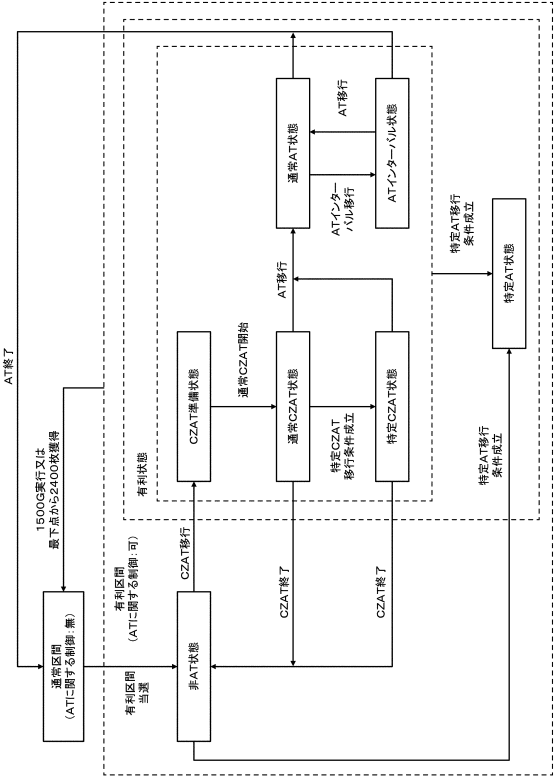
【図 17】

小役	入賞図柄組合せ			配当
チャンス役				15
特殊小役A		ANY		1
特殊小役B			ANY	1
1枚役E				1
1枚役F				1

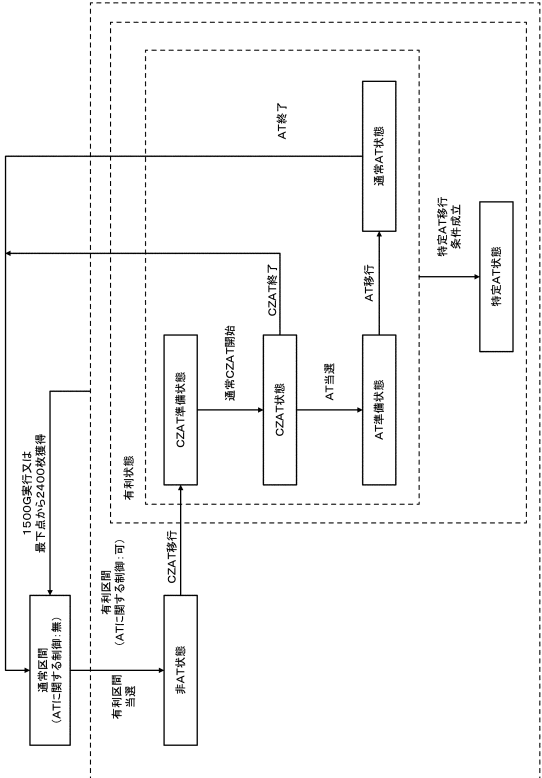
【図 18】



【図 19】



【図 20】



10

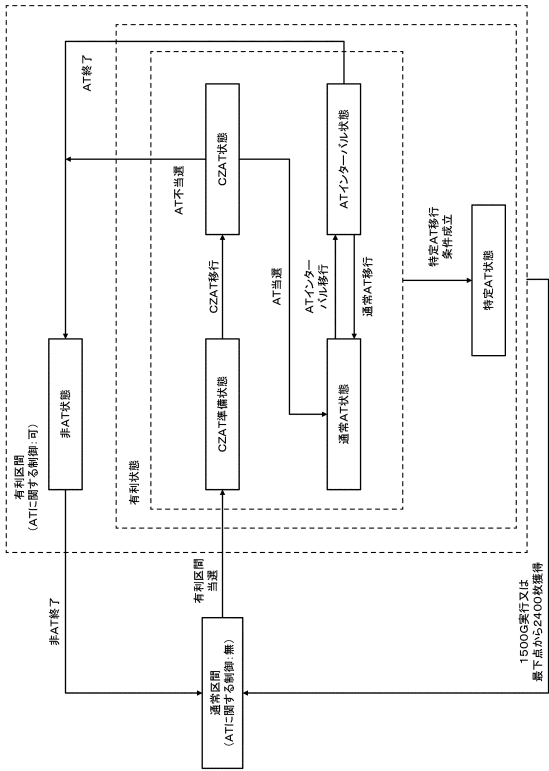
20

30

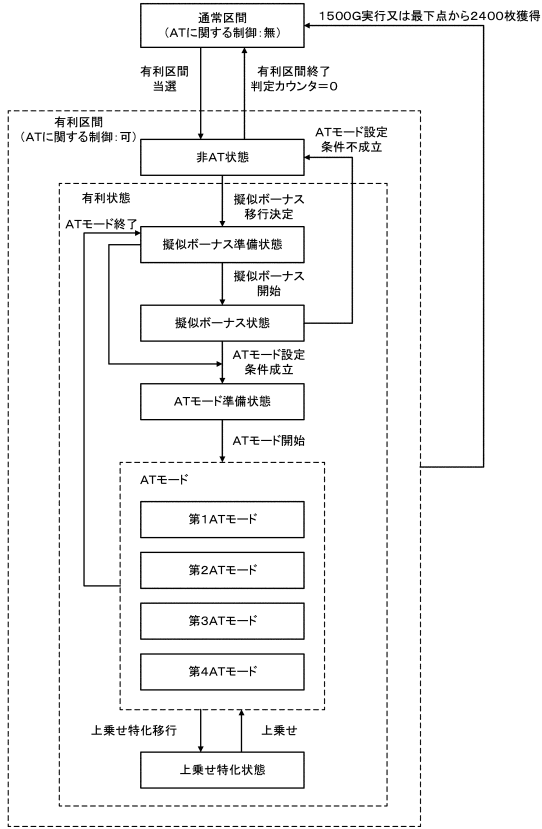
40

50

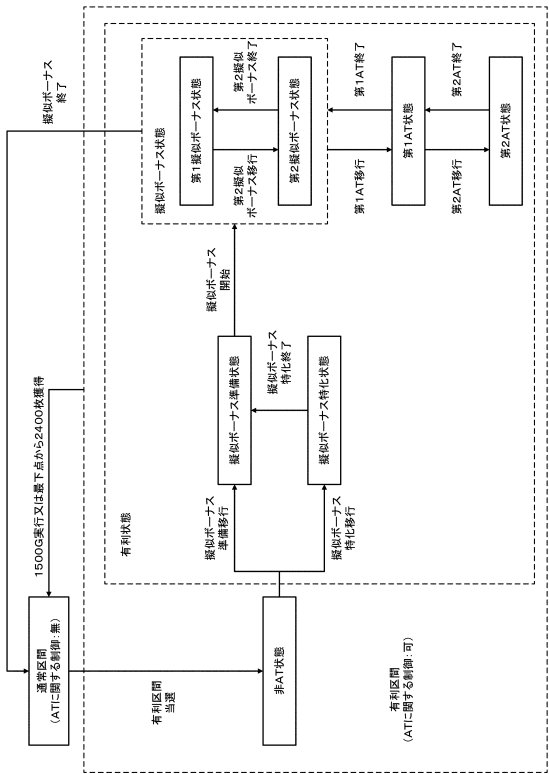
【図 2 1】



【図 2 2】



【図 2 3】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開 2 0 2 0 - 0 8 9 4 8 1 (J P , A)
 特開 2 0 2 0 - 1 3 0 4 5 6 (J P , A)
 特開 2 0 2 0 - 0 8 1 1 6 6 (J P , A)
 特開 2 0 1 9 - 2 0 8 7 2 1 (J P , A)
 特開 2 0 1 8 - 0 5 1 0 9 3 (J P , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
 A 6 3 F 5 / 0 4